

第六十九回帝國議會
衆議院

不穩文書等取締法案委員會會議錄(速記)第四回

會議

昭和十一年五月十九日(火曜日)午前九時二十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 熊谷 直太君

理事 小山倉之助君 理事 川崎末五郎君

理事 齋藤 直橋君 理事 犬養 健君

岡本實太郎君 松田 正一君

勝田 永吉君 一宮房治郎君

堀内 良平君 小柳 牧衛君

中村 又一君 渡邊 鏡藏君

淺沼稻次郎君 松村 光三君

木村 正義君 本多貞次郎君

砂田 重政君 加藤鏐五郎君

宮澤 裕君 田尻 生五君

渡邊 泰邦君 福田 耕君

山口 久吉君 塚本 重藏君

田万 清臣君 藏原 敏捷君

飯塚春太郎君 服部 英明君

同月十八日委員牧野賤男君、益谷秀次君、小柳牧衛君及村岡吾一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ木村正義君、松村光三君、小山倉之助君及松田正一君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十九日委員一宮房治郎君、原夫次郎君及鶴澤宇八君辭任ニ付其ノ補闕トシテ飯塚春太郎君、川橋豐治郎君及渡邊鏡藏君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日委員松田正一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ服部英明君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日委員川橋豐治郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ松田正一君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十八日理事小柳牧衛君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月十九日小山倉之助君理事ニ當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 潮 惠之輔君

出席政府委員左ノ如シ

內務政務次官子爵 鍋島 直繩君

社會局部長 赤松 小寅君

社會局部長 山崎 巖君

陸軍次官 梅津美治郎君

陸軍省法務局長 大山 文雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

退職積立金及退職手当法案(政府提出)

○熊谷委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、退職積立金及退職手当法案ニ付テノ委

員會ヲ開キマス——潮內務大臣

○潮國務大臣 只今議題トナリマシタ退職積立金及退職手当法案ニ付テ説明致シマス

勞働者ノ解雇又ハ退職ニ際シ一定ノ手當ヲ支給シマスコトハ、我國ノ工場、鑛山等

ニ於ケル福利施設トシテ相當廣ク行ハレテ居ル慣行デアリマシテ、我國特有ノ制度ト

云フコトガ出來ルト思ヒマス、斯ル慣行ハ歐洲大戰後ノ好況時代ニ、勞働者ノ勤続ヲ

獎勵スルノ必要ニ基キマシテ發達シ、次デ其後ノ不況時代ニ勞働者ノ大量解雇ニ依ル

生活ノ困窮ヲ救済セントスル主旨ニ依ッテ、普及ヲ早メタト見ラルモノデアリマシ

テ、我國ニ於キマシテハ、退職手当ノ制度ハ、勞働者ノ解雇ニ當リ、其生活不安ヲ除

ク上ニ相當ノ效果ヲ發揮シテ居ルコトハ申ス迄モアリマセヌ、然ルニ此制度ハ之ヲ社

會的ニ見マスルニ、大規模工場ニハ比較的普及シテ居リマスガ、未ダ一般的ト云フ事

ガ出來マセヌ、又慣行ノ存スル所デモ、手當ノ額ハ事業主ノ任意ニ決定セラルルカ、

又ハ規定ヲ制定シテ居テモ、裁量ノ範圍ガ相當大デアリマスノデ、勞働者ガ不安ヲ感

付託議案 審査終了ノモノヲ除ク

不穩文書等取締法案(政府提出)
總動員秘密保護法案(政府提出)
退職積立金及退職手当法案(政府提出)

ズルノヲ免レ難イ憾ミガアル狀態デアリマス、斯カル事情ニアリマスノデ、之ヲ法

制化シテ其普及ヲ圖リ、退職手当ノ標準ヲ設ケテ、平素ヨリ是ガ支給準備ノ爲メ積立

ヲ爲サシメ、其支拂ヲ確保スルト共ニ、勞働者ニモ一定ノ積立金ヲ爲サシメ、事業

主ノ積立ト相俟ッテ退職時ニ備ヘシメ勞資一體トナッテ、安定セル勞働條件ノ下ニ働カ

シメルコトハ、國家産業ノ健全ナル發達ヲ圖ル上ニモ、又勞働者ノ福利ヲ増進セシム

ル上ニモ、極メテ緊要ノコトト存ズルノデアリマス、今ヤ我國ハ軍需工業ノ振興ト輸

出貿易ノ増加ニ依リ、比較的好況ヲ見ツツアルノデアリマスガ、斯カル時こそ將來ノ

爲メ、相當ノ準備ヲ開始スルノニ適當ナ時期デアリマシテ、此事ハ獨リ事業主及勞働

者ノ爲ノミナラズ、社會ノ健全ナル發達ノ上ニモ、極メテ急務デアルト考ヘ、本法案

ヲ提出シタ次第デアリマス本法案ノ内容ニ付テ其ノ概要ヲ申上ゲマス

第一事業ノ適用範圍ハ、原則トシテ常時三十人以上ノ勞働者ヲ使用スル工場、

鑛山ニ限リマスガ、將來勅令ヲ以テ指定致

シマスレバ、其他ノ事業ニモ及ビ得ルコトニナツテ居リマス、併シ本法ノ適用ヲ不適當トスルガ如キ業態ニ付キマシテハ、事業ノ種類及規模ヲ限リ、本法ノ適用ヲ除外スルコトガ出來ルノデアリマス、又三十人以下ノ規模ノモノデモ自ラ進ンデ本法ノ如キ積立ヲ爲サントスル者ニハ、本法ノ一部ヲ適用スルコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス

次ニ適用スベキ者ノ範圍ハ労働者デアリマシテ、職員其他ノ給料、被傭者ヲ含ミマセヌ、又労働者デモ短期間ノ契約ニ基キ雇傭セラルル者、又ハ季節ノ事業ニ雇傭セラルル者ニハ適用アリマセヌ、併シ短期間ノ契約デアツテモ、引續キ雇傭セラルル者ニハ之ヲ適用スルコトニ致シテ居リマス、尙本法ハ政府ノ事業ニハ適用致シマセズ、府縣又ハ市町村ノ如キ公共團體ノ事業ニ付テハ本法ト異ツテ規定ヲ設ケ得ルコトニ致シテ居リマス

第二本法ニ於テハ積立金ヲ二種ニ分ケマシテ、退職積立金ト退職手當積立金トシテ居リマス、退職積立金ハ労働者ノ賃銀ヨリ其百分ノ二ヲ控除シテ積立テシメルモノデアリマシテ、退職手當積立金ハ、事業主ニ對シ労働者ノ賃銀ノ百分ノ二ニ相當スル金

額ヲ積立テシメ、尙ホ事業ニ一定以上ノ利益アルトキハ更ニ賃銀ノ百分ノ三マデ積立テシメルモノデアリマス、而シテ労働者ガソレノ事情デ、其職ヲ去リマス時ニ、退職積立金及退職手當ノ支給ヲ受ケルコトニナツテ居リマス、但シ不都合ナ行爲デ解雇サレタリ、自己都合デ退職シタリシタ時ニハ、事業主ノ給與ニ係ル退職ノ手當積立金ノ方ハソレノ事情ニ應ジテ其全部、又ハ一部ヲ支給セザルコトヲ得ルヤウニナツテ居リマス、併シ此支給ヲ要セザル金額ハ、之ヲ特別手當積立金トシテ保留サセマシテ、事業ノ都合ニ依テ解雇サレタ者ニ對シ二十日分又ハ三十五日分ノ特別手當ヲ附加シテ支給セシムルコトニ致シテ居リマス

第三積立金ノ管理ハ、労働者ノ積立ツル退職積立金ニ付テハ各労働者ノ名義デ郵便貯金、其他ノ方法デ事業主ニ積立テ、管理サセ、事業主ノ積立ツル退職手當積立金ニ付テハ、事業主ノ他ノ財産ト分離シテ、同様ニ郵便貯金、銀行預金、金銭信託、登錄國債ノ方法ニ依リ之ヲ管理セシメルコトニ致シテ居リマス、但シ事業主ガ豫メ確實ナル方法ヲ定メテ積立金ノ運用ヲ願出ヅル時ハ、其運用ヲ許シマス、而シテ積立金ハ差

押又ハ讓渡ヲ禁ジ、其確保ヲ講ジテ居リマスト共ニ、積立テル金額ニ對シテハ税ヲ課セナイコトニナツテ居リマス

第四退職積立金及退職手當積立金ノ公正ヲ期スル爲メ、退職金審査會ヲ設ケルコトトナツテ居リマス、之ヲ要スルニ本法案ハ、我國特有ノ慣行ヲ助長シテ、勞資協力ノ精神ヲ養ハシメ、同時ニ退職時ノ經濟ノ不安ヲ緩和シテ、労働者ヲシテ安ジテ其勞務ニ努メシメントスルモノデアリマシテ、現下ノ情勢ニ鑑ミ極メテ緊要ノコトト信ズルノデアリマス

何卒慎重審議ノ上御協賛アランコトヲ望ミマス

○松村委員 マダ一ツモ參考書類ガ配付サレテ居リマセヌカラ、至急御配付ヲ願ヒマス、是ハ或ハ重複スルカモ知レマセヌガ、參考書トシテ請求致シタイト思ヒマス

第一日本ノ現行ニ於ケル退職手當ト賃金トノ割合、成ベク詳細ナルモノ

第二官業労働及ビ一般労働ノ賃銀實情並ニ定額明細表

第三是ハマア當然配付スル表ノ中ニ出テ來ルト思ヒマスガマダアリマセヌカラ――

退職、解雇ニ關スル統計ノ詳細
第四工場法規違反事項ノ内譯表、是ハ過

去昭和四年ヨリ十年マデノモノ
第五中小企業統制ニ關スル法案アリヤ、アルナラバ其法案全部

第六中小工業貸金借入及収益率調査、若シ出來マスルナラバ、商工省ノ公ノ書類ヲ併セテ御配付ヲ願ヒマス

第七是ハ配付ノ書類ノ中ニ出テ來ルト思ヒマスガ、郵便從業員其他官業ノ退職手當規程、アルモノトナイモノ、ナイモノハナイト明記ヲ願ヒタイ

次ニ官業共済組合ノ規程、實施ノアルモノトナイモノト御示シヲ願ヒタイ

次ニ官業共済組合ノ労働者ノ負擔ト國家ノ負擔ト割合表

次ニ社會局デ出シテ居ラル、臨時職工及ビ人夫ニ關スル調査ノ印刷物ノ配付、取敢ヘズソレダケノ參考書ヲ至急御配付ヲ願ヒマス

○熊谷委員長 今ノハ如何デスカ

○潮國務大臣 只今ノ御希望ノ參考書ハ手許ニアルモノモアリマスカラ、ソレハ直グ御廻シ致シマス、ソレカラ商工省其他ノ關係ノモノハ出來ルダケ取揃ヘテ配付致シマス

尙ホ此際一寸申上ゲテ置キマスガ、委員長及ビ委員各位ノ御許シガアレバ、此法案

ノ内容ノ主ナル點ニ付キマシテ——逐條デ一々ヤリマシテハ却テ御迷惑カト思ヒマスガ、社會局長官アタリカラ、極ク重要ナル點ニ付テ説明ヲ御聽キ下サツタラ、或ハ御審議ノ上ニ御便宜デハナイカト思ヒマス、尤モ是ハ委員會ノ皆様ノ御意嚮ニ依ルコトデアリマスガ、一寸氣付キマシタ點ヲ申上ゲマス

〔委員長結構デスネト呼フ者アリ〕

○熊谷委員長 ソレデハサウ云フコトニ取計ヒマス——社會局長官

○廣瀨政府委員 法文ノ主ダッタモノニ付テ申上ゲタイト思ヒマス、洵ニ恐縮デゴザイマスガ、條文ヲ申上ゲマスカラ、一寸ソレヲ見テ戴キタイト思ヒマス、極ク大體ノ此法ノ構成ヲ申上ゲマシテ、御參考ニ供シタイト思ヒマス

第一章ハ第一條ガ最モ必要ナ條文デアリマス、デ是ハ本法ノ適用範圍ヲ示シテ居ルモノデアリマシテ、要スルニ三十人以上ノ工場、鑛山ノ勞働者ト云フモノヲ中心ニ致シテ居リマス、サウシテ其中デ、或者ハ此二項ヲ除外シ得ルト云フコトニナッテ居リマス、是ガ適用範圍ヲ決メテ居ルノデアリマシテ、此第一條ハ最モ重要ナ條文デアルコトハ申ス迄モアリマセヌ

ヒマスノハ、ヤハリ第十條ノ政府事業ハ之ヲ除外シテ居ル、ソレカラ公共團體等ニ付テハ別ノ方法ヲ執ルト云フコトガ、實質的ニ重要ナモノデアルト思ヒマス、二條、三條、四條、五條、六條、七條、八條、九條ト云フヤウナモノハ、實質的ト云フヨリモ、色々法律ノ取扱上必要ナ條文デアリマシテ、先ヅ最モ此第一章ニ於テ必要ナルモノハ、第一條並ニ第十條デハナイカト思ヒマス、先ヅ此第一章ノ總則デ適用範圍ヲ決メマシテ、ソレカラ第二章ニ於キマシテ退職積立金ヲ決メテ居リマス、退職積立金ノ此章ニ於キマシテハ、第十一條ガ中心デアリマス、是ハ勞働者ノ賃金ノ中カラ事業主ガ百分ノ二ヲ取りマシテ、控除シマシテ、サウシテ勞働者ノ名前ニ於テ貯金ヲスル、強制的ノ貯金デアリマス、是ハ斯ウ云フ條文ヲ設ケマシタノハ、一方ニ於テ資本主ノ方デ勞働者ノ爲ニ退職手當ノ積立ヲスルノデアリマスカラ、勞働者側ニ於テハヤハリ平素ニ於テ節約ヲ致シマシテ、サウシテ事アル時ニ備ヘルヤウニ強制的ニ貯金ヲサセルト云フ、道德的ノ意味ヲ特ニ深メタ條文デアリマス、第二章ハサウ云フ譯デアリマシテ、退職積立金、勞働者ノ貯金、勞働者ノ賃金ノ中カラ事業主ガ勞働者ノ名ニ於テ

貯金シテ居ル次第デアリマス、是ガ第二章ノ概要デアリマス、ソレカラ第三章退職手當デアリマスガ、第三章ノ中デ、是ハ第三章ハ本法ノ中心ヲ成シテ居リマス、隨テ之ニハ非常ニ重要ナ條文ガ多イノデアリマスガ、特ニ退職手當ノ中心ヲ成シテ居リマスノハ、十六條並ニ十七條デ、十六條ハ御承知ノ通り勞働者ノ賃金ノ百分ノ二ニ相當スル額ヲ退職手當トシテ事業主ノ名ニ於テ積立テ、置クノデアリマス、ソレカラ是ハ一般的デアリマシテ、本法適用ノ工場、詰リ三十人以上ノ工場鑛山デハ全部一律ニ百分ノ二ノ積立ヲ致スコトニナルノデアリマス、ソレカラ之ニ基イテ第十七條、第十七條ハ是ハ事業主ノ配當ガ五米以上ノ場合、五米ヲ超エタ金額ノ中ノ一割ヲ限度ト致シマシテ、サウシテ賃金ノ百分ノ三ニ至ルマデヲ積立テル、是ハ大分面倒デアリマスガ、ヤハリ一定ノ利益ノアッタ時ニ負擔ノ能力ニ應ジテ積立ラシテ貰ヒタイト云フノガ立前デアリマス、十六條ノ方ハ總テノ工場ニ劃一的ニ行クノデアリマスガ、負擔ノ能力ニ應ゼシメルト云フ意味ヲ以テ十七條ヲ置イテ居ルノデアリマス、此二條ガ根本ニナリマス、ソレカラ後ハ之ニ附隨シタ色々ナ條文デアリマスガ、ソコデ第

二十四條ニ參リマシテ、第二十四條ニ於テ勞働者ガ退職其他ノ事由デ本法ノ適用ヲ受ケナクナル、其時初メテ十六條十七條デ積立デ置イタ金ヲ退職手當ト致シテヤル譯デアル、是ガ退職手當ノ支給デアリマス、十六條十七條デ積立テタ金ヲ二十四條デ支給ヲシテヤルト云フコトニナル譯デアル、但シ茲ニ但書ガ必要デアリマシテ「但シ命令ノ定ムル所ニ依リ特別ノ事由アル場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ支給セザルコトヲ得」ト云フノガ二十四條ノ但書デアリマスガ、此但書ニ依リマシテ、例ヘバ勞働者側ニ於テ不都合ナ行爲ガアッタト云フヤウナ爲ニ、會社ヲ罷メナケレバナスト云フヤウナ場合ニハ、退職手當ヲヤラスト云フコトガ從來ノ慣例デアリマスカラ、サウ云フヤウナ慣例ハヤハリ或ル程度ニ將來モ採入レナケレバナラスト思ヒマスガ、ソレハ命令デ決スル筈デアリマス、サウ云フヤウナコトニ致シマシテ積立テタ金ヲヤライナ場合ガアルト、其金ハ一旦勞働者ニ割當テ、積立テタノデアリマスガ、必要ガナクナツタ、サリトテ之ヲ事業主ノ下ニ返スノデハナクシテ、是ハ又是トシテ特別手當トシテ積立テル、是ガ二十五條、二十五條デサウ云フエ合ニシテ餘ッタ金ヲ特別手當トシテ積立テ

ル、サウシテ特別手當ヲ二十六條デ支給シテヤル譯デアリマス、詰リ斯ウ云フ工合ニシテ餘ツタ金ガアリマシタナラバ、之ヲ積ンデ置イテ、サウシテ退職手當ノ特別手當トシテ二十六條デ支給シヨウト云フコトニナツテ居ル、隨ヒマシテ斯ウ云フヤウニ餘ツタ金ヲ使フノデアリマスカラ、或ル場合ニハ二十六條ノヤウニ二十日分ナリ、三十五日分ナリ支結シ得ナイ場合ガアル、不足スルヤウナ場合ガアリマス、サウ云フヤウナ場合ニハ按分シテデモヤラウ、斯ウ云フ意味ニナツテ居リマス、ソレカラアト二十九條マデハ以上ニ附隨シタ色々ナ條文デアリマス、十六條カラ二十九條マデガ大體ノ退職手當ニ關スル積立並ニ支給ノ原則デアリマス、本法ノ原則デアリマス、而シテ十六條カラ二十九條マデノ中デ最モ根幹ヲナス條文ガ十六條、十七條、二十四條、二十五條、二十六條ト云フコトニナツテ居ル、ソコデ申上ゲテ置カナケレバナラスノハ、其次ノ三十條デアリマス、此條文ハ以上ノ十六條カラ二十九條マデノ關係ニ代ル條文デアリマス、是ハ要スルニ此十六條、十七條デ積立テ退職手當積立金並ニ二十四條、二十五條等ノ特別手當積立金、斯ウ云フヤウナモノニ代テ第三十條ガアルノデアリ

マス、ソレデ此第三十條ノ趣旨ハ現在退職手當ノ制度ガ澤山行ハレテ居リマスカラ、其現在ノ工場、鑛山ノ退職手當ノ制度ヲ出來ルダケ其儘ニ生カシテ行カウ、生カシテ行キタイ、併ナガラ現在マデノ退職手當ノ制度ハ、制度ノ上トシテハアリマスケレドモ、之ニ對スル積立金ガナイ、是ガ大體ノ慣例デアリマス、詰リ退職手當ノ規程ハアルケレドモ、積立金ガナイト云フノガ現在ノ大體ノ實情デアリマス、ソコデ第三十條デハ從來カラ持テ居ル所ノ退職手當ノ制度ヲ其儘出來ル限リ生カシテ行ク、併ナガラ本法ノ原則ガ積立デアルヤウニ、從來ノ規程ニ對シテ積立ヲシテ貰ヒタイ、ソコデ此處デ準備積立金ト云フ文字ヲ三十條ニ用ヒテ居リマス、「事業主退職手當及之ガ支給ニ充ツル爲ノ準備積立金ニ關スル規程ヲ定メ」ト云フ準備積立金ト云フ文字ヲ用ヒテ居リマスガ、斯ウ云フ工合ニシテ在來ノ制度ニ準備積立金ノ制度ヲ設ケマシテ、サウシテ、行政官廳ノ許可ヲ受ケレバ面倒ナ十六條トカ十七條ノ規定ニ依ラヌデモ宜シイ、要スルニ第十六條、十七條、二十五條、二十六條等ノ規定ニ依ラヌデモ宜シイノダ、茲ニ書イテアリマスノハ此十六條、十七條ニ依ラヌデモ宜シイト云フノデアリ

マスガ、十六條、十七條ノ積立金ハ十六條ハ百分ノ二デアリマス、十七條ノ方ハ五朱以上ノ配當ノアツタ時ニ百分ノ三ヲ積ムト云フノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ面倒ナコトハセヌデモ、在來ノ退職手當ノ規程ヲ生カシテ、ソレニ準備積立金ノ制度ヲ設ケテ積立テレバソレデ宜シイ、但シ此場合ニハ行政官廳ノ許可ヲ受ケナケレバナラス、其際ニ行政官廳ノ許可ヲ受ケルニ付テノ一ツノ重要ナル條件ハ此三十條ノ三項ニアリマスガ、必ズ賃金十二日分ニ相當スル退職當ヲヤラナケレバナラス、ソレカラ尙ホ事業ノ都合ニ依テ解雇スル場合ニハ二十日分或ハ三十五日分ヲヤラナケレバナラスト云フ、一ツノ是ガ限定ヲ致シテ居リマス、斯ウ云フ條件ノ下ニ退職手當ヲ作ッテ、サウシテ此十二日分ト云フ金ガ支拂ヘルヤウナ準備積立金ヲスルナラバ、十六條、十七條等ノ手續ニ依ラヌデモ宜シイト云フノガ此三十條デアリマス、三十條ノ趣旨ハ現在行ハレテ居ル所ノ退職手當ノ制度ヲ、出來ル限リ本法ニ引合シテ行カウ、本法ト在來ノ制度トノ調和ヲ圖ッテ行キタイ、在來ノ制度ヲ成ベク生カシテ行カウ、但シ之ニハ積立金ガ在來ナカッタノヲ附加ヘテ行カウ、隨テ三十條ハ相當ニ活用サレル條文デアルト

思ヒマス、是ガ必要ナ條文デアリマス、ソレカラ次ハ第四章、退職金審査會、是ハ別ニ大シタコトハアリマセヌ、第五章ハ罰則デアリマス、ソレカラ其次ガ附則デアリマスガ、附則デハ特ニ非常ニ重要ナモノモアリマセヌガ、唯、第四十三條ニ於テ、在來ノ退職手當ノ規程ガアレバ、ソレハヤハリ有效デアルト云フコトデアリマス、勿論民事上ノ契約ニ依ッテ變更スルコトハ隨意デアリマスガ、本法ガ適用サレタカラト云フテ、在來ノ退職手當ノ規程ニハ變更ガナイノダト云フヤウナ法理ヲ明ニシタ條文デアリマス、ソレカラ尙ホ此際問題ニナツテ居リマスル條文ヲ申上ゲマスト、第八條ガ問題ニナツテ居リマス、第八條ニ百分ノ七ト云フ文字ガアリマスノデ、是ガ色々問題ニナツテ居リマスガ、百分ノ七ト云フコトニナリマシタ所以ヲ簡單ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、實ハ積立金ハ十六條、十七條デ積立テラレルノガ重要ノ部分デアリマス、十六條デハ百分ノ二ガ義務トシテ積立ラレル、十七條デハ五朱以上ノ配當ガアッタ場合ニ一定ノ條件ノ下ニ百分ノ三マデ積立ラレル、兩者ハ百分ノ二乃至百分ノ三、但シ百分ノ三ノ方ハ常ニ條件ガアルノデアリマスガ、是等ノ條件ガ成就致シマスレバ、

ヤハリ百分ノ三ガ義務デアリマス、百分ノ二ト百分ノ三ガ事業主ノ義務ニナル譯デアリマス、ソレナノニ何故百分ノ七ニシタカト云フ所ニ疑義ガ生ズルノデアリマスガ、是ハ此十六條ニモ書イテアリマスガ、從來事業主ガ積立テ居ルヤウナ實例モアリマス、ソレカラ又百分ノ二以上ニ積立テルト云フ場合モアリ得ルノデアリマシテ、サウ云フヤウナ場合ニハ本法ニ依ル積立トシテ、特別ニ保護シテ行カウ、即チ差押トカ、或ハ免稅トカノ取扱ニ於テヤハリ本法ニ依ル積立トシテ積立テ、行カウト云フノデアリマス、少クトモ百分ノ二ト云フ文字ガアリマス、是ガ又問題ニナッテ居ルノデアリマスガ、少クトモ百分ノ二ダカラ場合ニ依ルト百分ノ二以上ヲ積立テル、事業主ノ好意ニ依ッテ積立テラレル場合ガアリマス、サウ云フ場合ニハヤハリ百分ノ五ヲ超エテ積立ラレル結果ニナルノデアリマス、ソレカラ附則ノ第四十二條ニ「事業主本法施行ノ際現ニ使用スル労働者ノ本法施行前ノ勤務ニ對スル退職手當及之ガ支給ニ充ツル爲ノ準備積立金」ト云フ文字ガアリマスガ、事業主ガ本法施行前ノ労働者ノ勤務ニ對スル積立金ヲシテヤラウト云フ、是ハ任意的ノモノデアリマス、任意的ノモノデアリマスガ、

事業者ガ斯ウ云フ風ニヤッテヤラウト云フ場合ニハ、是ハヤハリ一ツ行政官廳トシテハ許可ヲシテ、サウシテ免稅、差押等ニ對スル取扱ヲヤハリシテヤラナケレバナルマイト云フコトデ、四十二條デモ多少積立ガアル場合ガアリマス、是モ亦百分ノ七ト云フ中ニ入ッテ來ルモノデアリマス、ソレカラ尙ホ後ニ歸リマスガ、三十條ノ場合ノ準備積立金モ或ハ此中ニ入ル場合ガアルノデアリマス、ソレデ百分ノ七ニ近クナル、百分ノ七ニナル場合ガアルノデアリマス、ソコデソレダケノ餘裕ヲ取ッテ置イタノデアリマスガ、百分ノ五ガ義務デアルニ拘ラズ、尙ホ其他ニ百分ノ二ノ餘裕ヲ取ッタノデアリマス、何故斯ウ云フコトヲシタカト申シマス、是ハ一面カラ言フト免稅ノ關係ガアリマス、非常ニ澤山積立テルトヤハリ免稅ノ關係上困ルト云フ點ガアリマスノデ、限度ヲ決メナケレバナラス、ソレカラ他面差押禁止ニナッテ居リマスノデ、不融通物ニナル關係上、ヤハリ百分ノ七ト云フ一ツノ限度ヲ決メナケレバ不融通物が餘リ多クナルトイカスト云フコトデ、百分ノ七ト決メタノデアリマス、サウ云フ譯デ義務トシテハ百分ノ五デアリマスガ、尙ホ其上ニ積立ラレルコトガ本法ニ依ッテ有り得ルノデ、

ソレダケ餘裕ヲ置イタト云フコトデアリマス、餘裕ヲ置キマシテ、本法ニ依ル免稅及ビ差押禁止ノ保護ヲ與ヘテ行カウト云フノガ、斯ウ云フ百分ノ七ノ文字ノ現レタ所以デアリマス

大體以上ノヤウナ條文ガ幹根ヲ成シテ居ルモノデアリマシテ、尙ホソレニ續イテ特色ノ條文ガ附イテ居ルヤウナ次第デアリマス、洵ニ恐縮デアリマシタガ、大體ヲ申上ゲマシタ

○熊谷委員長 是ヨリ申出順ニ依リマシテ質問ヲ許シマス——齋藤君

○岡本委員 私一寸議事進行ニ付テ——今御説明ハ聽キマシタガ、其前ニ材料ノ要求ヲ致シタイノデスガ、其手續ハ濟ミマシタカ

○熊谷委員長 松村君カラ請求ガアリマシタガ、アナタカラモ御請求ガアッテモ宜シウゴザイマス

○岡本委員 或ハ重ナルノガアリマシタナラバ、其分ハ必要ハアリマセヌ、私カラ材料トシテ御願致シタイノハ、政府ノ事業ニ對スル退職手當ハドウ云フヤウニナッテ居ルカト云フコトデス、鐵道製鐵所、或ハ專賣局、造幣局、斯ウ云フ所ノ在來行ハレタ退職ノ手當ハ、現在ドンナ風ニナッテ居ルカ、

現在ノミデハナイ、出來マスナラバ其經過、最近十年位デ宜イト思ヒマスガ、何レ變ッテ居ルト思ヒマスカラ、經過ニ關スルコトモ表ニシテ戴ケバ尙ホ宜シイノデスガ、ソレヲ一ツ戴キタイ

ソレカライマ一ツハ工場法ト健康保險法、此二ツノ法規ノ適用ガ、施行當時ヨリモ漸次範圍ヲ擴張シテ行カレタト思ヒマスガ、其施行當時ニハ或ハ何名以上ノ工場ニ適用シ、其後何年ニ至ッテ何名以上ニナッタト云フヤウニ、適當ノ範圍ガ擴メラレタ經過、詰リ工場法ハ初メハ百名以上ニ適用シタガ、其次ハ五十人以上、其次ハ三十人以上ト漸次範圍ガ擴メラレタト思ヒマスガ、其施行當時ヨリ現在ニ至ル經過、健康保險法モサウカト思ヒマス、ソレヲ纏メ一ツ戴キタイ

イマ一ツ法案ノ四十三條デスガ、今御説明ニ依リマシテ、在來ノ法規ノアルモノハヤハリ效果ヲ持ッテ居ル、適用サレルノダ、斯ウ云フ御説明ガアッタヤウデシタ、此「本法適用前ノ退職手當規程ハ本法ノ適用ニ依リ廢止又ハ變更セラルルコトナシ」、是ハドンナ規程ガアリマシタカ、其規程モ戴キタイト思ヒマス、ソレダケデ宜シウゴザイマス

○熊谷委員長 今ノ材料ニ付テハ如何デゴ

ザイマスカ

○廣瀨政府委員 出來ルダケ揃ヘテ早ク差
上デマス

○熊谷委員長 他ニナケレバ齋藤サン、只
今潮内務大臣ハ貴族院ノ方ニドウシテモ行
カナケレバナラヌノデ、暫時缺席スルサウ
デス、アナタノ質問ハ先ヅ政府委員ニ御質
問下サイマシテ、内務大臣ガ歸ラレタラ更
ニ質問ヲシテ戴ク、斯ウ云フコトニシテ戴
キタイ

○齋藤委員 私ノ質問ハ只今社會局長官ノ
御説明ニナリマシタコトニ付テモ、質問ガ
アリマスケレドモ、其以前ニ内務大臣ト商
工大臣ニ二三質問致シタイコトガアリマ
ス、内務大臣ハ長ク掛ルノデスカ

○熊谷委員長 豫算デスカラ、大分長ク掛
リマセウ

○齋藤委員 ソレデハ内務大臣ト商工大臣
ノ質問ハ後ニ保留致シマシテ、其他ノ問題
ニ移リマス

○熊谷委員長 サウ願ヒマス

○齋藤委員 先ヅ私ハ二三質問致シタイコ
トガアリマスケレドモ、其質問ニ入りマス
前ニ一般的ニ伺フテ置キタイコトハ、昨日
アタリカラ政府ガ本案ニ對シテ大讓歩ヲ爲
サレテ、其通過ヲ圖ラレルト云フヤウナコ

トガ巷間傳テ居ルノデアリマス、内閣書記
官長ノ藤沼君ガソレ等ノコトニ付テ、外部
ノ人ニ何カ御話ガアッタヤウニ私共間接ニ
聞イテ居ルノデアリマスガ、例ヘバ第一條
ノ三十人ハ五十人ニ妥協シテモ宜イト云フ
ヤウナコトガ傳テ居リマス、是ハ吾々マダ
委員會モ開キマセヌ間ニ、内閣書記官長ト
モ申サル方ガサウ云フコトヲ御話ニナル
筈ハナイト思ヒマスケレドモ、藤沼君デア
レバ或ハアルカモ知レヌト存ジマス(笑聲)
其點ヲ一ツ伺ヒマシテ、是ハ社會局長カラ
御答願ヒタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 新聞ニサウ云フ種類ノ記
事ガ出デ居ルヤウデアリマスガ、主務省タ
ル内務省ニ於テハ、一向サウ云フコトニ付
テハ存ジテ居リマセヌ

○齋藤委員 第二ニ伺ヒタイコトハ、是ハ
新聞デ委員諸君モ既ニ御承知ノコトト存ジ
マス、全產聯ト内務省ノ社會局トガ聲明戰
ヲヤツテ居ラレマス、大體私ハ其聲明戰ヲ
讀ミマス、ドウモ内務省ノ側ニ於テ幾ラ
カ官僚的ノ流レガアルノデヤナイカ、最小
限度ニ申シマシテモ不親切デハナイカト、
斯ウ思ハレルノデアリマス、其要點ハ全產
聯ノ方デハ、一度此案ガ參與會議ヲ經テ一
般ニ發表サレタ其案ト、今回提案サレタ案

トガ大變ニ方針ニ於テ異ツタ點ガアル、斯ウ
云フコトガ閣下アルト申シテ居ルノデア
リマス、ソコデ社會局ノ文面ヲ見マス、ソ
レハ參與會議ト云フモノハ内部ノ機關デア
ルカラ、別ニ外部ニ交渉ガナイノデア
ル、發表シタト云フヤウナコトハナイ、隨テ拔
打的ノ仕打デアルト云フヤウナコトハナイ
ト云フコトヲ申サレテ居ルノデアリマス、
私共ハ其是非ハ存ジマセヌケレドモ、大體
斯様ナ當業者ニ負擔ヲ與ヘマス所ノ法案
ハ、能ク當業者ニ徹底ヲサシテ下サイマシ
テ、即チ其案ヲザックバラシニ社會ニ發表シ
テ戴イテ、サウシテ又社會ノ大衆ノ意向ヲ
聽クト云フコトモ必要デヤナイカト思フノ
デアリマス、其見地カラ見マス、少クモ
最後ノ案ニ付テハ閣下アルト云フコト
ハ、私ハ言ッテ宜シイト思フ、ドウモ私ハ最
近内務省系統ノ役人ノ人々ノヤリ方ニサウ
云フ傾向ガアルノデヤナイカト思フ、昭和
七年齋藤内閣以來身分保障ガ出來マシテカ
ラ以來、サウ云フ傾向ガアルヤニ思フノデ
アリマス、官僚化シテ居ル、新官僚、ドウ
云フ所ガ官僚デアルカ、私等ハ斯ウ云フヤ
ウナ所ガヤハリ官僚ノ一ツノ流デアルト思
フ、之ニ付テハ私内務大臣ニ又伺ヒタイコ
トガアリマスケレドモ、此全產聯ト社會局

ノ當局トノ關係ニ付キマシテ、一應政府委
員ノ御説明ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 此退職手當ニ關スル法律
案ノ成立致シマシタ今迄ノ經過ヲ申上マシ
テ、御參考ニ供シタイト思ヒマスガ、御手許
ヘ差上ゲマシタ退職手當積立金法案要綱、
之ヲ昨年約一年掛リマシテ、内務省ノ失
業對策委員會ニ於テ審議致シマシテ、サウ
シテソレガ要綱ヲ決定致シマシテ、内務大
臣ニ是ガ答申ニ相成リマシタ、ソレガ昨年
ノ暮デアリマスガ、ソレガ白イ此書物デ、御
手許ヘ差上ゲテ居ルト思ヒマス、是ハ印刷
サレテ居リマスカラ一般ニ出テ居リマス、
サウシテ此失業對策委員會ニ於テハヤハリ
各方面ノ方ニ入ッテ戴キマシテ、長イ間ノ審
議ヲ經タノデアリマス、其結果出來上リマ
シタ此要綱ニ基イテ、ヤハリ私共ノ方デ尙
ホ是カラヤリマシテ、サウシテ其要綱ニ依ッ
テ社會局ノ參與會議ニ掛ケタコトハアリマ
ス、併シ要綱デアリマシテ、主ナル點ニ付
テハ其掛ケタ要綱ト變ッテ居ラナイ積リデ
居リマスケレドモ、色々要綱ヲ掛ケテ、ソ
レヲ法文化致シマス、兎角色々變ッタ所
ガ出テ來ル、併シ私共ハサウ重要ナ點ニ於
テ變ッタ所ハナイト思ヒマスガ、ソコニ稍、
誤解ガアッタノデハナイカト思ヒマス、別

ニ私共ニサウ深イ考ガアッテ要綱ヲドウシタ、特ニ變更シタト云フヤウナコトハナイノデアリマス、サウ云フヤウナ經過ヲ經テ居リマスノデ、ヤハリ失業對策委員會ニ於テ各方面ノ關係ノ方々ノ御意見ヲ伺ッテ、サウシテ是ハ印刷シテ公ニハナッテ居リマスガ、併シ是ハ失業對策委員會ノ答申デアリマシテ、之ニ基イテ私共ハ法案ヲ作ッタト云フ事情ニナッテ居リマス、大體ソシナヤウナ狀態デアリマス

○齋藤委員 私共ハ實ハ此法案ハ、此内閣ノ唯一ノ社會立法デアリマシテ、非常ニ歡迎ヲシテ賛意ヲ表スル法案デアリマス、併ナガラ只今社會局長官ノ御話ガアリマシタガ、又昨日モ本會議ニ於テ内務大臣ノ答辯ガアッタノデアリマス、ソレハ參與會議ヲ經テ社會ニ發表シタ案ト今回ノ法案トハ方針ガ變ッテ居ラス、只今モサウ云フ意味ノ御話ガ社會局長官カラアッタノデアリマスケレドモ、此法案ノ根本ノ方針ト言ヒマシタラ、勞働者ヲ保護シマシテ、間接ニハ事業主モ保護サレルノデアリマス、サウ云フヤウナコトハモウ變リコハナイノデアリマスガ、方針ト申シマシタラ、第一條ノ五十人が三十人ニナルトカ、是ハ中小商工業者ガ昨今非常ナ疲弊困憊ヲ致シテ居リマス、即チ商工

組合中央金庫等ノ制度ノ由ッテ來ル所モ、此事情ニ鑑ミル所ガアッタノデアリマスカラ、サウ云フ中小工業者ノ現狀ニ照シマシテ、

此法案ガドンナ結果ヲ中小工業者ニ與フルモノデアルカ、斯ウ云フコトニ於テ吾々モ非常ニ懸念ヲ致シテ居ルノデアリマス、其中小工業者ノ五十人以上、或ハ三十人以上ト云フコトガ、本當ハ此法案ノ要點デアリマシテ、是ガ五十人が三十人ニナルト云フガ如キコトハ、是ハ此法案ノ方針ガ變ルト云フコトニナルノデアリマス、又退職手當積立金ノ積立率ニ付キマシテモ、最初發表ニナッタ案ニハ確定率ノ案ニナッテ居ッタヤウニ私共ハ承ッテ居ル、ソレガ今回御承知ノ通り、事業主ノ利益ニ從ッテ變更サレル所ノ方法ノ率ニ變ッタノデアリマス、是モ此法案ノ大方針デアリマシテ、此確定率ガ變ッタト云フコトガ私ハ方針ガ變ッタモノト思フノデアリマス、コンナ重大ナコトガ方針ガ變ッテ居ルニモ拘ラズ、方針ガ變ッテ居ラスカラ、前ニ發表シタ案ト變リガナイト云フコトガ昨日内務大臣ノ辯明、又只今社會局長官ノ御話ニモサウ云フ意味ガアッタヤウニ思ハレル、是等ノ點ニ付テドウ御考ニナッテ居ルノデアリマスカ、只今申上ゲマシタ五十人が三十人ニナッタト云フヤウナコト、ソ

レカラ退職積立金ノ確定率ノ問題デアリマス

○廣瀨政府委員 御答申上ゲマス、只今ノ御質問中五十人が三十人ニナッタト云フ御話デアリマシタガ、サウデハナイノデアリマシテ、ヤハリ「退職積立金及退職手當法案要綱及資料」ト云「白本ニモ書イデアリマスガ、三十人ニナッテ居リマス、此白本ニモ三十人ニナッテ居リマス、今日モ踏襲致シテ居ル譯デアリマス、無論參與會議ニ於テモ三十人デ出テ居リマス、ソレカラ尙ホ只今ノ御話デ、利益ノ配當ヲ標準ニシタト云フコトハ、前ニハナカッタノデハナイカト云フヤウナ御言葉ニ聞キマシタガ、白本ノ三頁ノ三ノ二ヲ御覽願ヒマスト、是ハ失業對策委員會ノ答申當時カラヤハリ利益ノ配當率ト云フヤウナコトヲ見テ居ルノデアリマス、今回少クトモ百分ノ二ト云フヤウナ文字ヲ用ヒタリ、或ハ利益ノ配當ト云フヤウナ文字ヲ用ユルノハ穩カデハナイト云フコトデアリマシタガ、利益ノ配當ト云フコトハ前カラ之ヲ使ッテ居リマス、唯少クトモト云フ文字ハ最近入ッタノデアリマスガ、併シ是ハ先程申上ゲマシタヤウニ確定率トシテハ百分ノ二デアリマシテ、百分ノ二ガ法律上ノ義務デアルト云フコトハ、依然同ジデ

アル、唯ソレ以上、積立タ場合ニ、ソレハ本法ニ依ル積立トシテ取扱フノダト云フ意味カラ、斯ウ云フ文字ヲ入レタノデアリマス、百分ノ二ガ確定率ト云フコトハ前カラ變ラナイノデアリス、サウ云フヤウナ關係デ、私共ノ考デハ左程大キナ變動ヲ與ヘテ居ラナイト信ジテ居ルノデアリマス

○齋藤委員 百分ノ二ハ確定率デアルト云フ御話デアアル、百分ノ三ガ此利益ニ依ッテ變更スルト云フ御話デアリマス、是ハ法文ニモサウ書イデアリマシタ、私ハ此利益ヲ基調トシテ、増減スル率ヲ御決メニナルト云フコトハ、此勞資ノ爭議ヲ誘發スル原因ニナリハセヌカト思フノデアリマスガ、此點ニ付テ社會局ハ如何ニ考ヘテ居ラレマスカ、私新聞デ見たノデアリマスケレドモ、此點ニ付テ勞働部長ノ赤松君ガ斯ウ云フコトヲ述ベテ居ル、本法ハ退職手當制度ヲ標準化シ、之ニ依ッテ勞働爭議ノ餘地ナカラシムルノガ立法ノ趣旨ノ一ツナルコトハ、失業對策委員會以來文書ニ講演ニ力説ラシタ所デアッテ、解雇手當ノ要求ハ日常爭鬭及ビ組合ノ勢力擴張ノ有力ナル手段デアルカラ、是ガ標準化、法制化ハ組合ノ日常爭鬭ノ重要手段ヲ失フ譯デアリ云々トアルノデアリマス、斯ウ云フ意味ノコトヲ各所デ御

講演ニナツテ居ルニ相違ナイノデアリマスガ、サウ致シマスルト、ヤハリ此點モ御考ガ變テ居ルヤウニ私ハ思フ、兎モ角斯ウ云フ變動ノアル率ニ御變ヘニナツタノデアリマスカラ、是ガ勞資ノ紛争ノ原因ニナルコトヲ御認ニナルカドウカ御尋致シマス

○廣瀨政府委員

先程私ガ申シマシタノハ、或ハマダ足ラヌ所ガアツタカト思ヒマスガ、此確定率ト申シマスカ、或ハ利益配當ト云フヤウナコトヲ標準ニシタト云フ點デアリマスガ、モウ一度改メテ申上ゲマス、失業對策委員會以來ヤハリ會社ノ利益配當ガ五朱ヲ超エレバ、五朱ヲ超エタ金額ノ中カラ、或ル程度ノ積立ヲサセルノダト云フコトヲ初カラ今日マデ守ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウニ致シマシテ、配當ト云フ外形的ノ標準ニ依ッテ積立ノ規定ヲ設ケマスルナラバ、是ハ決シテ争ヲ生ズルモノデアナイト私共ハ思ッテ居ルノデアリマス、殊ニ今回ノ法律ノ上デハ勅令ニ特ニ規定ヲ置キマシテ、純益計算、或ハ配當等ニ付テ著シキ不當ナコトガアツタナラバ、是ハヤハリ

稅務署ト縣廳トノ間ニ連絡ヲ取りマシテ、其更正ヲ命ズルト云フ積リデ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ配當ニシマシテモ、純益計算ニ致シマシテモ、一應事業主ノ計算ニ

依リノデアリマスガ、最後ノ決定ハ勅令ニ依リマシテ行政官廳ノ認定ニ依ルノデアリマス、其行政官廳ノ認定ニ勞働者ガ不服デアルト云フヤウナコトハ、ソレハ私共ハ其處マデ問題ヲ起スコトハナイモノダト思ッテ居リマス、隨テ本條ニ依ッテ勞働爭議ガ誘發セラレルト云フヤウニハ考ヘテ居ラスノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、ヤハリ私共ハ初メニ考ヘテ居リマシタヤウニ、退職手當ノ制度ヲ合理化シ、普及化シテ行クト云フ此法律ト云フモノハ、勞働爭議ノ原因ヲ除去スル方ニハ働ケレドモ、爭議ノ原因ヲ増ス方ニ動クト云フヤウナコトハ、今日モ以前ト同ジヤウニサウ云フコトハナイト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○齋藤委員

只今ノ點ハ私共ト一寸所見ヲ異ニシテ居リマス、更ニ次ノ御尋ニ移リマス、中小工業者ノ疲弊困憊ヲ致シテ居ルト云フコトハ、モウ御承知ノ通りデアリマス、本法ガ實施致サレマシタナラバ、經濟上ノ負擔、又事務上ノ負擔ヲ負ハナケレバナラスノデアリマスガ、事務上ノ負擔ト申シマシテモ、結局ハ經濟上ノ負擔ニナラウト思ヒマス、此事務上ノ負擔、經濟上ノ負擔ヲ果シテ現在ノ中小工業者ガ負擔シ得ル

ト御認メニナツテ居ルカドウカ、昨日ノ本會議ニ於キマシテ、此點ニ付テ商工大臣ハ善處スルト申サレテ居リマス、又内務大臣モ之ニ付テ同意ノ意ヲ表サレテ居ルノデアリマス、中小工業者ニ對スル所ノ重壓ハ私ハ可ナリ重ク響クモノデハナイカト思ヒマス、私ノ計算ヲ致ス所ニ依リマス、例ヘバ百分ノ七ノ場合ヲ考ヘマシテ、勤續一箇年ニ對シテ二十三日間ノ手當額ヲ支給シナケレバナラヌヤウナコトニナル、之ヲ定額日給ニ換算致シマスレバ三十七圓ノ手當額ニナルノデアリマスガ、此本法ノ結果トシテ現在大工場ニ於キマシテモ斯様な場合ニ於キマシテハ、二十日内外ノ手當ニシカナツテ居ラスノデヤナイカト私ハ思フノデアリマス、サウ致シマス、勞働者ガ三十人、四十人ノ工場ガ斯様な場合ニ現在ノ大工場ヨリモ大ナル負擔ヲ負ハナケレバナラヌト云フコトニナル、斯ウ云フヤウニ私ノ計算ハナツテ居リマスケレドモ、果シテ斯ウデアレバ私ハ中小工業者ニ對スル所ノ打撃ガ可ナリ大キイト思ヒマス、又積立金ガ運用サレルコトニナツテ居リマスケレドモ、此積立金ノ利子ト云フモノハ是非常ニ低イモノデアリマス、郵便貯金、銀行ヘノ預金、金錢信託、登錄國債、斯ウ云フコトガ法ニ

示サレテ居ルノデアリマスガ、之ヲ確實ナル方法ニ依ッテ運用スルコトガ出來ル、此確實ナル方法トハ一體下シナコトデアリマス、現在中小工業者ハ高イ利息デ借りマシテ、サウシテ此積立金ト云フモノヲ寢カシテ置カナクチヤナラヌ、之ヲ又確實ナル方法——擔保デモ入レテ、此積立金ヲ運用セナケレバナラヌノデアリマス、カドウカ、今回吾々が協賛致シマシタ商工組合中央金庫法ノ如キハ、組合員ノ保證ガアレバ無擔保デ金ヲ貸スト云フノデアリマス、斯ウ云フコト、私ハ本法ノ中小工業者ニ對スル營業ト云フモノガ非常ニ矛盾シテ居ルヤウニ思フノデアリマス、是等ノ點ヲ一ツ能ク御説明ヲ御願致シマス

○廣瀨政府委員

只今ノ御話ノ中ニ、非常ニ誤解ヲセラレテ居ルヤウナ點ガアリマス、改メテモウ一度申上ゲタイト思ヒマス、先程申上ゲマシタ第八條ニ百分ノ七ト云フ文字ガアリマスガ、此百分ノ七ガ誤解ノ因ニナツテ居ルノデアリマシテ、非常ニ私共遺憾ニ存ジテ居リマス、此百分ノ七ト云フモノハ積立義務ノアル金デハナイノデアリマシテ、手當ノ積立義務ハ十六條ニアル百分ノ二ヲ積立テルコトガ義務デアリマス、ソレカラ十七條ニ五朱以上ノ配當ガアッ

タ場合ニ於テノミ百分ノ三ヲ積立テルト云フコトガ義務ニナッテ居リマス、隨ヒマシテ兩者合セテ百分ノ五ガ義務デアリマシテ、而モ百分ノ五ノ中デ百分ノ三ハ十七條ニ依ッテ特ニ利益ノアツタ場合ニ限ルノデアール、サウ云フコトニナッテ居リマスノ、決シテ百分ノ七ガ積立義務ト云フコトニハナッテ居ラヌノデアリマス、残りノ百分ノ二ハ何カト仰セラレルト、ソレハ四十二條竝ニ三十條等ノ關係カラ來ル所ノモノデアリマス、是ハ別ナモノデアリマシテ、決シテ十六條、十七條デ百分ノ七ニナルト云フヤウナコトニハナラヌノデアリマス、百分ノ七ト云フ數字ヲ上ゲマシタノハ、是ハ百分ノ五ト云フ義務ノ外ニ、四十二條ト云フヤウナ場合ガアリマシテ、本法施行前ノ労働者ノ勤務ニ對スル積立金ト云フヤウナ場合ガアルノデアリマスカラ、ソレヲ補フト云フ意味デアリマス、ソレデアリマスカラ私共ガ普通ニ考ヘル所ハ、先ヅ百分ノ二ヲ積立テルノガ第一ノ義務デアリマシテ、是ハマア五六日分、一年ニ職工一人ニ付テ五六日分ニ當ルノデアリマス、其他ニ若シ非常ニ利益ガアツタ場合ニハ百分ノ三ヲ積ミマスカラ、是マデ合セルト百分ノ五ニナリマシテ、十七八日分ニナルト思ヒマス、ソ

レハ併シ非常ニ利益ノアツタ場合デアリマス、サウデナイ場合ニハ百分ノ二デアリマスカラ、一年ニ一人ノ職工ニ付テ六日分カ七日分ニ相當スルノデ、サウ中小工業ニ對シテ非常ナ重イ負擔デハナカラウト思ヒマス、併シ尙ホ本法ノ第一條ニ於キマシテハ、昨日モ兩大臣カラ御話ノアツタヤウニ、第二項ヲ設ケマシテ、主務大臣ハ事業ノ種類又ハ規模ヲ限ッテ本法ノ適用ヲ除外スルコトガ出來ルト云フコトニナッテ居リマシテ、三十人以上デアッテモ大體ニ於テ五十人未滿ノモノニ付テハ——資力ノ弱イモノニ付テハ適用ノ除外ヲ或ル程度致サウト云フ積リデ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ事情カラ相當ニ第二項ニ依ッテ斟酌ガ加ヘラレルノデアリマシテ、之ニ依ッテ以テ中小工業者ニ對スル負擔ノ苦シミヲ逃レシメルコトガ出來ルノデハナイカト思ッテ居ルノデアリマス、先程ノ百分ノ七ト云フノハ、是ハ非常ナ誤解ヲ一般ニ起シテ居リマシテ、洵ニ殘念ニ思ッテ居リマスガ、サウ云フヤウナ事情デアリマス、ソレカラ尙ホ運用ノ問題デアリマスガ、運用ニ付テ確實ナル方法ハドウ云フコトカト云フ御尋デアリマスガ、ソレハ御話ノヤウニヤハリ擔保ヲ提供シテ、サウシテ確實ニシテ運用ヲシテ貰ハナ

ケレバナラヌノデアリマシテ、是ハヤハリ労働者ノ爲ニ將來支給スル豫定ノ下ニ手當積立金トシテ積立テルノデアリマシテ、サウ云フ種類ノ特別ノ金デアリマスカラ、萬一ノコトガアリマスト相成リマセヌノデ、相當ナ確實ナ擔保ヲ以テ之ニ充テルト云フコトハ、是ハ此金ノ性質上洵ニ已ムヲ得ナイ次第デアルト思ヒマス

○齋藤委員 私ハ百分ノ五ニ致シマシテモ相當中小工業者ニ對シテハ負擔ガ重イヤウニ思ヒマス、併ナガラ是ハ議論ヲ致シテモ仕方ガアリマセヌカラ、次ノ問題ニ移リマス、積立ニ付キマシテ郵便貯金ニ致シテ置ク、或ハ銀行預金ニ致シテ置ク、是ハ隨分重イ罰則ガ付イテ居リマスケレドモ、ドウモ事業主ハ使ヒ込ガアルノデハナイカト思ヒマス、隨分中小工業者ハ困ッテ居リマスカラ、コンナ金ガアルナラバ、高イ利息ヲ出シテ金ヲ借りルヨリハ之ヲ使ヒ込シタ方ガ宜イ、斯ウ云フコトニナッテ、相當茲ニ犯罪ガ起ルノデハナイカト思フノデアリマス、斯ウ云フ事ヲ豫防サレル何カ御考ガアルカドウカ、之ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 此退職手當ノ制度ニ依リマシテ積立金ヲ致シマス、ソレヲ金融逼迫ノ際ニ事業主ガ引出シテ、退職手當以外ノ目的ニ使フト云フヤウナコトニナルト、ソレハ非常ニ困ッタ事デアリマス、ソレハ労働者ノ爲ニ法律ヲ以テ特ニ積立テサシテ、サウシテ労働者ノ生活ノ安定竝ニ平素ニ於テハ勤務ノ安定ノ爲ニ積立ヲサシテ置クノデアリマスカラ、之ヲ事業主ガ引出シテ使ッテシマフト云フヤウナコトガアッテハ困ルノデ、此法律ヲ作り、又此法律ニ依ッテ保護シテ行カウト云フ意味モアルノデアリマス、マアサウ云フ點ハ事業主ヲ信賴シテ、サウ云フ事ハ萬々ナイトハ思ヒマスガ、併シ折角労働者ガ永イ間働イテ、ソレニ對シテ資本主ガ積立テタ金ガ出來テ居ル、ソレヲ唯一ノ樂ミニシテ居リマスモノガ、資本主ニ依ッテ勝手ニ使ハレテシマフト云フヤウナコトガアリマシテハ、ソレハ非常ニ氣ノ毒ナ事デアリマスノデ、相當ナ罰則ヲ以テデモ、ソシナ不心得ナ事ガアレバ臨ムヨリ致シ方ガナイト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ對シテハ郵便貯金ト云フヤウナ嚴格ナ方法ヲ執ッテ置ケバ誤ハアリマセヌ、唯引出シテ使ヒサヘシナケレバ宜イノデアリマス、引出シテ退職手當以外ノ事ニ勝手ニ使ハレテハ困ルノデ、已ムヲ得ズ重イ罰則ヲ設ケルト云フコトニナッテ居

ルノデアリマス

○木村委員 議事進行ニ付テ——此法案ヲ見マスルト、勅令ノ規定ニ依リトカ、或ハ命令ノ定ムル所ニ依リトカ、或ハ主務大臣ハ何マスルコトヲ得トカ、斯ウ云フ規定ガ非常ニ多イヤウデアリマス、是ハ本案ヲ審議スル上ニ必要デアリマスカラ、其内容ヲ御示シテ願ヒタイ、參考材料トシテ御提出ヲ願ヒタイ

○齋藤委員 私ノ質問ハ只今ハ是レ位ニ致シマシテ、内務大臣ガ御見エニナリマシトラ、更ニ質問ヲ致シマス

○熊谷委員長 加藤君

○加藤委員 私ハマダ能ク細カク調べテアリマセヌガ、昨日本會議デ質問シタコトデ不明瞭ナ點ガアリマスカラ、其點ヲモウ少シ確メテ置キタイト思ヒマス、只今木村君ヨリシテ、勅令、命令、主務大臣ノ定ムル所トカ云フヤウナ參考資料ヲ御要求ニナリマシタ、ソレヲ戴イタ上ガ其方面ノ質問ハ致シタイト存ジマスガ、第一ニ伺ッテ見タイト思ヒマスコトハ、利益配當ト超過利益ノ問題デアリマス、五朱以上、或ハ個人所得ニ於テハ百分ノ六十ガ五千圓以上ニ達シタ場合、是ハ特ニ積立テルト云フコトニナッテ居リマスガ、一應昨日申シマシタ如ク、机

上ノ理窟トシテハ結構ノヤウデアリマシタガ、其問題ノ爲ニ勞資相闘フト云フコトガ、第十七條ニ關シテ吾々ノ杞憂スル最モ大ナル一點デアルノデアリマス、其點ニ付テ昨日御説明ガナカッタヤウニ思ヒマスガ、其點ノ御説明ガ願ヒタイ

○廣瀨政府委員 昨日答辯漏ラ致シマシテ恐縮ニ存ジテ居リマスガ、此第十七條ノ問題ニ付キマシテ、利益ノ配當或ハ純益金ト云フモノヲ標準ニスル爲ニソコニ争ヒノ種ヲ生ズルト云フ御心配ノ點デアリマスガ、是ハ第十七條ニ特ニ勅令ヲ以テ規定スルコトニ讓ッデアリマスガ、勅令ニ於キマシテ、ドウ云フヤウニ計算スルノデアルカト云フ一定ノ事業主ノ計算ニ付テノ方法、主トシテ營業收益稅ニ依ルノデアリマスガ、サウ云フ方法モ示シ、サウシテ事業主ノ計算ニ依ッテ判斷ヲサセマシテ積立ヲサシテ行ク、萬一事業主ノ其計算ニ著シク不當ガアッタヤウナ場合ニハ、其勅令ノ定ムル所ニ依ッテ是ガ更正ヲ命ズルト云フ方法ヲ執ルコトニナッテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ先程モ御話シタノデアリマスガ、ヤハリ結局ノ利益ニ關スル所ノ認定ハ行政官廳ニ於テ致スノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、行政官廳ガ認定スルモノニ勞働争

議ガ發スルト云フコトハ、先 大體ニ於テ無イノデハナイカ、斯ウ云フ工合ニ吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○加藤委員 營業收益稅ノ査定ガ根本トナルコトハ申ス迄モナイノデアリマスガ、營業收益稅ノ査定ト云フモノハ、理窟ノ上デハ收益ト云フコトガ明確ニナリマスガ、從來ニ於テモ屢々議論ガアリマシタヤウニ、純益ト云フモノヲ見出スコトガ出來ナイノデアリマス、ソコデ稅務署ニ於キマシテハ大概ノ見積額デ決定スルノデアリマス、是ハ見積額デアルヨリ仕方ガナイ、同業ニ於テアレハドノ位ノ利益ガアルドラウ、是ハドノ位ノ純益ガアルドラウト云フ見積額デ之ヲ査定致シマスガ故ニ、中ニハ都合ノ好イモノモアリマセウガ、多クノ場合ハ苛斂誅求トマデ行カズトモ、不公平ナ査定ガ出來ル、之ヲ抗辯スル途ハ開ケテ居リマスガ、實際問題トシテハ抗辯スルコトガ出來ナイ、抗辯ガ成功致シマセヌ、成程其途ハアル、斯ウ云フ手續ヲスレバ宜イデヤナイカ、斯ウ云フコトヲスレバ宜イデヤナイカト云フ途ハアリマスルガ、實際問題トシテ出來ナイ、ソレデアリマスルガ故ニ、終始此營業收益稅ニ對シテ莫大ナ査定ヲサレルト云フコトハ、職工ノ方ハ利益ガアルト思フケレドモ

事業主ノ方デハ利益ガナイ、茲デモウツ問題ハ、前ノ年ニ利益ガアルト査定致ス、次ノ年ニナリマス、其第一年ガ寧ロ赤字ニナルヤウナ場合ガアリマシテモ、利益ガアルト査定スル、次ノ年ニ同ジヤウナ状態デアルト云フト、是ハモウ議論ノ餘地ハナイ、前ト同ジコトニ相成ッテ居ル、職工ノ方ハ必ズ利益ガアルト思フ、ソコデ行政官廳ガ其間ニ立ッテ相當ノ査定ヲスルト云フコトニナルヤウナ只今ノ話デアリマシタガ、ソレハ理窟デアリマス、實際問題トシテハ私ハ出來ナイト思フ、ソレデアリマスルガ故ニ、寧ロ是ハ一定ノ利率ヲ利益ノ有ル無シニ拘ラズ、利率ヲ多クシテ、百分ノ二ト云フノヲ或ハ百分ノ五トシテ正確ニシテ置イタ方ガ實際問題トシテハ宜クハナイカト、斯ウ思フ、利益ノナイ時ニモ、利率ヲ多クシテ百分ノ二ヲ百分ノ五ニスル、是ハ不合理デハナイカ、ソレハ理窟ニ於テハ不合理デス、理論ニ於テハ徹底ヲ缺イテ居リマスガ、實際問題トシテハサウシタ方ガ紛議ノ種ガ起ラスデ宜イドラウト思フノデアリマス、此邊ニ付キマシテ今一應……

○廣瀨政府委員 稅務署ノ査定ニ付テノ御話デアリマシタガ、ヤハリ縣廳ニ於テ此種ノ問題ヲ取扱フ場合ニ於テハ、同ジ國家機

關デアル所ノ稅務署ノ査定ヲ利用シテ之ヲ決定スル外ハ今ハ途ガアリマセヌノデ、之ニ依ルコトニ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ斯ウ云フヤウニ動ク標準ニ依ラナイデ、確定率デヤッタラドウカト云フ御話デアリマスガ、是ハ至極簡單デハアリマスルガ、併シドウモ割一ノ弊ニ陥ルト云フコトヲ言ハナケレバナラヌト思ヒマス、即チ負擔ノ能力ノ有ルト無イトニ拘ラズ、或ル程度ノ負擔ヲサセテ行クト云フコトガ非常ニ強クナリヤシナイカ、ドウモ負擔ノ能力ノアル場合ニ負擔シテ貰フト云フノガドウシテモ適當デアル、サウ云フノデアリマスカラ、ヤハリ斯ウ云フ可動のナ、動ク標準ニ依ル外ニ途ガナイ、動ク標準ニ依ルトスレバ、必ズ今日デハ同ジヤウナ國家機關デアル所ノ稅務署ノ査定ニ依ッテ之ヲ縣廳ニ於テモ利用スルヨリ外途ガナイト云フノデ、斯ウ云フコトニナッタノデアリマス、唯此際一應御話申上ゲテ置キタイノハ、先程モ申上ゲマシタガ、本法ノ第三章ノ中ニ、第三十條ト云フ規定ガアリマス、先程モ御説明申上ゲマシタガ、加藤サンハオ居デニナラナカッタカモ知レマセヌガ、第三十條ト云フ規定ガアリマシテ、此三十條ト云フ規定ハ十六條、十七條等ニ代ル規定デアリマ

ス、隨ヒマシテ若シ事業主ガ十六條、十七條ト云フヤウナ面倒ナコトハ困ル、斯ウ云フコトデアアルナラバ、第三十條ニ依ッテ認可ヲ受ケレバ、第三十條ニ依ッテハ斯ウ云フ十六條、十七條ノ計算ニ依ラナイコトモ出來ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、ドウシテモ嫌ナラバヤハリ第三十條ニ依ッテ貰フ、併シ第三十條ニハヤハリ一定ノ制限ヲ置イテアリマス、ソレハ第三項ニ勤續一年ニ付テ十二日分ト云フモノハ必ズヤラナケレバナラヌ、其外ニ色々ノ條件モアリマスガ、ソレニ依ルコトモ出來ルノデアリマス、私共ハヤハリ此十六條、十七條ト云フモノハ相當理論ニ根據ヲ置イテ進マナケレバナラヌモノデアルト思ッテ居リマス、第十六條ハ極ク低イ負擔ヲ一律ニ掛ケル、サウシテ其上ニ十七條ニ於テ利益ノアル場合ニ於テハ、特ニ利益ノアル會社ナリ、個人カラ出シテ貰フト云フコトヲ考ヘザルヲ得ナイノデス、ソコデヤハリ此種ノ一種ノ可動の標準ヲ用ヒタノデアリマス、ソコデ尙ホ勞働爭議ノ問題デアリマスガ、之ニ付キマシテハ先程申上ゲマシタヤウニ、行政官廳ニ於テ左様ナ認定ヲスルノデアリマシテ、サウ云フ問題ニ付テ紛議ヲ起ス、爭議ヲ起スト云フヤウナコトハ、是ハ決シテアラシ

メナイ積リデ吾々ハ居ルノデアリマス

○淺沼委員 關聯シテ材料ノ要求ヲ申上ゲタイノデスガ、内務省ノ社會局ノ方ニ於キマシテ、勞働者ノ雇傭關係ヲ基準トシテ、五人ノ工場ニ於ケル平均賃銀ハ幾ラ、ソレカラ二十人ノ工場ニ於ケル賃銀ハ幾ラ、ソレカラ三十人ハ幾ラ、五十人ハ幾ラ、百人ハ幾ラト云フ工合ニシテ至急出シテ戴キタイと思フノデス、是ガ非常ニ中小工業者ト勞働者トノ關係ニ於テ重大ナ問題ニナルト思ヒマスカラ

○熊谷委員長 如何デスカソレハ

○廣瀨政府委員 調べマシテ……

○淺沼委員 低賃銀ト關係シテ非常ニ重大ダト思ヒマスカラ至急願ヒタイ、是ガナケレバ中小工業者ガ非常ニ弱ッテ居ルト云フ點ト勞働者トノ關係ト云フモノガ、論據ガ中々立タヌト思フノデス

○加藤委員 只今利益ノ査定ハ即チ稅務署ノ査定ニ基イテ、行政官廳ガ之ヲ決定スルガ故ニ、左様ニ勞働爭議ガ起ルマイト、斯ウ云フ御答辯デアリマスガ、理論トシテハ其通りデ結構デアリマスガ、ソレカラ十六條ト十七條モ、理論トシテハ只今御提案ノ法案ノ通りデゴザイマス、理論トシテハ少シモ異議ハアリマセヌガ、楮テ實際問題ト

ナルト私ハ是ガ一番爭議ノ種ニナル、營業收益稅ナルモノヲ私ハ茲ニ彼此レ講釋メイタコトハ致シマセヌケレドモ、是ガ收益稅トナリマシタ所ガ、前ノ營業稅、外形標準デ利益ヲ見ルノト少シモ違ッテ居ラヌノデアリマス、屢々議會ニ於テモ論ジタコトデゴザイマスガ、ヤハリ稅務署ハ一定ノ外形割當標準ト云フモノヲ、賣上高ニ依ッテ見ルカ、製造高ニ依ッテ見ルカ、或ル率ヲ之ニ課ケル、デスカラ、收益ト云フモノヲ見テ居ラヌ、營業收益稅ト云フモノハ是ハ又理論ハ立派デアッテ、内容ハ營業稅ト相違スル所ガナイ、ソレデスカラ終始是ガ問題トナッテ居リマスルガ、是レ以上又名案モナイコトデアリマセウガ、之ヲ唯一ノ標準——又官廳ニ於テハ之ヲ標準トスルヨリ外途ガナイノデアリマスカラ、之ヲ當然トシテ決定スレバ爭議ハ起ルマイト云フコトハ、理論トシテハ宜イノデアリマスガ、實際問題トシテハ是ガ一番爭議ノ種トナル、是ハアナタ方ハ官吏トシテオ居デニナッテ、實際ノ事情ハ或ハ御知りニナラヌカモ知レマセヌガ、民間ニ於テ營業收益稅ヲ出ス者ハ始終此問題デ論議致シテ居リマス、ソレデアリマスルガ故ニ、働ク勞働者ノ方カラ申シマスレバ、是ハ必ズ不服ガアル、稅務署ガ斯

ウ云フヤウニ帳簿ニ依ッテ決メテ居ルデハナイカ、是ハ儲ケテ居ルニ極ッテ居ル、斯ウ云フ頭デ終始利益ガ五千圓以上ニ出テ居ルト云フコトヲ考ヘマスガ故ニ、又必ズ爭議ニナル、是ハ私ハ産業ノ平和ヲ案シ、勞資ノ間ノ圓滿ナル關係ヲ破壊スル爭鬭の氣分ニナルト思フ、是ハ或ハサウデナイト御考ナラバ是ハ意見ノ相違デアリマスガ、是ガ一番私ハ危險ノコトデアルト思フ、ソレカラ又法人ニ於テハ五朱以上ノ利益ノアルトキハト云フ問題モアリマスガ、之ヲヤリマスレバ、此五朱以上ト云フコトハ、是ハ公債ノ利廻デアルトカ、今ノ低金利ノ上カラ言ッテ五朱以上ハ宜イト云フ御考デアラウト思ヒマス、ソレハ議論ノアル所デアリマスガ、ソレハ別ト致シマシテ、五朱以上ハ宜イト云フ御考デアリマス、五朱以上配當ガアルニ相違ナイ、配當シ得ルト云フ頭デ参リマスガ故ニ、勢ヒス様ナ十七條ヲ存シテ置キマスト云フト營業ノ内部ニ立至ルコトニナルト思フ、之ヲ事業主ガ一番心配ラスル、働ク者ガ營業ノ内部ニ關係シテ、委員ヲ設ケテ帳簿ヲ検査スルコトニナルダラウ、第十七條ハソレヲシ得ルノデアル、ソコデ圓滿ニ行キツ、アル所ノ勞働爭議ガ一層繁クナリ、其間ニ色々者ガ入ッテ來

テ、事端ヲ一層繁カラシムル、是ハ意見ノ相違ト言ヘバ意見ノ相違デアルガ、實際問題トシテ一番恐レル所デアル、吾々モサウ思フ、ソレニ對スル只今ノ御答辯ハ、理論トシテハ結構デアリマスガ、實際問題トシテハ非常ニ考慮サレナケレバナラヌコトデアリマス、今一應御説明ヲ、納得シ得ルヤウ實際ニ即シテ——理論デハアリマセヌ、理論ハ此通りデ宜シイガ實際問題トシテソレデハイカナイ、實際問題ニ即シテ吾々ヲ納得サセル御説明ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○廣瀬政府委員 理論トシテ御承認ニナッテ、尙ホ實際問題ニ即シタ所ヲト云フコトデアリマスガ、私共ハ理論ノアル所ヲ實際ノ運用ニ依ッテ現實ニ行ッテ行カウ、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居ルノデアリマス、先程ノ御話ノ中ニ事業主ノ營業ニ干渉スルト云フヤウナ話モアリマシタガ、職工ガ事業主ノ帳簿ニ干渉スルト云フヤウナ、ソナコトハ私共ハ絕對ニアリ得ナイト思フ、又サウ云フ營業ノ秘密ニ干渉スルト云フコトハ他ニ適當ニ取締ル途モアルノデアリマス、ソナコトハ想像ヲ致サズニ、ヤハリ理窟ノアル所ヲ實際ニ運用スル、サウシテ勞働者ヲモ指導シテ、斯ウ云フ理窟ノ正シイ所ヲ實現シテ行キタイ、斯ウ云フ工合ニ思ッテ

居リマス

○加藤委員 是ハ何時マデ論議致シマシテモ盡キルコトハナイ、理論ノ良イ所ヲ實際ニヤッテ行カウ、斯ウ云フノデアリマスガ、只今ノ査定ノ根據ニナッテ居ル所ノ營業收益稅ナルモノガ今カラ十年バカリ前ニ出來マシタガ、是ハ理論ハ宜シイガ、營業稅ト何等相違ハナイデアルカラ、理論トシテハ良クテモ實際トシテハ同ジコトデアル、此營業收益稅ガ本トナッテ五千圓云々ト云フ問題ガ出テ参リマスガ故ニ、營業收益稅其モノガ理論ダケデ、少シモ實際ニ即シテ居ラヌ、其誤ッタ根本ノ上ニ立ッテ、又理論ハ此通りデアルガ、理論ハ是デ良イカラ、事實モ之ニ即シテヤッテ行キタイト云フノデハ、吾々ハ納得出來ナイ、是ハ何時マデ論議致シテ居リマシテモ盡キルコトハナイノデアリマスガ、私ハ大イニソレハ考ヘテ貰ハナケレバナラヌト思ヒマス、出來ルコトデヤナイ、サウシテ又職工ガ帳簿ニ立至ル、左様ナコトハナイト云フヤウナコトデアリマスルガ、帳簿ニ立至ラザルヲ得ヌノデアラウ、斯ウ云フ十七條ト書カナクテモ、少シ爭議ガ起リマスレバ、彼此レ問題ガ起ッテ來ル、況ヤ斯ウ云フ五千圓以上五朱以上ト云フコトガアリマスレバ、此間ニ何等カ吾

吾ガ納得スル方法、納得スル手段、納得スル手續ヲシテ貰ヒタイト云フ要求ガアレバ、帳簿ヲ見セルカ、何カ適當ナ方法ニ出ナケレバナラヌヤウニナルト思ヒマス、唯簡單ニ話ヲシテ簡單ニ濟ムヤウナコトナラ爭議ハ起シマセヌ、複雑極マッテ爭議ガ起キテ來タ時ニ、營業經營ノ内部ニ立至ルト云フコトニ相成ルト思ヒマス、ソレヲ事業主ハ恐レルト思フ、サウ云フコトニ相成リマスレバ、今ノ如ク爭議ノ少イ場合ハ兎ニ角、爭議ガ多クナリマシタナラバ、國家ノ産業ヲ破壊スルト思フ、私ハ只今ノ社會局長官ノ御答辯ハ少シモ納得スルコトガ出來ナイ、是ハ深ク御考慮ヲ煩シタイト思ヒマス

モウ一ツ私ハ項目ヲ變ヘテ御伺シタイト思ヒマスルコトハ、昨日官業ヲ何故御除キニナツカト云フコトヲ御尋致シタノデアリマスガ、官業ニハソレハ慣行ガアッテヤッテ居ル、又色々共濟組合ノ如キモノガアッテ之ヲヤッテ居ルガ故ニ、ソレハ除外スルンダ、斯ウ云フヤウナ御答辯ニ承ッテ居ルノデアリマスガ、ソコデ只今戴キマシタ所ノ、官業ニ於ケル共濟組合及退職手當資金狀況調ナドヲ見マスルト云フト、私ガ昨日少シク申シマシタ如ク、鐵道ノ共濟組合

ニ於キマシテモ政府ノ給與金ノ額ハ、従業員ノ掛金ヨリモ何時モ少イノデアリマス、又海軍省ニ於テノ政府給與金ト云フモノハ千分ノ四〇・三トナッテ居リマスルガ、組合員ノ掛金ハ四十七トナッテ居ル、陸軍省ニ於テモ政府ガ千分ノ二十七、組合員ガ千分ノ三十二トナッテ居ル、是モ組合員ガ多イ、專賣局ニ於テハ政府ノ給與金ガ四十五、ソレカラ組合員ノ掛金ガ五十五ト云フヤウナ風ニナッテ居リマスルガ、是ハ少イト私ハ思フ、民間ノ方ハ今度デモ事業主ガ多クテ、従業員ノ率ノ方ガ少イ、要スルニ官業ニ於キマシテハ政府ノ給與金ガ少クテ、組合員ノ掛金ガ多イガ、今度ノ積立金法案デハ事業主ガ多クシテ、組合員ガ少イ、ソレデ組合員ヲ多クセヨト云フコトヲ言フノデヤアリマセヌ、政府ガ民間ノ事業主ニ範ヲ示シテ行カネバナラヌノニ、日本ノ事業主ノ一番大ナル政府ハ僅ニ置カレテ、民間ノ者ニ多ク掛ケサスト云フコトハドウ云フコトデアラウカ、之ヲ私ハ承リタイト思ヒマス

○廣瀬政府委員 昨日官業ニ關スル御質問ガアリマシタ際ニ、何故政府ノ事業ニハ通用セナイカト云フ御話デアリマシタ、之ニ付キマシテハ、大體積立金法案ハ、退職手

當ノ制度ニ對シテ、從來ハ唯制度ガアツタケレドモ、之ニ對スル積立金ガナイ、其爲ニ支拂ガ確保セラレテ居ラス、確實ニ支拂ハレルト云フコトニナッテ居ラス、ソレデアルカラ今回ハ特ニ積立ノ制度ヲ設ケマシテ、支拂ヲ確保スル、是ガ本法ノ趣旨デアリマス、併ナガラ政府ニ於キマシテハ、政府ノ偉大ナル信用ヲ以テスレバ無論此積立マデシテ支拂ヲ確保スルト云フ必要ハナイ譯デアリマス、ソコデ積立ヲ政府ニサセル必要ハナイノデ、ソレデ此法律ハ適用ヲ致サナイノデアリマス、サウ云フヤウナコトガ根本デアリマス、其他官業ニ於テハ、勅令ノ規定ニ基キマシテソレノ一定ノ共濟的組織ヲ持ッテ居ル、ソレハサウ云フヤウナモノガ現實ニ出來テ居ルノデアリマスカラ、是ハ本法ヲ適用シテ、却テソコニ混亂ヲ來スヨリモ、適用シナイ方ガ宜カラウト云フヤウナコトデ適用ヲ致サナイノデアリマス、ソレカラ大體ニ於テ只今ノ御質問ノ中、此共濟組合ノ金ノ問題等ニ付テ政府ノ負擔分ガ少イト云フヤウナコトヲ仰セラレマスガ、是ハ只今材料ヲ差上ゲタバカリデマダ御覽ニナラナイ點ガアルノデハナйкаト思ヒマスガ、結局ヤハリ政府ノ方カラ出ル金ノ方ガ多イノデアリマス、ソレハ政

府委員トシテバナク、政府自身ガ別ニ出シテ居ル、其事ニ付テハ労働部長カラ續イテ御説明申上ゲマス

○赤松政府委員 官業共濟組合ニ付テ申上ゲマスガ、共濟組合ハ本法ノ退職手當ノ積立金ト、退職積立金ノ關係トハ本質的ニ事柄ガ違ッテ居ルト私共ハ考ヘテ居リマス、共濟組合ハ御承知ノ通り兩方ガ合ハサリマシテ一ツノ金ニナリマシテ、サウシテ今問題ニナッテ居リマス所ノ退職手當以外ノ色々ノ事業ヲヤッテ居リマス、此掛金ノ割合ハ、ソレハ其組合ソレノ意見ノ合致ノ下ニ公平ニ出來テ居ルノデアリマシテ、本案ト較ベマス場合ニ於キマシテハ、退職手當ノ爲ニ如何ニ政府ガ負擔ヲシテ居ルカト云フコトヲ先ヅ考ヘレバ宜イト思フ、サウ考ヘテ見マスト、政府ハ共濟組合ニ於テ、退職手當ニ合致致シマスヤウナ給與ニ付テ、相當ノ負擔ヲ致シテ居リマスト同時ニ、尙ホ其他ニ共濟組合以外カラ、官獨自ノ費用カラ退職手當トシテ別個ニ支給致シテ居ルノガ多數デアリマシテ、中ニ此表ニアリマス通り、印刷局ノ如キハ支給セズト書イテアリマシタ、是ハ將來ニ於キマシテハ本法ト同様ノ取扱ヲ致スヤウニ致シテ行キタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、是等兩者ノ政

府負擔ノ狀況ヲ見マスレバ、本案ニ依リマシテ労働者ニ支給スベシトスル所ノ賃金百分ノ二乃至百分ノ五ノ退職手當ヨリハ、餘程賃金ニ比較シマシテ多イ負擔ヲ政府ハ致シテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ關係カラ申シマシテ官業ハ本案ト同等以上ノ待遇ヲ致シテ居ルト見テ差支ナイト思フノデアリマス、殊ニ共濟組合ナドニ於テハ年金等ガアリマス、隨ヒマシテ本案ヨリハ餘程好イ待遇ヲ致シテ居ルト見テ差支ナイト私共ハ考ヘテ居リマス

○田尻委員 一寸關聯事項デ御同致シマス、只今政府委員ノ御答辯デ、官業ニ於ケル共濟組合ノ性質ニ付テ御説明ガアリマシタガ、併ナガラ政府單獨ノ責任ニ於テ相當ニ立派ナ退職手當金ヲ出スト云フ御答辯デアリマシタガ、只今戴イテ居リマス資料ノ中デ内務省所管ニ於キマシテハ工場法ノ適用ノ工場ガ十人以上三十人未満ガ十五デアル、三十人以上五十人未満三ツ、五十人以上二ツト云フコトニナッテ居リマスガ、是ハ恐ラク土木局所管ガ大部分デヤナイカト思ヒマスガ、是ノ退職手當ノ内規ヲ見マスルト、官ノ都合ニ依ル場合ダケガ記載サレテ居ッテ、自己ノ都合ニ依ッテ退職スル場合ノ給與ノコトガ全ク見エテ居リマセヌガ、ソ

レハ事實ドウ云フ風ニナッテ居リマスカ

○赤松政府委員 此點ニ付キマシテハ主トシテ共済組合カラ支給致シテ居リマス、自己ノ都合ニ於テ、是ハ千分ノ四十詰リ賃銀ノ百分ノ四ハ官ノ負擔ニナッテ居ル譯デス、其金ヲ自己ノ都合デ辭メマス場合ニハ出スコトニナッテ居ル譯デス、官ノ都合ノ場合ニソレニ附加ヘテ一般ノ經費カラ支給スルト云フコトニ相成ッテ居リマス

○田尻委員 サウシマス、内務省ノ方デハ自己ノ都合ニ依ル退職ノ場合ニハ一切共済組合ノ方デ支給スルト云フコトデ、ソレ以外ニハ全ク出テ居ナイト云フコトニナッテ居ル譯デスネ——承知致シマシタ

○松村委員 今ノ御説明デ序ニ伺ッテ置キマスガ、先程私ガ要求致シマシタ表ハ、官業ニ於テ共済組合竝ニ退職組合規程ノ有ルモノ無イモノヲ明細ニ願ヒタイト云フノデアッテ、無イモノヲ至急ニ御出シヲ願ヒタイ、此處ニアルモノデモ只今ノ説明デハ一寸分ラヌ、戴イタ表ダケヲ見マシテモ大藏省專賣局ノ如キ、ヤハリ官ノ都合ニ依ル解雇ノ場合ノ外ニ政府ハ何モ出サナイ、内閣印刷局ノ如キハ行政整理ノ場合ノ外何モ出サナイ、大體何モ出サナイト云フコトニナル、ソレカラ今逕信省ノ庶務規程トカ内規

ト云フモノハ吾々ニハ分ラナイ、ソレヲ御示シヲ願ヒタイ、今田尻君モ言ハレタ内務省土木局ノ官ノ都合ニ依ル解雇ノ外ハ出サナイ、今廣瀬君ノ御説明ニ依リマス、大イニ政府ハ共済組合規程以外ニ出シテ居ルカラ、政府ハ其負擔ガ非常ニ多イト言ハレルガ、貰ッテ表ダケデモ、何モ出シテ居ラナイト云フ表ハ此處ニ澤山アル、今ノ労働部長ノ説明ト茲ニ貰ッテ表トハ説明ガ合ハナイ、況ヤ官業デ規程ノ無イモノヲ御出シニナラナケレバ、一體日本ノ政府ハドウ云フコトヲヤッテ居ルカト云フ本體ガチットモ分ラナイ、私ガ先程要求シタ表ヲ至急御示シヲ願ハナケレバ、官業ニ於ケル狀態ガチットモ分ラナイト云フコトヲ申上ゲテ、ソレヲ至急要求致シマス

○赤松政府委員 尙一寸申上ゲテ置キマスガ、此下ノ段ニ書イテアリマスノハ官ノ一般ノ經費カラ出シマス自己ノ都合ノ場合ニ於キマシテ、共済組合ノ給與金ヲ出ス、ソレガ丁度賃銀ノ千分ノ四十ヲ政府ガ負擔シテ居ルコトニ相成ッテ居ルノデアリマシテ、大體ニ於キマシテ本法ノ百分ノ二以上ノ負擔ト、匹敵致シテ居ルト私共ハ考ヘテ居リマス、尙印刷局ノ如キニ至リマスレバ、實際問題ト致シマシテハ、殆ド官ノ都合以

外ニ罷メマス者ハ極メテ少イノデアリマス、是等ニ付キマシテハ規程ガゴザイマセヌカラ、規程ハ作リタイ、作ルベキ豫定ヲ致シテ居リマス、官業ニ於ケル労働者ノ數ハ陸海軍省、大藏省ガ殆ド大部分ヲ占メテ居リマシテ、アトニゴザイマスノハ、三十人以上ノ者ヲ使ッテ居リマス事業ト云フモノハ極メテ少ウゴザイマス、出來ルダケ早ク其點ニ付キマシテ資料ヲ御手許ニ差出スヤウニ取計ラヒマスカラ、御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○松村委員 逕信省所管ニ於テハ隨分郵便局關係ガ多イノデスカラ、三十名以上ト云フノガ非常ニ多イ、特ニ先程サウ云フモノヲ要求致シマシタカラ早速御出シヲ願ヒタイ

○熊谷委員長 加藤君ハモウゴザイマセヌカ

○加藤委員 私マダ質問致シタイコトガアリマスガ今參考書ヲ戴イテ居リマスガ、夜遅クナリマスノデマダ讀ンデ居リマセヌ、讀ンデナイ所ガ多ウゴザイマスカラ、モウ少シ質問致シタイノデアリマスガ、保留致シテ置キタイと思ヒマス

○熊谷委員長 小山倉之助君

○小山委員 只今加藤君ノ御質問ニナリマ

シタ通り、勞資ノ争ガ起ルヤウナ問題ハ大分アルノデアリマシテ、只今加藤君ノ質問サレタ積立金ノ範圍ガ確定シテ居ナイ、利益ノアツタ場合ニハ、其利益ヲ此中カラ幾分カ積立テシムルト云フヤウナコトハ、是ハ洵ニ公平デアリマシテ、結構ナコトデアリマスガ、加藤君ノ御意見ノ如ク、其間ガ餘程圓滿ニ行ッテ居ル工場ニ、特別ニ争ヲ起サセルヤウナ危險ガ餘程多イノデアリマシテ、其外ニ例ヘバ、十六條ノ「災害其ノ他已ムヲ得ザル事由アルトキ」ト云フ、其災害ニ付テモ問題ガ起リマセウシ、「已ムコトヲ得ザル」ト云フコトニ付テモ、ヤハリ是ハ問題ガ起ルノデアリマシテ、殊ニ災害又ハ已ムコトヲ得ザル場合ニハ事業主ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケテ積立ヲ爲サズ、或ハ減額スルコトガ出來ル、積立ヲシナイト云フコト、之ヲ減額スルト云フヤウナコトハ、是ハ労働者ニ取リマシテハ餘程重大ナ影響ヲ與ヘルノデアリマスカラ、此點ニ付テモ餘程議論ガ起ルト思フノデアリマス、斯ウ云フ問題ニ付キマシテハ、勅令カ何カデ大體見當ヲ御定メニナル御考デアリマスカ、ドウデアリマスカ

○廣瀬政府委員 災害其ノ他已ムヲ得ザル場合ニ付テ減額致シタリ、或ハ積立ヲ爲サ

ザル場合ガアルト云フコトニ付テ、或ハ勞働爭議ノ原因ニナリハセヌカト云フ御心配デアリマスガ、災害ガアツタ場合、ソレカラ之ニ類スルヤウナ事由ガアツタ場合ニ積立ヲシナイト云フコトハ、決シテ事業主ノ任意ニ實行シ得ルモノデアリマセヌノデ、行政官廳ガ之ヲ許可シナケレバナラス、ソレデ其行政官廳ノ許可ニ依ッテ積立ヲシナイ、或ハ減額積立ヲスルノデアリマスカラ、サウ云フコトヲ勞働者側ニ於テ問題ニスルコトハ決シテナイト云フコトハ、私ハ疑ナイコト、思ッテ居リマス、此問題ノ「災害其ノ他」ムヲ得ザル事由「ト云フコトニ付テノ解釋ハドウ云フコトヲ指スカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ内務省ヨリ取扱官廳ニ向ッテ通牒ヲ發シテ、其解釋デ以テ決定ヲ致シタイト思ッテ居リマス

○小山委員 其點ハ勿論重大ナ點デアリマスガ、行政官廳ノ許可ヲ受ケテト云フ項目ガ非常ニ多イノデアリマス、許可ノ事項ト云フモノハ、今日中々政府ニ許可ヲ願出マシテモ、直チニソレガ許可サレルト云フコトガ非常ニ少イノデアリマス、デアリマスカラ唯此問題ニ限ラズ、全項ニ互ッテ政府ノ許可ヲ受ケルト云フ事項ガ非常ニ多イノデアリマスガ、是デ何萬何千ト云フ多數ノ

工場ヲ支配スル、中小工業ノ如キモ支配スル、或ハ其工場ダケデ内規ノ規程ガアル場合ニハ許可ヲスルト云フヤウナ譯デ、有ユル方面ニ許可ノ事項ガ多イノデアリマスカ、一體是ダケノ多數ノ中小工業者ヲ加ヘテ居ル是等ノモノヲ、此法文ニ規定シテ居ル所ノ事項ヲ、一體ドレ位ノ設備ヲ政府ガスレバ中小工業者或ハ其外ノ工場者ニ許可ヲ與ヘ、又ハ許可ニ對シテ満足ヲ與ヘルヤウナ設備ガ出來ルノデアリマセウカ、斯ウ云フ點ニ付テ非常ナ疑問ヲ持ツノデアリマス、例ヘバ産業組合ノ如キモ一萬何千アル、然ルニソレヲ監督セシムルトカ、報告セシムルト云フコトダケデモ、十分ニハ出來ナイ、官廳ガ色々之ヲ拵ヘテ居リマスガ、實際ノ監督ト云フモノハ殆ド行ハレヌ、實際ノ監督ガ行ハレナイ爲ニ、ソコニ色々弊害ガ起リマス、理論トシテハ宜シイガ、併ナガラ實際問題トシテ非常ナ支障ヲ來シテ居リマスカラ、大體其見當ヲ御同致シタイ

○廣瀨政府委員 此法律ニモ行政官廳ノ許可ヲ要スル事項ガ相當ニアリマスガ、ドウモヤハリ相當重要ナコトデアリマスノデ、行政官廳ノ許可ヲ受ケテナイト誤ラ生ジマスノデ、是ハドウモ已ムヲ得マセヌ、併シ御説ノヤウニ官廳ノ許可ガ能ク遅レ勝チ

デアル、其爲ニ民間ニ御迷惑ヲ掛ケルト云フヤウナコトガ屢アルノデアリマス、是等ニ付テハ精々十分ノ注意ヲ致シマシテ、サウ云フコトノナイヤウニ致シタイト思ヒマス、此法律ノ取扱ニ付キマシテドウ云フヤウナ工合ニスルカト云フ仰セデアリマスカ、是ハ各府縣廳ニ工場課ト云フヤウナモノガ澤山アリマスガ、サウ云フヤウナ所デ取扱フコトニ致シマシテ、本法ノ施行ノ爲ニ先ヅ本年ハ約六萬圓バカリノ豫算ヲ以テ各府縣ニ多イノハ四人位、少イ所デ一人デアリマスガ、サウ云フ風ニ人ヲ配置致シマス、其外ニ現在工場課ニ勤務シテ居ル者ガ相當アリマス、約四百人位アラウカト思ッテ居リマスガ、是等ノ課デ以テ協力シテ此種ノ事項ヲ取扱ヒマシテ、不便ヲ來サナイヤウニ致シタイ、今回ノ適用ヲ受ケマス三人以上ノ工場ハ全國デ一萬ニナリマスガ、是等ニ對シテハ工場課ノ職員、今回増置セラレレ職員等ニ依リマシテ、適當ニ處理ヲ致シテ行キタイト思ヒマス

○小山委員 昨日モ一寸本議場ニ於テ立派ナ質問ガ行ハレマシテ、私モ傾聽致シタノデアリマスガ、例ヘバ第五條ノ六月、或ハ日、或ハ季節ノ事業ト云フヤウナ問題ニ付テ、之ヲドウ取締ルカト云フヤウナ御議論ガアリマシテ、洵ニ私モ傾聽致シタノデアリマスガ、法律ヲ作りマス以上ハヤハリ或ル程度ノ限定ヲ置カナケレバナラスノデアリマシテ、六箇月以内ノ期間ヲ設ケテ使用セラレタ者、日々雇入レラレタル者、季節ノ事業ニ使用セラレタ者ハ此退職手當ヲ受ケサセナイト云フヤウナ規定ハ、是ハ洵ニ已ムヲ得ナイデアリマセウガ、私ハ斯様ナ規定ヲスルコトカラ勞働者ニ對シテ非常ナ影響ヲ與ヘルコトヲ憂ヘテ居ルノデアリマス、例ヘバ鑛業法、工場法ガ規定セラレマシテ、色々規定セラレルト必ズソレヲ潜ル考ヲスル、今回モ此法案ガ出マスルト六箇月以内ノ期間ガ定メテアリマスカラ、大抵之ヲ臨時雇ニシテシマフ、五ヶ月前ニ之ヲ解雇スルトカ、暗黙ノ了解ヲ得テ、必要ナ人間デアレバ、必ズソレヲ後デ雇入レルト云フヤウナ意味デ、其處ニ何等カノ方法ヲ拵ヘテ潜ル工夫ヲスル、今日ノ狀況ハ、例ヘバ小遣錢ヲコッチカラ出シテモ働キタイト云フ人ガ非常ニ多イ、電車賃ヲ出シテモ宜イカラ、兎ニ角失業シテ居ルノハ困ル、或ル定職ニ就キタイト云フ氣分ガ非常ニ多イ、サウ云フ時代デアリマシテ、勞働賃銀ガナクテモ働キタイト云フ人多イノデアリマスカラ、サウ云フ場合

ニハ雇主ノ意ニ從フテ、其條件ニ從テ何デ

モ仕事ニ有リ付カウト云フヤウナ人ガ居リ

マスカラ、ドウモ後デ積立金ガ貰ヘナイカ

ラ六箇月以上ニシテ吳レト言フ所ガ、是ガ

三箇月ニシテ吳レ、又雇入レルカラト云フ

コトニナルト必ズソレニ從フ、ソレデ段々

此臨時工ガ殖エマシテ、今日臨時工ガ溢レ

テ居ルト云フノハ、實質ハ其工場ニ取テハ

必要ナ労働者デアッテ、手放サレナイ労働者

デアッテモ、臨時工ト云フ名前ヲ付ケテ使ハ

レテ居ル者ガ非常ニ多イ、ソコデ法律ノ規

則カラ申シマスルナラバ、斯ウ云フコトモ

是ハ必要デアリマセウ、併シハ先程加藤

君カラ言ハレマシタ通り、理論ハ正シイガ

マス、其點ニ付テ御所見ヲ伺ヒマス

○赤松政府委員 只今ノ御質問ニ御答致シ

マス、臨時工ノ問題ニ付キマシテ本案ニ關

係致シマスノハ、主トシマシテ六月以内ノ

期間ニ於テ使用セラレル者、再ビ雇入ラレ

ルト云フ者ト云フ所ニ深く關係ガアル、御

説ノ通り機械的ニ六月以内ニ定メマスレ

バ、ソコデ一旦契約ヲ打切りマシテ再ビ雇

入レル、斯ウ云フコトニ依ッテ脫法行爲ヲ行

ヒハセスカト云フコトノ御心配ノアリマス

コトハ御尤ト存ズルノデアリマス、併ナガ

ラ本案ハ御覽ノ如ク、唯單ニ民法上ノ雇傭

關係、雇傭契約ト云フコトヲ中心ニ致シテ

居リマセヌデ、事業主ト労働者ノ間ニ於ケ

於キマス工場法、若ハ健康保險法ニ於キマ

ス所ノ義務ハ殆ド大體ニ於テ行ハレテ居ル

ノデアリマシテ、要ハ福利施設トシテ行ハ

レル各工場ニ於キマス所ノ待遇ガ臨時工ニ

ハナク、差別待遇ヲ與ヘラレテ居ルト云フ

コトニ付テ、非常ニ今問題ノ中心ニナッテ

居リマス、過去ニ於キマス工場法ノ適用、

工場法ニ依リマス義務ノ履行ノ状況カラ考

ヘマスナラバ、本案ニ依リマス所ノ六月以

内ノ期間ヲ定メテ使用セラレル者ハ、其期

間ヲ超エテ使用セラレタ場合ニ於テ、本法

ノ適用サレル時日ヲ抑ヘテ参リマスコトハ

左程至難ナ問題デナイト考ヘルノデアリマ

ス、是ハ要スルニ事實ノ問題デアリマシ

テ、工場主ガ眞面目ニ使用關係ヲ續ケテ居

リマスモノヲ、續ケルト云フ心持サヘ持ッ

テ吳レサヘスレバ別段問題ガナイノデアリ

マシテ、労働者側ニ於キマシテモ、自分ノ

臨時ノ仕事ニ對シテ特別ノ待遇ヲ與ヘラレ

ルト云フコトニ付テハ、ソレ程ノ問題トハ

致シテ居ラナイ、此點ニ付キマシテハ飽マ

デ事業主ノ方ニハ能ク事態ヲ御考ヲ願ヒマ

シテ、法ヲ濫ルト云フヤウナ意味デ、使用ノ

條件ヲ變更スルヤウナコトノナイヤウニ、

飽マデ私共御願ヲシテ置キタイト考ヘテ居

リマス、尙ホ命令ニ依ッテ云々ト云フ御質問

ガアリマシタガ、或ハ昨日ノ本會議ニ於キ

マシテ、御話ガ徹底致サレナカッタカト思

ヒマスガ、別ニ第五條第一號、第二號ニ付

テ命令ヲ以テ致シマス積リハゴザイマセ

ヌ、第三號ノ季節的の事業ニ使用セラル

者、季節的の事業トハ何ゾヤト云フ問題ニ付

キマシテハ、主務大臣ガ告示若ハ省令、何

レニナリマスガ、ソレニ依リマシテ季節的

事業ノ範圍ヲ明確ニ致シテ行キタイ、斯ウ

云フ風ニ考ヘテ居リマス、其分ニ付テハ御

手許ニ差上ゲル準備ヲ致シテ居リマス

○小山委員 ソレカラ私ハ中小工業ノ實情

カラ見マス、今日デモ非常ナ資金ノ壓迫

ヲ受ケテ居ルノデアリマス、殊ニ又中小工

業ノ無秩序ト、競争ノ激シイト云フコトト、

ソレカラ資力ガナイト云フコト、信用ガナ

イト云フヤウナコトカラ、隨分亂暴ナ競争

ガ行ハレテ居リマシテ、ソレヲ統制ショウ

ト云フ議論モ多クナリ、ソレヲ統制スル手

段方法モ講ゼラレテ居ルノデアリマスガ、

自分ガ任意デ決メテ退職手當ト云フヤウナ

モノデアレバ、ソレハ守ル時ハ守ルシ、守

ラナイ時ハ守ラナイト云フコトハ其時ノ實

情ニアルノデアリマシテ、ソレハ果シテ守

テ居ルカ居ナイカト云フコトハ社會ニハ

知レテ居リマセヌ、併シ斯ウ云フ風ニ法律

命令ノ案ヲ私ハ先ヅ研究シテ見タイト思ヒ

マシテモ、其命令ニ依ッテ非常ニ縛ラレテ苦

シイ目ニ遭フト云フコトハ、此度ノ選舉法

ナンカニモ實際見ル所デアリマスカラ、此

デチャント決メテシマヒマス——退職手當ハ百分ノ二、退職積立金ハ百分ノ二ト斯ウ云フ風ニ決メテシマヒマス、兎角私ハ只今御答辯ノアリマシタ通り、事業主ニ能ク諒解ヲ得ルト云フヤウナ御話モアリマシタガ、私ハ事業主ヲ全然惡者ト思ッテ居ルノデハアリマセヌ、決シテ政府ノ意見ニ從ハナイヤウナ人多イト云フ意味デハアリマセヌ、決シテ是等ノ人ヲ罪人扱ワシテ居ル譯デハ勿論アリマセヌ、併ナガラドウモ法律デ固ク決メラレテシマヒマス、ヤハリソレダケノ、積立金ノ方デ片方デヤッテ居ルカラ、オ前ハ罷メル時ハ斯ウ云フ風ニ手當ヲヤルンダ、退職シタ時ハ斯ウダト法律ノ中デ決メテシマヒマス、ソレダケノ金額ヲ賃銀ノ方ニ喰込ンデ賃銀ヲ低下セシムル虞ガナイカト云フコトヲ私ハ憂ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトハ勞働者ニ取リマシテハ、中々重大ナ問題デアリマスガ、此點ニ付テノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

既ニ人ヲ使ッテ解雇スル際ニハ手當ヲヤッテ居ルト云フコトハ現實ニ行ハレテ居ルノデアリマス、ソレヲ今回ハ平時ヨリ積立テ、置イテ、サウシテ其支拂ニ充テルト云フノデアリマスカラ、概括的ニ言ヒマスルト云フト、將來解雇ノ際ニ一度ニ拂フベキモノヲ、今ノ中ヨリ逐次ニ積立ラシテ準備シテ置クト云フコトデアリマス、事業主ト致シマシテハ、是ニ依ッテ勞働者ノ賃銀ヲ下ゲルト云フヤウナコトハナイモノト思ッテ居リマス、又サウ云フコトガナイヤウニシテ戴カナケレバナラヌト思フノデアリマス

○小山委員 ソレハ實際小工場ノ事業主ト、勞働者ニ行ハレテ居ル實情トハ餘程違ッテ居ルノデアリマシテ、私共ノ見聞シテ居リマスル所デハ、随分斯様ナコトガ行ハレテ居ルノデアリマス、實際行ハレテ居ルノデアリマス、私ハ是ト同様ニ一ツノ非常ナ疑問ヲ持ツノデアリマスガ、先程モ齋藤委員ヨリ御質問サレタヤウデアリマスガ、僅ニ百分ノ二ダト、斯ウ申シマスカラ、一圓ニ付テ二錢ヲ積ムノダト、ソレハ何デモナイヤウニ思召スノデアリマセウガ、併ナガラ此金ガ二十人三十人トナリ、或ハ四十人トナリ、ソレガ又二年三年トナッテ参リマス、中々是ハ大キナ額トナルノデアリマス、今日一番困ッテ居ル工場ハドノ程度ノモノデアアルカト申シマスレバ、此ニ三十人ノ工場主ト云フモノガ一番困ッテ居ル、月給ノ支拂ヘナイノモアリマス、ソレカラ又原料ヲ買フニシテモ、其原料ノ買方ニ付テモ中々困難ヲシテ居ルノデアリマシテ、東京市ノ取調ニ於キマシテモ、是等ノ人々ガドウ云フ方面カラ金融ヲシテ居ルカト申シマスルト、大體銀行カラ受ケテ居ルノモアリマスガ、相當卸賣商ヤ、或ハ無盡トカ、或ハ信用組合トカ云フヤウナモノカラ借りルノモアリマスガ、相當卸問屋カラ金ヲ借りル者ガ多イノデアリマス、併シ擔保物モ相當デヤナイ、信用モ相當デヤナイト云フ所カラ、卸問屋カラ随分客メラレテ、ソレデ随分苦シメラレルヤウナ場合モアリマスカラ、結局ハ高利貸ノ所ニ行ク、結局ハ個人カラ金ヲ借出スト云フヤウナ工合デ、此中小工業者ノ状態ト云フモノハ、月給デサヘモ拂ヘナイ状態ニアル者ガ多イノデアリマスカラ、隨テ是等ノ人々ガ或ハ月末デアルトカ、殊ニ節季ニナリマス、僅カノ金デモ随分困ル、其僅カノ金デ困ッタ場合ニ其方ニ走り、此方ニ走り結局高利貸ノ所ニ行ッテモ中々借りラレナイト云フ場合ニナリマス、ヤハリソコデ多少デモ此處ニ溜ッテ居

ル所ノ金ニ手ヲ付ケルグラウ、ドウモ百度踏ンデ金ヲ借りルヨリハ、一時之ヲ融通シヨウ、決シテ惡イコトヲスル意味デヤアリマセヌ、是ハ又填補シテ置ケバ宜イト云フ考デアル、今日産業組合トカ、或ハ銀行デハ検査官ノ参リマス場合ニ、見セ金ヲスルノニ餘所カラ金ヲ借りテ來テ、金庫ノ中ニ金ガアルヤウナ風ニ見セ掛ケルト云フヤウナコトガ、相當信用ノアル、國家ノ監督ノ下ニアル銀行デサヘモ、或ハ産業組合ノヤウナモノデサヘモ、斯ウ云フ事實ガアルノデアリマスルカラ、況ヤ中小工業者ガ銀行預金トシテ預ケテ置クト云フコトハ、公債カ何カニ決マッテ居レバ宜シイガ、銀行預金ト云フモノヲ許サレテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フモノニ手ヲ付ケタガル、理論カラ申シマスレバ不都合ダ、サウ云フ場合ニ之ヲ使フカラ、斯ウ云フ立派ナ罰則ヲ以テ縛ルノダト、洵ニ是ハ結構デアリマスガ、詰リ政府トシテハ斯ウ云フ積立金ヲ積マセルト云フコトハ、一方カラ言ヘバ是ハ惡意デハアリマセヌ、善意デアリマス、私ハ是ハ殆ド此事業主ト云フ者ニ善意ノ限ヲ置クヤウナモノデハナイカ、之ニ一寸手ヲ付ケレバ、直チニ三年以下ノ懲役、或ハ三千圓以下ノ罰金ト云フモノガ科セラレ

ルノデアリマスカラ、是ハ詰リ善意ノ良ヲ拵ヘテ多クノ罪人ヲ作ル結果ニナリハセヌカ、私ハ此點ニ付テ非常ニ憂ヲ持ツ者デアリマス、理論カラ申シマスレバ決シテソシナモノニ手ヲ付ケケナイト申シマスケレドモ、手ヲ付ケケナイ所デアリマセヌ、他人ノ金ヲ持逃ゲシテモ益暮ハ支ハナケレバナラヌト云フ實情デアリマス、皆様方ハ月給ヲ貰ヒニナッテ、サウ云フ事ハ御經驗ガアリマスマイガ、私共ハ事實實情ヲ見テ居ルノデアリマス、デアリマスカラ斯様ナ善意ノ良トナラナイカドウカ、此點ニ付キマシテ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○赤松政府委員 只今ノ御質問ハ洵ニ御尤ナ御心配ダト私共モサウ思ッテ居リマス、併シ是ハ飽マデモ勞働者ニ渡スベキ金ヲ支拂ヲシナイデ、後デ拂フヤウナ恰好ニナッテ居ルノデアリマス、其爲ニ不融通財産ニモナッテ居リマス、免稅ニモナッテ居ルノデアリマス、其點ハ事業主トシテハ能ク辨ヘテ貰ハナケレバナラヌト思ッテ居リマス、併ナガラ極ク小工場ニナリマスレバ、サウハ言ヒナガラ兎角人間デアリマスカラ、誘惑サレ勝

デアルト云フ御心配ハ是モ御尤デアリマス、私共ト致シマシテハ、手續ノ面倒モアリマスルシ、旁、致シマシテサウ云フ小工場ニ於キマシテハ、大體組合デ以テ此共同ノ世話ヲシテ貰フヤウニ致シタイ、隨テ組合ノ方デ以テ口座ヲ設ケマシテ、ソコデ各事業主ガ自分ノ口座ニ拂込シテ、組合ガ保管シテ置イタルト云フ方法ニ致シマスレバ、手續ノ煩雜モ負擔ヲモ同ジヤウニ免レマスシ、今モ御話ノ如ク誘惑ニ陥ル虞カラ遠去カルコトモ出來マス、旁、ソレガ一番良イ方法デハナイカト考ヘマシテ、實施ニ當リマシテハ極力サウ云フ風ニ仕向ケテ参リタイト思ッテ居リマス、現ニ私ノ話合ッテ居リマシタ範圍内ニ於キマシテモ、組合ガ之ヲ世話シテヤリタイガ差支ナイカト云フ話マデモ致シマスヤウナ組合モ相當アリマシテ、私共モ非常ニ喜ンデ居ル所デ、是非サウ云フ方法ヲ執ッテ戴キタイト思ッテ居リマスシ、サウ云フ風ニ獎勵致シテ參ル積リデアリマス

○小山委員 只今組合デ世話ヲスルト云フコトデアリマスガ、サウスレバ組合ニ預金ヲスルト云フヤウナコトモ許スノデアリマスカ、今度中央商工金庫法ガ通過サレマシタガ、ソレニハ金ヲ預入レト云フ條項モア

リマスガ、此中ニハ組合ト云フモノハ入ッテ居リマセヌガ、是ハドウ云フ風ニ御考ニナルノデアリマスカ

○赤松政府委員 少シ言葉ガ足りマセヌデ御疑問ガ出タト思ヒマスガ、私ノ申上ゲマシタ意味ハ、組合デ各人別ノ口座ノ預金ヲシタル、詰リ仲立ヲシテ銀行ナリ、或ハ郵便貯金ナリ各人ノ工場主別ニ通牒ヲ拵ヘテ、サウ致シマシテ其通牒ヲ組合ノ方デ保管シテ置ク、サウ云フヤウナコトニシタナラバ宜カラウト、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○小山委員 其組合ハドウ云フ組合デスカ

○赤松政府委員 或ハ同業組合モゴザイマセウシ、又サウ云フコトノ爲ニ新ニ作リマシテモ差支ゴザイマセヌガ、大體私ハ同業組合若クハ工業組合等ガ世話ヲシテヤッテ戴クヤウニ致シテ行キタイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○小山委員 只今同業組合ト云フ御話ガア

リマシタガ、同業組合ニハサウ云フ世話ヲスル規定ガナイヤウニ思ッテ居リマス、同業組合ハ自ラ別ノ使命ヲ持ッテ居リマシテ、サウ云フコトハ許サレナイヤウニ考ヘテ居リマスガ、如何デゴザイマスカ

○赤松政府委員 同業組合ハ法律上ノ同業

組合ノ職務ト致シマセヌデモ、ソレヲ片手間ニ致スト云フコトニナルカモ知レマセヌ、法律上ノ意味カラ申シマスルト……實際上ニ於キマシテハサウ云フ風ヲ取扱フヤラウト云フ考ヘ方モアルヤウデアリマス、ソレハ洵ニ結構ダト思ヒマス、サウ云フ風ニ願ヒタイト希望シテ居リマス

○小山委員 先程申上ゲマシタル通り、此積立金ト云フモノハ、非常ニ段々多クナル見當ヲ私ハシテ居ルノデアリマスガ、只今申上ゲタ通り、非常ニ金融ノ梗塞等ヲ感ジテ居ッテ、悲境ニ陥ッタ場合ニ、僅カノ金デモ其工場ノ成敗ニ關係スルヤウナ場合ガ非常ニ多イノデス、若シソコニ金融ガ出來ナカタ場合ニハ、大キナ者ニ攫ハレテシマウトカ、或ハ第三者ニ讓渡シテシマフトカ云フコトニナッテ、長年働イテ居ル勞働者ヲ路頭ニ迷ハセルコトハ氣ノ毒ダカラ、一致結束此小工業ヲ護ラナケレバナラヌデヤナイカト云フヤウナ場合ヲ、私ハ屢、目撃スルノデアリマスガ、サウ云フ方面ニ付テノ……

「委員長私語ガ多イデスカラ禁止シテ下サイ」ト呼フ者アリ」

○熊谷委員長 成ベク私語ヲセラレザランコトヲ希望致シマス

○小山委員 サウ云フ資金カラ工場主ガ

困ッテ居ル場合ガ多イノデアリマスガ、私共ノ計算ニ依リマスルト、先程モドナタカ質問サレタヤウデアリマシタガ、随分多額ノ金ガ貯蓄セラルル結果ニナルデアラウト思フノデス、然ルニ其金ハ郵便貯金ト、銀行ノ預金ト金錢信託ト、登録國債ト云フヤウナ譯デ、其中デモ資金ノ融通ヲ認メテ居ルコトハ、是ハ實際ニ於テ認メテ居ルノデアリマスガ、餘程限ラレテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り今日ノ工業家ガドンナ金ヲ使ッテ居ルカト申シマスルト、問屋カラハ相當ノ利息ヲ拂ッタ上ニ、今度ハ製品ヲ安ク買ハレテシマフ、高利貸カラ借りレバ一割五分モ二割モ時トシマシテハ随分高イ利子ノ金ヲ使ッテ、一時ヲ凌グト云フヤウナコトハ、是ハ實際ノ實情デアリマス、デアリマスカラ先程申上ゲマシタル通り、之ヲ融通スル危險性ガアル、サウ云フ危險性ガアルカラ今度ハ重罰ニ處スルノダト云フコトデアリマシテハ、私ハ此點ニ付テ餘程ノ壓迫ヲ與ヘルノデアリマスカラ、ソレダケノ金ヲ積マセルナラバ、何か他ニ方法ハナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、國家ガ出勤シテ是ダケノ金ヲ積マセルナラバ、何か他ニ方法ガナカラウカ、此問題ニ關聯シナイコトデアリマスガ、サウ云

フコトモ一ツ考ヘテ戴キタイ、唯茲ニ問題ニナリマスノハ、一方ニ於テハ殆ド二千萬圓以上ノ金ヲ積マセルト云フ結果ニナル、サウシテ其金ハ何處ヘ向ケルカト云フト、銀行ニ預ケルト先程申上ゲマシタヤウニ之ヲ融通スル危險モアル、ヤハリ結局是ハ郵便貯金カ國債ニ向ケルヨリ仕方ガナイ、ダカラ或ル方面ニ於テハ、此法案ハ或ハ國債ノ消化ガ出來ナイヤウナコトヲ豫想シテ、國債消化ノ財源ヲ作ル意味デハナカラウカト云フコトサヘ考ヘル、マサカサウ云フ考デハアリマスマイガ、一方ニ於テ中小工業者ヲ非常ニ苦メル結果ニナルノデアリマスガ、今ノ慣行デモソレ程惡影響ヲ與ヘテ居ナイノヲ、事業主ヲ罪シテ、サウシテ其事業主ガ三年モ懲役ニナルト云フコトデアアルナラバ、其小工業者ガ潰レ、労働者ガ又ソコニ失業ヲ招クト云フヤウナ結果ニモナルノデアリマスカラ、一方ニ於テ労働者ニ此積立金ヲヤラセルノガ大キイノカ、今日ノ産業ヲ生カシテ産業ノ方カラ失業者ノ出來ナイヤウニスルノガ利益ナノカ、其點ニ付テドウ云フ風ニ御考ヘニナルカ、一寸伺ヒタイノデアリマス

御尤ニ存ジマスルガ、併シ又他面労働者ノ側カラ申シマスルト云フト、解雇ノ際ニ退職手當ヲ貰フ、ソレハヤハリ労働者ガ平素ニ於テ其事業ニ安定シテ、サウシテ十分ニ産業ニ對シテ喜ンデ勤務スルト云フ結果ニナルノデアリマシテ、是亦非常ニ必要ナ事項デアリマス、ソレニ對シテ平素ヨリ積立テ置クト云フ金ノコトデアリマスカラ、是ハ色々考ヘタノデアリマスガ、ドウモ他ニ良イ方法ガナイノデ、先ヅ事業主ヲ信頼シテ、事業主ニ之ヲ取扱ハセル、但シ取扱ニ付テハ、ソレハ銀行デモ或ハ郵便局デモ、或ハ公債デモ宜シイノデアリマス、是ハ事業主ニ委セル、委セルガ併シ萬々一間違ガアル場合ニハ、已ムヲ得ズ或ル程度ノ刑罰ヲ以テ行カナクチャナラヌト云フコトニナツタノハ、甚ダ遺憾デアリマスガ、ドウモ已ムヲ得ナイノデアリマス、又御話ノ斯ウ云フヤウナ方法ヲ執ッテ、餘リニ中小工業ノ壓迫ニナル、其爲ニ産業ガ萎縮スルコトニ依ッテ失業者ガ出ルコトノ方ガ恐ロシイデハナイカト云フ御話デ、洵ニ御尤ニ思ヒマスガ、併シヤハリ此産業ノ獎勵ニ付テハ國家トシテ別ニ色々御考ニモナッテ居ルヤウデゴザイマシテ、産業ノ獎勵モ無論必要デ、之ニ依ッテ失業者ヲ生ゼナイヤウニシ

ナケレバナラヌコトハ勿論デアリマスガ、同時ニヤハリ此程度ノ産業上ノ負擔デアアルナラバ、ヤハリ平素ヨリ積立金ヲ致シテ置キマシテ、労働者ノ安定ヲ圖リ、又事業主側カラ言ヘバ、解雇ノ際ニ一度ニ出サナケレバナラヌ金ヲ、平素ヨリ準備シテ置クト云フコトガ兩々相俟ッテ、ヤハリ合理的ノモノニナルノデハナイカト云フヤウニ考ヘテ、此制度ヲ設ケテ居ル次第デアリマス、勿論産業ノ發達モ亦労働者ノ保護モ相伴ッテ進ンデ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ工合ニ考ヘテ居リマス

○小山委員 此條文ハ隨分難解デアリマシテ、私共度々繰返シテ居ルノデアリマスガ、中々分リ惡イ點ガ多イノデアリマス、一方ニ於テハ先程申上ゲマシタル通り、善意ノ良ヲ作ッテ置イテ、サウシテ罪人ヲ製造スル危險ハ相當ニ多イト私ハ見ラレルノデアリマスガ、一方ニ於テハ今日工場ノ會計、其他ノ帳簿ト云フモノハ、マダ大福帳的ノ所ガ多イノデアリマス、三十人位ノ所ニナッテ居ルト、寧ロ「インテリ」ノ人ヨリハ、職工トシテ長イ間働イテ、サウシテ餘リサウ云フ帳簿ノ整理トカ、經理ノ方面ニ付テハ堪能デヤナイ人ガ時々アルノデアリマシテ、斯様ナ人ニ例ヘバ積立金ノ百分ノ

五以上ノ場合ニハ、是ハ又個別的ニ計算ヲセヨトカ、或ハ事業主ニ於キマシテハ其利益ノ百分ノ六十ガ五千圓ヲ超過シタ場合ニハ、之ニ對スル又勞働者別ノ帳簿ヲ付ケテ置ケトカ、今度ハソレカラ起ツタ所ノ利息ヲ又明確ニ付ケテ置ケトカ、其利息ノ支拂或ハ超過利益金ノ配當ト云フ問題ニ付テ一寸デモ觸レルト、茲ニ金ヲ使ツタ場合ニハ三年以下ノ懲役、其上ニハ或ハ千圓或ハ三百圓ノ罰金ト云フヤウナ工合デ、中々是ハ面倒デ、手續ガ煩瑣ニナツテ居リマスガ、一體只今ノ三十人以上ノ工場デ此違反ノ出來ナイヤウニ、違反ヲシナイヤウニ整理スル能力ガアルト見テ居ラレルカドウカ、私共ハ之ニ付テ非常ナ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、ドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ、其點ニ付テモ詳細ニ一ツ伺ヒタイノデアリマス

○廣瀨政府委員 本法ガ非常ニ難シイト云フコトニ付キマシテハ、私共モサウ思ヒマスガ、是ハヤハリ法文ニナリマスドモモス、斯ウ云フ工合ニナリマシテ、洵ニ致方ナイノデアリマスガ、唯此法文ノ要點ニ付キマシテハ、工場主ニ對シテ、其外工場關係ノ人々ニ對シマシテ、十分ニ其普及、徹底ヲ圖リマシテ、解釋等モ明ニシ、間違ノナイヤウニ十分ナ努力ヲ致ス積リデアリマス、又

罰則ノ點ニ付テ色々御心配デアリマシテ、洵ニ御尤デアリマスガ、併シ是等ニ付キマシテハ、ヤハリ十分ニ係員ニ對スル法令ノ趣旨ヲ普及徹底致スコトガ先ヅ第一ニ必要デアリマシテ、之ニ依ツテ此種ノ罰則ニ觸レナイヤウニ致スコトニ最善ノ努力ヲ致シタイト思ツテ居リマス、マア現在ノ三十人ノ工場關係ナラバ、ソレ等ノ數ハ約一萬デアリマスガ、是等ニ對シマシテハ當局トシテ出來ルダケノ努力ヲ致シマシテ、知ラズ識ラズノ間ニ此種ノ罰則ニ觸レルコトノナイヤウニ、ソレダケノコトニ付テハ最善ノ努力ヲシテ御心配ノ點ノナイヤウニ致シタイト思ツテ居リマス

○小山委員 只今心配ノナイヤウニ最善ノ努力ヲ爲サルコト云フコトハ、是ハ洵ニ結構デアリマス、又サウシテ戴カナケレバナラヌノデアリマスガ、私ハ之ヲ隨分繰返シ繰返シ見マシテモ中々吞込メナイノデアリマシテ、此吞込メナイ規則ヲ直チニ出シテ、サウシテ私共ヨリモツト吞込メナイ人モ相當アルダラウト思ヒマスガ、サウ云フ一萬ニモ達スルヤウナ大勢ノ人ニ對シテ、直チニ之ヲ強ユルト云フコトハ、是ハ私ハ餘程苛酷デハナイカト思フ、デアリマスカラ私共ハ社會立法ニ對シテ決シテ不賛成ヲ唱フル

者デハアリマセヌ、之ヲ法律化スルト云フコトニ付テハ、是ハ結構ナコトデアリマス、併ナガラコンナ難解ナ、何同繰返シテ見テモ分ラナイヤウナ、頭ノ痛クナルヤウナ法律ヲ直チニ三十人以上ノ、腕デ以テ叩キ上ダタ、昨日ノ議會ニ於テ辯論ニ當ラレマシタ、ア、云フ優秀ナ代表者ノ方デアレバ、是ハ即座ニ吞込メラレマセウケレドモ、是ハ中々日々働イテ居ル職工上リノ工場主ナシカニハ吞込メルモノデアリマセヌ、ダカラ私ハ之ヲ直チニ強ヒテ、サウシテ恰モ罪人ヲ製造スル法律デヤナイカ、善意ノ良ヲ作ツテ置イテ、サウシテ無辜ノ民ニ三年以下ノ懲役、三千圓以下ノ罰金、サウ云フ苛酷ナ法律ヲ直チニ施行スルト云フコトハ、是ハ御考ハ洵ニ結構デアリマシテ、勞働者ノ方方ノコトヲ思ツテ下サルコトハ結構デアリマスガ、却テ反對ノ結果ヲ來シハシナイカ、寧ロ反對ノ結果ヲ來スコトガヨリ多イヤウニ考ヘマス、デアリマスカラ、私共ハ此點ニ付キマシテハ十分御考慮ヲ拂ツテ戴キタイト云フ風ニ考ヘルノデアリマス

○渡邊委員 委員長一寸先刻ノ御答辯ニ關聯シテ質問シタイ

○熊谷委員長 宜シウゴザイマス、渡邊君

○渡邊委員 小山君ノ質問ニ對シテ産業モ

發達シ、勞働者モ好イヤウニ計ウ積リダト云フ御答辯デアリマシタガ、ソシナコトガ一體出來ルト御考デスカ、今ノ資本主義制度ノ機構ノ下ニ於テ、中小工業家ガ没落シテ行ク時代ニ於テ、ソシナコトガ一體出來ルト云フ根本ノ思想ニ立ッテオイデニナルノデアリマスガ、資本主義ト云フモノガアル限り、中小工業家ガ没落スルノハ當然ダト私ハ思フ、其資本主義ヲ國家ガ代位スルコトナクシテ、即チ根本ノ主張ヲ匡サズシテ、枝葉ヲ枯ラスヤウナ法律バカリ幾ラ作ツテモ、勞働者ノ保護ガ出來ルト御考デスカ、其點ヲハッキリ伺ヒタイト思ヒマス

○赤松政府委員 小山サンノ御質問ニ對シテ先ニ御答ヲ致シマス、成程此法律ハ社會局長官カラモ申上ゲマシタ通り、一讀シマスト中々難解ニ見エマス、是ハ洵ニ遺憾ナ點デアリマスケレドモ、是ハ殊ニ中小工業者ノ方ニ付テ見マスレバ、退職積立金ノ方ノ取扱ニ付キマシテハ、現ニ小サイ所デモ職工ノ貯金ヲ預ツテ居リマス經驗ガ相當ニゴザイマス、隨ヒマシテ此方ノコトハソレ程吞込メナイ難カシイ問題デナイト考ヘテ居リマス、問題ハ退職手當ノ方デ、此事ニ付キマシテハ殊ニ今御話ニナリマシタ十七條ノ方ハ御覽ノ通り年五分以上ノ配當ノ場合

竝ニ個人ノ場合デアリマスレバ丁度一年ノ純利益ガ八千三百三十三圓以上ノ場合ニ當ル譯デアリマス、サウ致シマスルト、サウ云フモノハ極ク小サイ所デ以テ總テノ營業收益税ノ實績ヲ見マシテモ、餘リ小サナ所デ以テ年收利益八千三百三十三圓以上ト云フヤウナ所ハ餘リナイト思フ、隨ヒマシテ極ク小サナ所ニ於キマシテ十七條ガ勤キマサウナ場合ハ、餘リ多クナイヤウニ思ハレマス、サウスルト十六條ノ問題ニナッテ参リマス、十六條ノ百分ノ二ノ場合デアリマスガ、之ニ付テハ成程労働者別ニ記入致シマセヌナラヌ面倒ナ點ガアリマシテ、洵ニ此點ニ付テハ御氣ノ毒ダト實ハ思ッテ居リマスガ、併シ私共ノ考ト致シマシテハ當人ニ、個人々々ニ拂ヒマシタ賃銀ノ總額位ハ工場トシテモ分ッテ居ルデアリマセウシ、又分ラナカタナラバ工場經營ト云フモノハ中々困難デヤナイカト考ヘマス、ソレニ對シマス百分ノ二ヲ、年ニ一回若クハ二回計算致スノデアリマスカラ、成程手數ガナイトハ申上ゲマセヌガ、此程度位ハ指導モ致シ教ヘモシテ参リマシタナラバ、ヤッテ行ケルノデハナイカト云フヤウナ見込ヲ立テ、居ルヤウナ譯デアリマス、ソレカラ先程ノ産業ト労働ノ問題デアリマスガ、私ハヤハ

リ産業ノ方ノ獎勵モ致シ、ソレニ依ッテ發達モ期スルコトガ出來ル、ソレト同時ニ又労働者ノ保護モ致シテ行カナケレバナラス、ソレハ出來得ルモノト、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居リマス

○小山委員 私ハ今ノ御答辯ニハ全然承服ハ出來マセヌガ、マダ澤山アリマスカラ、一ツ午後ニ御廻シヲ願ヒタイト思ヒマス

○熊谷委員長 ソレデハ御諮リ致シマスガ、是デ休憩致シタイト思ヒマスガ……

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○熊谷委員長 ソレデハ休憩致シマシテ、午後二時ニ開會致シマス

午後零時二分休憩

午後二時九分開議

○熊谷委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、一寸小山君ニ御相談致シマスガ、アナタノ質問ハ政府委員ダケデモ宜シイノデスカ、或ハ内務大臣ヲ必要トシマスカ

○小山委員 政府委員ダケデモ宜シウゴザイマス

○熊谷委員長 ソレデハ一寸途切レマスガ、齋藤君ガ内務大臣ノ答辯ヲ求メテ居ルノデス、是ハ留保シテ置キマシタカラ、齋藤君ニ發言ヲ許シマス

○齋藤委員 私ハ先程條文ニ付キマシテ質問致シマシテ、政府委員カラ答辯ガアリマシタカラ、大體ノコトヲ大臣カラ御聽シタイト思ヒマス、其一ツハ昨日ノ本會議デ中小工業者ニ對スル本法實施ノ曉ニ起リマス所ノ打撃ニ付テ、商工大臣ハ善處スル旨ノ御答ガアッテ、内務大臣ハ之ニ御同意ヲサレテ居リマス、御答辯ハ餘リニ抽象的デ能ク理解出來ナカタノデアリマスガ、此點ヲ大臣カラ御答ヲ得タイト思ヒマス、ソレガ第一點デアリマス

第二點ハ本法ノ議會提出ニ伴ヒマシテ、社會局ト全產聯トノ間ニ昨今文書戰ガ展開サレテ居リマス、是ハ大臣モ御讀ミニナッテ御承知ノコトと思ヒマスカラ、其聲明書ノ内容ハ省略致シマス、私ハ此聲明書ヲ冷カニ讀ミマス、ドウモ内務省ノ方ニ不親切ナ點ガアルノデハナイカ、社會局ハ本案ヲ曩ニ參與會議ニ掛ケマシテ、其結果提案ニナッタヤウナコトニ承知致シテ居リマス、然ルニ其參與會議ニ掛ッタ案ト、今回提案ニナッタ案トハ數箇所ノ相違ガアリマシテ、此點ニ付テ昨日日本會議ニ於テドナタカノ御質問ニ、大臣カラ方針ハ變ッテ居ラヌト、斯ウ云フ御答辯ガアッタノデアリマスケレドモ、吾々ハ此方針ト云フコトニ付テ聊カ大臣ト

所見ヲ異ニスルヤウニモ思フノデアリマス、本法ノ根本ノ方針ノ如キハ労働者ノ保護デアリマシテ、或ハ間接ニ事業主ノ保護ニモナリマセウ、利益ニモナラウト思ヒマス、コンナ根本ノ方針ハ變リッコハナイノデアリマスカラ、コンナコトハモウ問題ニナラヌノデアリマシテ、私ハ本法ヲ通覽致シマシテ、此第一條ノ労働者常時三十名トカ、或ハ第十六條、第十七條等ノ此退職手當積立金ノ比率ノ確定率デアルトカ、或ハ事業主ノ利益ニ比例致シマシテ其積立率ガ變ッテ行クト云フコトデアルトカ、サウ云フコトガ大體本法ノ根幹ノ要旨デアルト思ヒマス、サウ云フコトガ變ッテ居ルノデアリマスカラ、是ハ法ノ要素ガ變ッタト申シテモ宜イヤウニ思フノデアリマス、ソレデ左様ニ此變ッテ居リマスルコトハ、之ヲ全產聯カラ見マスルト、如何ニモ闊討ヲ食ッタヤウナコトニ考ヘテ居ルノデハナイカ、私ハソレヲ必シモ全產聯ノ見方ヲ宜イト思ッテ居ルノデハアリマセヌ、併ナガラ斯様ナ法ハ此關係者、事業主ニ負擔ヲ負ハセル所ノモノデアリマスカラシテ、中ニハ經濟上ノ負擔ガアリ、又事務上ノ負擔モ中々面倒ナコトガ起ッテ來ルノデアリマス、左様ナ負擔ヲ負ハセル法制ハ之ヲ「ザックバラ

ンニ社會ニ發表致シマシテ、此社會ノ聲ヲ聞イテ、ソレカラ議會ニ御提案ニナル方が、是ハ行政廳ノ御取扱トシテハ寧ロ順當ナ御扱デハナイカドウカ、ソレヲ社會局ノ此辯明ニ見マシテモ、最後ニ色々異ッた所ガアッタノデアリマスカラシテ、幾ラカ社會ニ發表セヌデ、今回突然議會ニ御提案ニナッタヤウナコトガアルノデアリマス、デスウ云フコトガ、私ハドウモ是ハ廣瀬、赤松兩君アタリヲ此處ニ置キマシテ、私が申スノハ非常ニ相濟ミマセヌケレドモ、是ハ全體ノ地方官ノ中ニ流レテ居ル所ノ空氣ト致シマシテ、如何ニモサウ云フヤウナ最近ニ於テ官僚式ノ氣分ガ、ココ數年來濃厚ニナッテ居ルノデハナイカ、或ハ官僚氣分ト申上ゲマシタラ語弊ガアルカモ知レマセヌケレドモ、如何ニモ不親切ナ御取扱ガ多イノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ内務大臣ハドウ御考ヘニナッテ居ルカ、之ヲ先ヅ二點トシテ御伺ヲ致シタイノデアリマス

○潮國務大臣 齋藤君ノ御尋ニ御答致シマスガ、昨日此中小工業者ノ點ヲ考慮シテノ御尋ニ對シテ答辯致シマシタ中ニ、商工大臣ノ御意見ト同ジダト云フ意味合デ御答致シマシタガ、商工大臣ノ申サレタメモ私ノ申シタノモ同ジ趣意デアリマシテ、例ハバ

第一條ノ二項ニ依リマスルト事業ノ種類ナリ、規模ニ依リマシテハ此法律ノ適用ヲ除外スル場合モアリ得ルト云フヤウナコトカラ、其種類規模ヲ能ク斟酌致シマシテ、是ハ殊ニ商工省ト能ク協議シナケレバナリマセヌガ、サウ云フ上デハ其途ハアル、サウ云ウ趣意カラ兩大臣ノ意見ハ一致シテ居ルト云フ意味ヲ以テ御答申上ゲタノデアリマス、ソレカラ後ニ御述ベニナリマシタ點ハ、如何ニモ新聞紙等ノ報道ニ依リマス、所謂全產聯ト社會局トガ何カ聲明戰デモヤッテ居ルカノヤウニ見エテ、又齋藤君ノ御話ノヤウナ解釋モ出來タカモ知レマセヌガ、其點ハ非常ニ遺憾ニ存ジテ居リマス、實ハ全產聯ノ方カラ本案ニ對スル御意見ガ漏レタノデ、其事ニ付テ社會局ノ方ニ尋ネテ見エル方モアッテ、サウ云フ方ニ對シテ唯社會局ノ考ヲ話シタト云フコトガ、斯ク大キク見エルコトニナッタノデアリマス、決シテ其聲明ヲヤリ出シテ爭フト云フ意味デモ何デモナカッタ、其趣意ハ一ツ能ク御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、參與會議ニ掛ケマシタ時ト、其後ノ立法ノ過程ニ於キマシテ變タ所ノアルコトモ事實デアリマスルガ、併シ根本趣意ト申シマシタノハ、或ハ積立率ト云フヤウナモノニ付テハ、原則トシテ動イ

テ居リマセヌケレドモ、ソコニ少クトモ最少限度ノ睨ミヲ付ケマシタ點ハ違ッテ居リマス、違ッテ居リマスケレドモ、ソレハ昨日モ答辯致シマシタヤウニ、法律ヲ義務付ケテ要求スル點ガ少クナッテ居ルト云フコトニアル、ソレ以上ヲ決シテ求メル趣意デハナイト云フ意味合デサウ云フ文字ガ入リマシタ、其點ハ違ッテ居ルト言ヘバ違ッテ居リマスケレドモ、百分ノ二ナリ、百分ノ三ナリト云フモノノ積立ヲ望ム意味ニ於テハ違ッテハ居ラナイト云フヤウナコトデアリマシテ、サウ云フコトデ唯労働者保護ト云フ根本精神バカリデハナイノデアリマス、大體ニ昨年ニ於キマシテハ違ッテ居ラス、併ナガラ立法ノ過程ニ於キマシテ、參與會議ニ掛ケタ案ト全然同一トハ申上ゲ兼ネマス、其邊ノ所ヲ能ク御諒解願ヒマス、又付加ヘテ一般的ノ御論トシテ如何ニモ不親切ナヤリ方ヲスルデヤナイカト云フ御話ガアリマスガ、私モ最近就任致シマシタガ、其點ハ篤ト注意ヲ致シマスルシ、ヨモヤ不親切ナル考ヲ持ッテヤルトハ存ジマセヌ、併シ苟モ左様ナ御懸念ノアリマス以上、官吏ノ言論其他ノ事務ノ取扱ニ付キマシテハ、將來一層注意ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○齋藤委員 モウ宜シウゴザイマス

〔堀内委員〕一寸關聯シテ……ト呼フ

○熊谷委員長 其前ニ委員長ノ方ニ關聯事項ニ付テ内務大臣ニ對シテ質問ノ申出ガアリマスカラ……岡本君

○岡本委員 大臣ガ御忙シクテ、時間モ十分此委員會デハアラセラレナイト思ヒマスカラ、關聯シタコトダケニ付テ御尋シタイト思ヒマスガ、或ハ直接關聯デナクテ、多少間接ノ關聯ニナルカモ知レマセヌガ、其點ハ惡シカラズ……

○熊谷委員長 餘リ間接ダト後廻シニ致シマス、大臣ハモウ一遍御出ニナリマスカラ、關聯デナケレバ後廻シニ願ヒマス

○岡本委員 デハ直接ノ事ダケヲ申上ゲマス、本法ヲ施行致シマシテ適用ヲ受クル工場ガドレダケアルカト云フコトハ、大體昨日本會議ノ時ニ加藤錄五郎君カラノ御質問ニ對スル御答ニ依ッテ凡ソ分リマシタ、五十人以上ノ工場ガ千九百、三十人以上五十人未満ノ工場ガ約四千、斯ウ仰セラレテ居リマス、合セマシテ約六千ノ工場、斯ウ云フヤウニ大體私本會議ノ議場デ承ッタノデアリマスガ、三十人以上五十人未満ト云フ工場ハ尙ホ聞キマスト云フト四千九百九ト云フヤウナコトニナッテ居ルサウデアリマス、多

少此中ニ除外サレルモノモアルカモ知レマセヌガ、何レニ致シマシテモ八九百ノ違ヒデアリマス、其六千トカ七千トカ云フ工場ハ、一度ニ本法ガ適用サル、ト云フコトハ非常ナ困難デハアルマイカ、無理ガナイカト云フコトニ付テ御尋致シタイノデアリマスガ、全國六七千ノ工場ト申シマシテモ、殆ド大部分ハ東京、大阪、或ハ愛知、京都、兵庫乃至福岡、此數府縣ダケデアラウト思ヒマス、シテ見マスルト云フト、是等ノ數

フヤウナ小工場ガ、大部分私ハ占メテ居ルコトドラウト思ヒマス、ソレヲ一度ニ適用ナサルト云フコトガ果シテ混雜ナシニ滑カニソコガ行クドラウカドウカ、非常ニ疑ヒマスガ、此點ニ付テ大臣ハ確ニ此適用ヲスルノニ混雜ハナイト云フ御見込ガアリマナラバ、其事情ヲ委細承リタイ

私ノ言葉ガ不十分デアッタ爲メカ、徹底ヲ缺イテ居ルノヂヤナイカト思ヒマス、ト申シマスノハ昨日私ガ申上ゲマシタノハ、個人經營ノ工場ヲ申上ゲタノデアリマス、ソコニ誤解ガアッテハナラスト思ヒマスカラ、改メテ申上ゲマスガ、本日申上ゲルノハ個人竝ニ法人ノ工場ヲ通ジマシテ、三十人以上五十人未滿ノモノガ四千九百九デアリマス、ソレカラ五十人以上ガ六千三十三、合計致シマシテ一萬九百四十二、是ガ本法ノ適用ヲ受ケル工場ニ一應成ッテ居ルノデアリマス、今申シタノハ工場竝ニ鑛山デアリマス、其中カラ第一條ノ第二項ニ依リマシテ或ル程度ノ工場ハ除外サレルコトニナルノデアリマス、昨日私ガ申上ゲマシタノハ個人經營ノ工場ヲ説明ノ必要上申上ゲタノデアリマス、少シク事情ガ違ッテ居リマスカラ、本法ノ適用ヲ受ケル工場、鑛山ノ數ハ一萬九百四十二、斯ウ云フコトニ御承知置キヲ願ヒマス

シテハ三十人以上五十人未滿ガ三千九百四十四、ソレカラ五十人以上百人未滿ガ一千四百三十三、是ハ個人經營ノ工場デス、ソレカラ百人以上五百人未滿ガ六百十七、五百人以上千人未滿ガ十三、斯ウ云フコトニナッテ居リマス

兵庫乃至福岡、此數府縣ダケデアラウト思ヒマス、シテ見マスルト云フト、是等ノ數

テ、今御話ニナリマシタ比較的小サイ工場ニ於キマシテハ、之ヲ施行スル時ニ直チニ施行致シマスレバ、無論混雜ヲ致シテ殆ド不可能デアアル、先ヅ數箇月ノ準備期間ヲ置キマシテ、大體來年ノ初頭位カラ實行ニ入リタイト云フ積リデアリマス、又中ニハ似

計致シマシテ一萬九百四十二、是ガ本法ノ適用ヲ受ケル工場ニ一應成ッテ居ルノデアリマス、今申シタノハ工場竝ニ鑛山デアリマス、其中カラ第一條ノ第二項ニ依リマシテ或ル程度ノ工場ハ除外サレルコトニナルノデアリマス、昨日私ガ申上ゲマシタノハ個人經營ノ工場ヲ説明ノ必要上申上ゲタノデアリマス、少シク事情ガ違ッテ居リマスカラ、本法ノ適用ヲ受ケル工場、鑛山ノ數ハ一萬九百四十二、斯ウ云フコトニ御承知置キヲ願ヒマス

見込ノ大體デ……

澤山ノ工場ノ關係トシテ可ナリ混雜ヲ致シハシナイカ、或ハ斯ク仰セラル、カトモ推

テ、今御話ニナリマシタ比較的小サイ工場ニ於キマシテハ、之ヲ施行スル時ニ直チニ施行致シマスレバ、無論混雜ヲ致シテ殆ド不可能デアアル、先ヅ數箇月ノ準備期間ヲ置キマシテ、大體來年ノ初頭位カラ實行ニ入リタイト云フ積リデアリマス、又中ニハ似

計致シマシテ一萬九百四十二、是ガ本法ノ適用ヲ受ケル工場ニ一應成ッテ居ルノデアリマス、今申シタノハ工場竝ニ鑛山デアリマス、其中カラ第一條ノ第二項ニ依リマシテ或ル程度ノ工場ハ除外サレルコトニナルノデアリマス、昨日私ガ申上ゲマシタノハ個人經營ノ工場ヲ説明ノ必要上申上ゲタノデアリマス、少シク事情ガ違ッテ居リマスカラ、本法ノ適用ヲ受ケル工場、鑛山ノ數ハ一萬九百四十二、斯ウ云フコトニ御承知置キヲ願ヒマス

リマシテ、今商工省ト打合ヲ致シテ漸次進行中デスカラ、マダハキリシタ數字ハ申上ゲラレマセヌガ、今一應ノ調べハ致シテ居リマスケレドモ、後デ又申上ゲルコトニ致シマス

量致シマス、是ハ既ニ現在行ハレテ居ル事實ナノデ、敢テ新シイコトヲ今茲ニ劃期的

リタイト云フ積リデアリマス、又中ニハ似寄リノ規定ヲ設ケテ居ル所モナイトモ限リマセヌシ、縱シアリマセヌデモ、只今ノヤ

個人經營ノ工場ヲ説明ノ必要上申上ゲタノデアリマス、少シク事情ガ違ッテ居リマスカラ、本法ノ適用ヲ受ケル工場、鑛山ノ數ハ一萬九百四十二、斯ウ云フコトニ御承知置キヲ願ヒマス

間ノ準備期間ヲ置クカラ差支アルマイ、斯

大イナル困難モアルマイ、斯ウ云フコトノ御説明ガアルカモ知レマセヌガ、私トシテ

マセヌシ、縱シアリマセヌデモ、只今ノヤウナ準備期間ヲ置キマシテ、ソレ迄ニ用意シテ貰フナラバ、大體混雜ナク行ケルコト

個人經營ノ工場ヲ説明ノ必要上申上ゲタノデアリマス、少シク事情ガ違ッテ居リマスカラ、本法ノ適用ヲ受ケル工場、鑛山ノ數ハ一萬九百四十二、斯ウ云フコトニ御承知置キヲ願ヒマス

間ノ準備期間ヲ置クカラ差支アルマイ、斯

ハ深ク實情ハ存ジテ居リマセヌケレドモ、

シテ貰フナラバ、大體混雜ナク行ケルコトガラウト考ヘテ居リマス、工場數其他ニ付

個人經營ノ工場ヲ説明ノ必要上申上ゲタノデアリマス、少シク事情ガ違ッテ居リマスカラ、本法ノ適用ヲ受ケル工場、鑛山ノ數ハ一萬九百四十二、斯ウ云フコトニ御承知置キヲ願ヒマス

間ノ準備期間ヲ置クカラ差支アルマイ、斯

大イナル困難モアルマイ、斯ウ云フコトノ御説明ガアルカモ知レマセヌガ、私トシテ

マセヌシ、縱シアリマセヌデモ、只今ノヤウナ準備期間ヲ置キマシテ、ソレ迄ニ用意シテ貰フナラバ、大體混雜ナク行ケルコト

個人經營ノ工場ヲ説明ノ必要上申上ゲタノデアリマス、少シク事情ガ違ッテ居リマスカラ、本法ノ適用ヲ受ケル工場、鑛山ノ數ハ一萬九百四十二、斯ウ云フコトニ御承知置キヲ願ヒマス

間ノ準備期間ヲ置クカラ差支アルマイ、斯

ハ深ク實情ハ存ジテ居リマセヌケレドモ、

シテ貰フナラバ、大體混雜ナク行ケルコトガラウト考ヘテ居リマス、工場數其他ニ付

個人經營ノ工場ヲ説明ノ必要上申上ゲタノデアリマス、少シク事情ガ違ッテ居リマスカラ、本法ノ適用ヲ受ケル工場、鑛山ノ數ハ一萬九百四十二、斯ウ云フコトニ御承知置キヲ願ヒマス

間ノ準備期間ヲ置クカラ差支アルマイ、斯

大イナル困難モアルマイ、斯ウ云フコトノ御説明ガアルカモ知レマセヌガ、私トシテ

マセヌシ、縱シアリマセヌデモ、只今ノヤウナ準備期間ヲ置キマシテ、ソレ迄ニ用意シテ貰フナラバ、大體混雜ナク行ケルコト

個人經營ノ工場ヲ説明ノ必要上申上ゲタノデアリマス、少シク事情ガ違ッテ居リマスカラ、本法ノ適用ヲ受ケル工場、鑛山ノ數ハ一萬九百四十二、斯ウ云フコトニ御承知置キヲ願ヒマス

間ノ準備期間ヲ置クカラ差支アルマイ、斯

ハ深ク實情ハ存ジテ居リマセヌケレドモ、

シテ貰フナラバ、大體混雜ナク行ケルコトガラウト考ヘテ居リマス、工場數其他ニ付

個人經營ノ工場ヲ説明ノ必要上申上ゲタノデアリマス、少シク事情ガ違ッテ居リマスカラ、本法ノ適用ヲ受ケル工場、鑛山ノ數ハ一萬九百四十二、斯ウ云フコトニ御承知置キヲ願ヒマス

間ノ準備期間ヲ置クカラ差支アルマイ、斯

テ居ッタコトノナイ工場デアル、又法案ノ十七條ノ二號ノ利益計算等ハ大體難駁ナモノデアル、資本金ガ幾ラト云フヤウナコトハ正確ニ分ラヌ、帳簿ナドモドモ亂雜ニ流レテ居ルモノガ多クアルマイカト私ハ事實上思フノデアリマス、重ネテ問ヒマス、一年デ果シテサウ云フ四千ト云フヤウナ澤山ナ工場ノ整頓ガ出來マセウカ、是ハ私ハ甚ダ疑フノデアリマスカラ、尙ホモウ一應政府委員デ宜シウゴザイマスカラ、其點ノ御見込ノ御答ヲ願ヒマス

○廣瀨政府委員 本法ノ適用ニ付キマシテ、本法ノ適用ヲ受ケマスル工場、殊ニ個人工場ガ此適用ニ關スル準備ヲ完全ニスルノニ付テハ、相當ニ私共ノ方デ各道府縣ト連絡ヲ取りマシテ、サウシテ十分ニ本法ノ施行ニ必要ナル所ノ準備ヲサセルヤウニ努力致ス積リデアリマスルガ、法文ト致シマシテハ、非常ニ難解ナ點ガアルノデアリマスケレドモ、併シ是レノ要點ハ、之ヲ理解セシムルコトハサウ非常ニ難解ナコトデモナイト思フノデアリマス、尙ホ此退職手當ノ制度ト云フモノハ、昨日モ本日モ大臣カラモ申上ゲテ居ルヤウニ、大體我國ニ於テ發達致シテ、モウ大正七八年頃カラ今日マデ非常ナル發達ヲ致シテ來テ居ルノデアリ

マス、三十人内外ノ工場デモ、無論退職手當ノ制度ヲ實行シテ居ルモノモアルノデアリマス、サウ云フ事情デアリマスルカラ、之ニ對シテ積立金ノ問題ヲ實行致シマシタ所デ、全然外國カラ輸入シタ制度ト云フヤウナモノト違ヒマシテ、之ヲ理解サスニサウ苦シムコトハナイデハナイカト吾々ハ思ッテ居ルノデゴザイマス

○岡本委員 アトハモウ保留シテ置キマス
○熊谷委員長 ソレデハ堀内君

○堀内委員 極ク簡單ニ二點ダケ大臣ニ御伺致シタイト思ヒマス、只今齋藤君カラ其問題ニ少シク御觸レニナッタヤウデアリマスルガ、近時全國産業聯合會ト内務省トノ間ニ、色々ナ行違ノ事情ガアリマスルカ、或ル新聞ニハ、背信呼ハリハ迷惑ダト云フヤウナコトヲ言ッテ、内務省ガ聲明書ヲ發シテ居ル、又ソレニ對シテ、勞資ノ紛争ニ更ニ拍車ヲ掛ケルモノデアルト云フヤウナ趣旨ノ下ニ全産聯ガ又聲明書ヲ出ス、一體背信呼ハリト云フコトヲスルニ至ッタ事實ハドウ云フ關係カラ來タノデアリマセウカ、更ニ勞資ノ紛争ニ拍車ヲ掛ケルモノデアルト云フヤウナ事柄ハ、如何ナル關係カラ來タノデアリマセウカ、洵ニ殘念千萬ノコトデアリマシテ、此法案ヲ議スル根本方針ト

致シマシテ、私ハ見逃セナイ事實デアルト考ヘルノデアリマス、抑、此退職手當積立法案ト云フモノガ出マスルニ付テ、色々今日マデ歴史ガアリマス、既往ノ歴史ヲ考ヘテ見マスルト云フト、全産聯バカリデハナイノデアリマセウガ、併シ全産聯ハ全國ノ事業主ノ固マリデアアルノデアリマスルカラ、之ヲ一方ノ相手ト見テ差支ナイノデアリマス、又一方之ニ對スル勞働者ノ方ノ意見モアッタノデアリマスルガ、要スルニ退職手當積立金ト云フモノハヤッテ居ルノデアアル、何處ノ事業主ニシテモ皆大小ニ依ッテヤッテ居ルノデアアル、全部デハナイ、一部ハヤッテ居ラヌ所モアリマセウガ、大部ハヤッテ居ルノデアアル、而シテ日本ハ總テ家族主義ガ發達シテ、工場其他ニ於テモ温情主義ヲ以テ、恩惠的ニサウ云フヤウナコトガ平和ノ間ニ規定ガ出來テ居ルノデアラカラ、是ハ一ツノ良風美俗トモ言フベキモノデ、日本獨特ノ事柄デアアル、外國ノ眞似ヲスルコトノ出來ナイヤウナ是ハ美俗デアアル、デアアルカラ之ヲ別ニ法制化シテ、權利者トシテ争フヤウナコトニスル必要ハナイ、何處マデモ事業家ハヤハリ勞働者ニ對シテ出來ルダケノコトヲシナケレバナラヌト云フコトノ覺悟ハ、皆致シテ居ルノデア

ル、勞資協調ノ趣旨ニ基イテ、其間ヲ圓滿ニ進行シテ、産業ノ發達ヲ圖ルベキモノデアルト云フコトハ、疾クカラ事業者代表ハ言ッテ居ッタノデアリマス、然ルニ又一面カラ見マスルト、サウ云フコトヲ言ッテモ、中温情主義バカリデハイカヌ、今ハ總テノコトヲ法制化スベキ時デモアルカラ、是ハヤハリ法律ニ依ッテ其勞働者ノ立場モ明ニシテ置イタ方ガ宜シイト云フヤウナ事柄カラ致シマシテ、段々研究ノ結果、玆ニ初メテ社會立法トシテノ先驅ヲナス所ノ此法案ガ出來タノデアリマス、事業主モ之ニ對シテハ大ニ讓歩ヲシ、又勞働者ノ側ニ於キマシテモ、色々内容、條件等ニ付テ讓歩シテ居ルコトト思フノデアリマス、洵ニ斯ノ如キ法案ガ日本ニ出タト云フコトハ、一面カラ言ヒマス、勞資協調ヲ如實ニ實行スルト云フ爲ニ出テ來タノデアリマシテ、又サウ云フ風ニ是ハ導カネバナラヌ法案デアアルノデアリマスルカラ、此法案ノ出テ來タコトハ、一面カラ言フト大ニ結構ナコトト思フノデアリマス、然ルニ其法案ノコトカラ内務省ニ對シテ背信呼ハリヲスル、又更ニ勞資紛争ニ拍車ヲ掛ケルモノダト云フヤウナコトヲ新聞紙上デ言ハレルヤウニナリマシタト云フコトハ、洵ニ殘念千萬ノ次第デア

ル、私ガ此事柄ニ付テ、ハッキリ聞イタトハ申シマセヌガ、世間ノ噂ヲ綜合シテ見マスト、前段申上ゲルヤウナ事情デ、事業主ノ團體モ大ニ讓歩ヲ致シテ、サウシテ此法案ノ提出ニ賛意ヲ表シテ居ル、併シ法案ノ提出ニハ賛意ヲ表スルケレドモ、此内容ニ至ッテハ、相當自分共ノ意見ヲ容レテ呉レナケレバ困ルト云フヤウナコトカラ致シマシテ、相當意見ハ述ベタモノト聞イテ居リマス、殊ニ此法案ハ失業對策委員會ニ掛ケ、其原案ヲ以テ參與會議ニモ掛ケテ、參與會議ノ同意ヲ得テ御發案ニナッタト云フコトハ、昨日大臣カラ御述べニナッタ通りデアリマス、而シテ此參與會議ノ中ニ事業主ノ方カラ出テ居ル者ハ誰カト言ヘバ、内藤久寛君ト磯村豊太郎君、菊池恭三君、此三人ノ方ガアルノデアリマス、大方此方ナドハ其處ニ御參列ニナッタニ相違ナイト思フノデアリマス、ソコデ色々意見ノ交換モアリマシテ、社會局ノ方ニ於キマシテモ、或ル程度マデハ斯ウ云フ反對意見ト云フモノノ同意ヲ求メテ、ソコデソレニ同意ヲ表シテ、是等ノ三人ノ人ハヤハリ直接關係者デハアリマセヌガ、全產聯ノ方ノ最高顧問トデモ言ハレルヤウナ人デアリマスカラ、全產聯ノ方ニ參リマシテ

大體内容モ斯ウ云フヤウナコトデアアルノダカラ、之ニハ同意ヲ表サウデハナイカト云フヤウナコトデ、其法案提出及ビ内容等ニモ幾分觸レタ所ノ賛意ヲ表シタコトト私ハ思フノデアリマス、ソレガ愈、法案ガ出テ見ルト、其參與ノ方カラ内々デモ話ヲ聞イタ、其實ガ現ハレテ居ナイ、却テ又前ノ案ニ逆戻リヲシタ、斯ウ云フヤウテ事實ガ分ッたノデアリマシテ、是ニ於テ初メテ全產聯ト云フモノハソレデハ困ル、是ハドウモ大イニ約束ガ違フ、サウ云フコトヲ内務省ガスルト云フコトハ、背信ノ行爲デハナイカト云フコトヲ言フニ至ッたノダラウト思フノデアリマス、併シ背信行爲ト云フヤウナコトヲ言フコトハ、甚ダ穩カデナイコトデアリマスカラ、是ハサウ云フコトハ誰ガ言ッたカ聞イテ居リマセヌガ、新聞ニ背信呼ハリハ迷惑ダト言ッテ書イテアリマスカラ、誰カサウ云フコトヲ言ッたニ相違ナイ、サウ云フコトヲ言ッたトスレバ、全產聯ノ一部ノ人ガ言ッたと思フ、サウ云フコトヲ言ハセルニ至ッたノハドウ云フコトカト申シマストト、私モ是ハ想像ノ話デアリマスルガ、參與デアアル磯村、内藤ト云フヤウナ人ガ内務省ノ方針ガ斯ウ云フノデアルト云フコトヲ言ッテ置イテ、全產聯ニ安心ヲサセテサウシ

テ、出テ來タ法案ハサウデナカッタト云フコトノ事實ガアッテ、斯ウ云フ結果ヲ生ジテ來タノダラウト思フノデアリマス、然ルニ内務省ノ聲明書ヲ見マスト云フト、サウ云フコトデハナカッタト云フヤウナ意味ノコトガ書イテアリマスルガ、ソレナラバ磯村、内藤、菊池ノ此三人ハ嘘ヲ言ッたノデアリマセウカ、是等ノ人モ隨分事業ニ經驗モアリ、長老トシテ日本ノ産業ヲ如何ニ導クベキカト云フコトニ付テハ、相當考ヲ持ッテ居ル方達デアアルノデアリマス、殊ニ此三人ハ貴族院ニ議席モ持ッテ居ラレル、サウ云フ方ガ穩便ニ何トカシテ此途ヲ付ケヨウト云フコトデ、全產聯ノ反對モ漸ク火ガ鎮マッテ來タト云フヤウナ所ニ、又再ビ此油ヲ注グヤウナコトニナッテ來タノデアリマス、先刻來申上ゲマスル通り、今回ノ此社會立法トシテ初メテ議會ニ提案サレマスル所ノ法案ハ、勞資協調ノ趣旨ヲ本ト致シマシテ、而シテ此日本ノ産業ヲ發達サセルト云フ非常ニ重大ナル案デアアル、其案ノ内容如何ト云フコトハ、色々又諸君ノ御檢討モアリマセウガ、兎ニ角此案ヲ發表シ出發スル其際ニ、只今ノヤウナ行違ヲ生ジテ、サウシテ之ヲ以テ爭フト云フヤウナコトハ私ハ非常ニ是ハ重大ノコトダト思フ、全產聯ヲ擁護スル

譯デハアリマセヌガ、全產聯ノ會員ト云フモノハ全國ニ互ッテ工場等ヲ所有シテ居ル者ガ殆ド全部デアリマス、現ニ其後吾々ノ手許ニ色々ナ陳情書ナドガ續々參ッテ居ルノデアリマス、殊ニ是ハ皆サンノ御手許ニモ參ッたノデアリマスルガ、斯ウ云フコトガ書イテアル、前ノ所ハ除キマスガ、社會局ガ失業對策委員會ノ決議ヲ基トシテ立法スルモノナリト社會局參與會議ニ報告シ、一般ヲシテ斯ノ如ク信ゼシメタルニ拘ラズ、今次議會ニ提案ニ際シ、突如委員會決議要綱ノ根本趣旨ニ背馳シ、立法ノ精神ヲ變更スル新規條項ヲ加ヘラレタルハ當會ノ深く遺憾トスル所ニ有之、此條項ハ當然撤回セラレンコトヲ切望スル次第ニ御座候ト云フヤウナコトガ書イテアル、成程此法案ヲ議スル權利ハ無論全產聯ニハナイノデアリマスルガ、參與會議ニ報告シタコトヲ聞イテ、サウシテ吾々ハ賛意ヲ表シタ、然ルニ突如此案ガ出テ見レバ違ッテ居ルト云フヤウナコトヲ内務省ガシテ、サウシテ此法案ヲ天下ニ示スニ至ッテハ今後此法案ノ影響スル所ハ如何ナルコトデアリマセウカ、斯ウ云フコトヲスレバ、折角勞資協調ノ趣旨ヲ立テ、サウシテ穩便ニ此日本ノ事業界ヲ「リード」シテ行カウト云フヤウナ矢先

ニ斯ウ云フコトヲ、指導スル所ノ内務省ガ
オヤリニナルト云フコトデアリマシタナラ
バ、今後ノ労働問題、社會立法ナドノコト
ガドウシテ圓滿ニ進シテ行クノデアリマス
カ、モウ少シ此點ニ於テ大臣ハハッキリシ
タ御言明ヲ願ヒタイ、場合ニ依ツタラバ、此
事實ニ參與シタ人カラ隠サナイ所ノ事實ノ
話ヲ伺ヒタイ、サウシテ先以テ大臣ノ御言
明ヲ以テサウ云フヤウナ疚シイコトハナイ
ト云フ洵ニ公明ニシテ堂々タル所ノ主張ノ
下ニ斯ノ如キ案ノ御提出ヲ願ヒタイ、俺ハ
ソソナコトハ言ツタコトハナイト云フヤウ
ナソソナ胡麻化シ事デハ通ラヌト思フ、理
窟デハ通ラヌ、是カラマダ、此案バカリ
デハナイ、今回ノ議會ニ於テモ既ニ請願書
モ出テ居ル、労働組合法ヲ拵ヘルト云フヤ
ウナ要求モアルヤウデアリマス、又色々此
社會立法ニ付テハ必要ノ問題ガ澤山アル、
私ハ此法案ノ内容ニ付テモ色々又政府委員
ノ方ニ御意見ヲ聞ク積リデアリマスガ、先
ヅ大臣トシテ斯ノ如キ始末ニ立到ラシメタ
ト云フコトニ付テ如何ナル御感ジラ懷キマ
スルカ、其點ヲハッキリ御言明ヲ願ヒタイ
モウ一ツ伺ッテ置キタイノハ此法案ニ付
キマシテ罰則ガ設ケテアリマスルガ、此法
ニ違反スルトカ、或ハ退職積立金等ヲ許可

ヲ受ケズシテ處分シタルトキハ、三年以下
ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處スト、斯
ウ書イテアル、成程此積立金ヲ胡麻化スト
カ、横領スルトカ、費消スルト云フヤウナコ
トヲスレバ、懲役若クハ罰金ト云フコトデ、
或ハ適當デアラウト云フ御解釋カモ知レナ
イ、併ナガラ段々昨日大臣ノ御演説ヲ伺ヒ、
又今日政府委員ノ御話モ伺ッテ見レバ、各
工場ニ於テ今マデヤッテ居ッタ所ノ方法ヲ法
制化シタノデアアル、決シテ別ニ新規ニ此處
ヘ設ケタノデモ何デモナイノダ、今マデノ
コトヲ法制化シタノダト、斯ウ云フ御辯明
ガアッタノデアリマス、又吾々モサウ考ヘテ
居ッタ、然ラバ今マデヤッテ居ッタコトヲ法制
化スルト云フコトニナリマシタナラバ、ヤ
ハリ今マデノ通りノ良風美俗ヲモ其處ニ加
ヘ、又事業主モ信用シ、サウシテ斯ノ如キ
嚴罰ヲ設ケルト云フコトハドウ云フ御考デ
アルカ、マルデ日本ノ事業家ト云フモノハ
皆泥棒ノ固マリデ、モアルヤウニ思ッテオ
居デニナルノデアリマセウカ、サウ云フ御
考ノ下ニ此法案ヲ作ルト言フナラバ又何ヲ
カ言ハン、併シ今日マデ色々事情モ御分
リニナッテ居リマセウガ、銘々既ニ此法律ヲ
以テセナクテモソレ、斯ノ如ク仕事ヲシ
テ居ラレル、殊ニ今日マデ労働爭議ナドノ

起ツタ原因ニ付テ調べテ見マス、退職手
當金ト云フヤウナコトノ爲ニ起ツタ労働爭
議ト云フモノハ極メテ少イ、唯其時々ノ待
遇問題等ニ付テハ起リマスルガ、退職問題
等ニ付テハ餘リサウ多クハナイ、絶無トハ
申シマセヌガ、併ナガラソレニ對シテ兎
ニ角三年以下ノ懲役ト云フコトヲ以テ臨
ムニ至ッテハ甚ダ穩カデナイト思フ、斯様
ナ頭ヲ以テ今後事業界ヲ御指導ナサルト云
フコトニナリマスレバ、是ハ非常ナ間違デ
アル、モウ少シ何トカ道德的ニ日本ノ舊來
ノ習慣等ヲ尊重ナサレテ、サウシテ所謂勞
資協調ノ方針ヲ以テ御導キニナッタ方ガ宜
シイ、労働者ノ方ハ資本家ヲ非常ニ攻撃ナ
サル者ガアルカモ知レヌガ、然ラバ労働者
ノ者ダケデ何ガ出來マスカ、又資本家モ中
ニハ色々労働者ヲ攻撃スル人ガアルカモ知
レヌガ、併シ資本家バカリデハ仕事ガ出來
ナイ、恰モ事業主ト労働者ノ間ハ、車ノ兩
輪ノ如キモノデアアル、オ互ニ持ツ持タレ
ウシテ仕事ヲシテ行クヨリ外ナイノデアリ
マス、其仕事ノ目的ヲ達セントスル際ニ於
キマシテ、事業主ガ此法案ニアル所ノ一ツ
ノ條項ヲ實行セナイ場合ニ、懲役三箇年ニ
處スト云フヤウナコトハ、餘リニ冷酷、苛
酷ノ立法デハアリマスマイカ、是ハ労働者

ノ方ハ其金ヲ貰フノデアリマスカラ、別ニ
何モ罪ハナイノデアリマセウガ、労働者ニ
ハ何等制裁モ與ヘナイ、モウサウ云フ制裁
ハ餘リ加ヘタクナイ、兎ニ角此立法ノ御方
針ニ於キマシテ、私ハ非常ニ疑ヲ懷キ、又
斯ノ如キ御考ヲ以テ社會局ト申シマスカ、
或ハ内務省全體ト申シマスカ、ソレデ日本
ノ産業ヲ御指導ナサラウト云フヤウナコト
ハ非常ナ間違デアアル、或ル新聞ニ書イテア
リマス通り、全ク勞資ノ紛爭ニ拍車ヲ掛ケ
ルモノ、ヤウニ私モ考ヘルノデアリマス、
其二點ニ付テ大臣カラドウゾ吾々ガ成程サ
ウ云フ御方針デアリマスカタ安心シテ、此
法案ヲ議スルヤウナ明確ナ御答辯ヲ願ヒタ
イノデアリマス

○潮國務大臣 御答申上ゲマス、最初ニ御
尋ニナリマシタ點ハ、先刻齋藤君カラ御尋
ニナリマシタ所ト大體御趣意ハ同ジヤウデ
アリマス、要スルニ私モ同ジ趣旨ノ御答ヲ
スルヨリ外ハナイノデアリマス、今回ノ提
案ニ際シマシテ、色々物議ト言ヒマスカ、
意見ノ相違ト言ヒマスカ、新聞紙上等ニ於
キマシテ、社會局ノ行キ方ガドウデアッタ、
斯ウデアッタ、或ハ又社會局モ先程申上ゲマ
シタヤウニ、從來ノ經過ニ付テ意見ヲ發表
シタコトガ、如何ニモ張合ッテ聲明書デモ

出シタト云フ風ニ取ラレマシタコトハ、吳
吳モ遺憾デアリマスコトハ、先程齋藤君ニ
御答申上ゲタト同様デアリマス、只今モ斯
様ナコトニナラズシテ、此社會立法が目出
度ク誕生スレバ尙ホ一層宜カッタラウト思
ヒマスガ、併シ起リマシタコトハ過去ノコ
トデアリマス、残念ナガラ打消ス譯ニモ參
リマセヌ、私共モ是ハ成べく目出度ク誕生
スルト云フコトモ段々期待シテ居ッタノデ
アリマス、先刻モ御答申シマシタヤウニ、無
論參與會議ニ掛ケマシタ時ノ文通り參ラズ
シテ、或ハ違ッタコトガ書キ加ヘテアルト
云フコトハ、好マシクナイカモ知レマセヌ
ガ、往々立法ノ過程ニ於キマシテハ、アリ
得ルコトナノデス、絶無ハ期セラレヌノデ
アリマス、私ハ決シテ此事情ヲ辯疏スル譯
デハアリマセヌガ、色々各省ノ關係其他デ
遂ニ議會ニ提案ヲ致シマス迄ニハ、色々ナ
經過、紆餘曲折ガアリマスノデ、サウ云フ爲
ニ、ヤハリ參與會議ノ時ニ諮ツタ通りニナッ
テ居ラナイト云フコトハアルノデアリマ
ス、併シ根柢タル考ニ於キマシテハ、サウ
變ッテ居ラナイヤウニ思フト云フコトヲ繰
返シ申上ゲテ居ルノデアリマス、ソレデ御
話ノ中ニ、寧ロ詳シク參與會議ニ掛ケタ時
ニハドウデアッタカ、此法案ハ何處ガ違ッテ

居ルカ、示シタ方ガ宜カラウト云フコトデ
アリマスガ、御尤デアリマスカラ、是ハ政
府委員カラ主ナル點ニ付キマシテハ今一應
御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、只今ノ問
題ニ付キマシテ私トシテハ今申上ゲル經過
ノ以外ニ何等他意ハアリマセヌカラ、御諒
承ヲ願ヒマス
ソレカラ今一ツ罰則ノ點ニ付テノ御尋デ
アリマスガ、斯様ナ立法ニ對シテ罰則ガ無
クテ濟ミマスモノナラバ、最モ望マシイコ
トト思フノデアリマスガ、元來此退職積立
金ニ關スル法案ノヤウナ法律ガ、今マデ勞
働立法ナドトシテハ殆ド前例ガナイノデア
リマスカラ、今迄ノ法制ニサウ云フ罰則ガ
無イト云フノモ、是ハ致シ方ガナイノデア
リマス、此度ハ已ムナク罰則ヲ附ケタノデ
アリマス、ト云フノハ、固ヨリ事業主ガ
積立テ、居リマス金ハ事業主ノ金デアリ
マス、勞働者ニ渡サレル迄ハ事業主ノ金デ
アリマシテ、決シテ他人ノ金デハアリマセ
ヌ、併ナガラ其積立テ、置キマス目的ハ、
或ル時期ニ於テハ必ズ勞働者ニ渡サナケレ
バナラヌ金ナノデアリマスカラ、此金ヲ確
保シテ置クト云フコトハ大變必要ナコトデ
アリマス、是ガ若シ他ニ使ハレマスト云フ
コトハ、積立金ノ制度ヲ設ケタ趣旨ガ没却

サレマスシ、勞働者ガ退職ノ時ニ貰フベキ
モノガ貰ヘナイト云フコトモ起ル、ソコデ
此積立金制度ヲ確保スル爲ニ、已ムラ得ズ
罰則ヲ以テ臨マナケレバナラヌ、若シ是ガ
他ニ使ハレタト云フヤウナ場合ガアッデハ
ナラヌカラ、ソレデ罰則ヲ付ケル、是ハ事業
主ノ金デアリマスカラ、決シテ之ヲ横領ナ
ドニ譬ヘルコトハ非常ニソレハ適當デナイ
ト思ヒマス、思ヒマスガ若シ是ガ刑法ノ横
領ナドニナルト、五年十年ト云フヤウナウ
コトニナッテ居ル、無論是ハ事業主自身ノ金
デ横領デモ何デモナイノデアリマセウ、私
ハ刑法ノコトハ能ク存ジマセヌガ——事業
主ノ金デハアルガ、使ハレテハ困ルト云フ
ノデ、三年ト云フ刑期ニ致シマシタ、此刑ノ
輕重ニ至リマシテハ、自ラ御議論モアリマ
セウガ、事情ハサウ云フヤウナコトデアリ
マスルノト、今一ツハ罰金ト云フコトニ致
シマシテ、選擇刑ニシテアリマスカラ、其
間ノ事情ニ依リマシテハ、適當ニ處斷サレ
ルモノデアル、必シモ此罰則ヲ設ケタコト
ガ非常ニ當ラナイ規定デモナイノデハナイ
カ、斯様ニ考ヘテ居リマス

カノヤウニ拜承致シタノデアリマスガ、又
サウアルコトヲ以テ適當ナリト認メタヤウ
ナ御意見ヲ拜聽致シマシタガ、是ハ私ノ聞
違デゴザイマセウカ、大臣ノ御趣旨ハ參與
會議ニ諮ッテ其同意ヲ得タコトハ、其參與會
議ノ同意ヲ得タ通りニ致シタイト云フ考デ
アリマスカ、或ハソレハ變更シテモ構ハナ
イノダ、斯ウ云フコトデスカ、其點ダケヲ
一寸御伺致シタイトデアリマス
○潮國務大臣 或ハ私ノ言葉ガ足りナカッ
タカモ知レマセヌガ、唯經過トシマシテハ、
參與會議バカリデハナイノデアリマス、
政府ノ各種委員會、調査會等ニ付議サレテ
決定サレマシタモノハ、無論出來ルダケ尊
重ヲシテ具體案ヲ作ラナケレバナラヌ、ソ
レニ變リハナイノデゴザイマスガ、往々ニ
シテ、其後ノ過程ニ於キマシテ、調査會等
ノ決議ト時々異ナル規定モ起リ得ルト云フ
經過事情ヲ申上ゲテ、參與會ナリ、調査會
ナリ、委員會ナリノ決定ヲ尊重スベキコト
ハ、飽クマデ出來ルダケ尊重シナケレバナ
ラヌト云フ趣旨デアリマス
○廣瀨政府委員 先程大臣ノ答辯ノ中ニ、
要綱デソレガ法律ニ現ハレタ點デ違ッタ所
ニ付テ政府委員ヨリ答辯サセルト云フコト
デゴザイマシタノデ、御答辯ヲ申上ゲマス、

法案ニ現ハレタ點ヲ要綱ト違テ居ルト云フ點ハ、例ノ第八條ノ百分ノ七ト云フ規定ト、或ハ第十六條、第三十條ニ少クトモ百分ノ二、或ハ少クトモ十二日分ト云フ「少クトモ」ト云フ文字ガ書イテアル、ソレカラ解雇手當ト云フ名前ヲ用ヒテ居ッタノヲ、特別手當ト名前ヲ改メタ、ソレカラ三十五日分トアッタノヲ、三年未滿ハ二十日分ト改メルト云フヤウナ種類ノモノデアリマシテ、案自體ノ根本ニ觸レテ居ルモノデハナイト私共ハ思ッテ居ルノデアリマス、ドウカ其點ハ御承知ヲ願ヒマス

○藏原委員 先刻ノ岡本君ノ工場法ノ御話ニ關聯シテ一ツ承ッテ置キタイノデアリマシタ、三十人以上、五十人以上、各別ニ現在退職手當ノアル工場ノ數ト……

○熊谷委員長 ソレハ政府委員ニ御聽キニナッテモ宜イコトデアリマセヌカ

○藏原委員 政府委員デ結構デス

○熊谷委員長 ソレデハ後ニシテ下サイ——淺沼君

○淺沼委員 社會局ノ參與ノコトデスガ、色々參與會議ノコトガ問題ニナッテ居ルヤウデスガ、共存共榮ヲ説カレルコトハ、洵ニ結構ダト思ヒマスガ、參與ニ參加シテ居リマスル者ハ、資本金ノ代表ノミ參加シテ

居ラレテ、議論ダケハ善イトカ惡イトカ議論ガアリマスガ、勞働者ノ團體ハ一人モ參加シテ居リマセヌガ、將來社會局參與ニ勞働者ノ代表ヲ參加セシメル意思ガアルカドウカ、此際一寸伺ッテ置キマス

○潮國務大臣 只今ノ御尋ノ社會局ノ參與ハ餘程私共ハ大切ナ機關ト心得テ居リマス、組織ニ付キマシテハ十分研究ヲシタ上デナイト、今即答ヲ申上ゲルコトハ出來マセヌ

○小山委員 大臣ハ一寸オ居ダト云フノデ、私モ皆様ニ御譲リヲ致シマシタガ、關聯ヲシテ質問ガ澤山アルノデアリマス、只今堀内君カラ御質問申上ゲマシタ積立金ヲ流用シタ場合ニ刑罰ヲ附スル、午前中ニ政府委員ノ方カラ詳細ニ伺ヒマシタ、唯此點ニ付テ先程申上ゲマシタガ、此積立金ト云フモノハ貸借對照表ニ於テハ資産ノ部ニ入ッテ居リマシテ、隨テ之ニハ税金モ課ケテ居リマスシ、從來ハ流用ヲ許シタノデアリマス、積立金ニ於テハサウ云フ習慣ガアル

ノニ、勞働者側ノ積立百分ノ二、事業主ノ方ノ積立ガ百分ノ二ノ外ニ、百分ノ一カラ百分ノ三ト斯ウ云フ風ニ決メテ置キマシテモ、兎ニ角信用薄弱ニシテ、資力ノナイ、資金ノ窮迫ヲ常ニ感ジテ居ル事業主デアリ

マスカラ、之ニ手ヲ著ケ勝チデス、著ケチダカラ詰リサウ云フ法律ヲ作ッテ置クノハ、恰モ猫ノ前ニ鯨節ヲ與ヘルヤウナモノデアアル、デアアルカラ寧ロ此金ハ流用サセルト云フコトハ、洵ニ是ハ立派ナ資本ノ融通ト云フヤウナコトカラ御考ニナッタコトデ、事業家ニ取ッテハ洵ニ親切ナヤウニ思ハレルケレドモ、實ハ非常ニ之ハ不親切ナ、非常ニ惡イ結果ヲ生ズル虞ノアル點デアリマスカラ、寧ロ是ハ積立金ヲ少クシテ、サウシテ全然資本金、事業主ガ使ヘナイヤウナ方法ノ方ガ良クハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、此點ニ付テ御考ハ如何デアリマセウカ

○潮國務大臣 或ハ私御尋ヲ誤解シテ居ルカモ知レマセヌガ、一應私ノ御聽キシテ居ル所デ御答申上ゲマス、無論此積立金ハ事業主ノオ金デアリマスガ、之ヲ積立サセルト云フノハ何カト言ヘバ、必要ノ起ッタ時ニハ出來ルダケ規定ニ副フヤウニ、勞働者ニ金ヲ支給スル、ソコガ眼目デアリマス、ドウモ此積立金ガ危險ヲ感ズルヤウナコトデハ積立制度ノ本旨ガ遂ガラレマセヌ、ソレデ已ムナク此罰則ト云フ、好マシキコトデアリマスマイガ、罰則ヲ有ッテ居リマス、而モ罰則ハ必ズ三年ノ刑期ト云フ譯デハゴ

ザイマセヌ、ソレハ裁判官ガ色々情狀酌量サレマセウガ、三千圓以下ト云フ其邊ヲ考慮シテ、選擇刑ヲ設ケタ、猫ニ鯨節ト云フ御話ニナリマシタガ、成程此金ヲ死藏シテ置クト云フコトハ經濟關係トシテ宜クナイコトデゴザイマスカラ、一方ニ於テハ行政官廳ノ許可ヲ受ケマスレバ、之ニ對シテ運用ノ途モ講ジテヤル、固ヨリ利子モ附ケマスケレドモ、勞働者ノ福祉ノ爲ニハ運用モ認メテ居ル、其他ノ金ニ付キマシテハ或ハ郵便貯金デアリマスカラ、或ハ銀行預金デアリマスカラ、金錢信託デアリマスカラ、一般ノ經濟界ニ積立テ運用サレルノデゴイマスカラ、此金ハヤハリ死藏ニハナラナイ、適當ノ明ルイ途ニ流用モシ得ルト云フコトニナル、其金ヲ使ハレテハ困ルカラ、資金確保ノ爲ニ已ムナク罰則ヲ設ケタ、斯ウ云フ立前ニナッテ居リマス

○小山委員 内相ノ御答ハ御尤デアリマス、之ヲ流用サセルト云フコトモ御尤デアリマス、併シ從來サウ云フ積立金ハ流用スルヤウニ習慣付ケラレテ居リマス、例ヘバ高利貸カラ金ヲ借りナケレバナラヌトカ、僅カノ金デ此工場ガ潰レルト云フ場合ニハ、ヤハリ手ノ付ケ易イ所ニ付ケル、サウ云フ場合ニ勞働者ノモノデ、分ケベキモノデ

アルカラト云フノデ、斯ウ云フ規則ヲ設ケテ置イテ、ソレニ對シテ刑罰ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ事業家ニ對シテ餘程脅威ヲ與ヘルト思フ、同時ニ罪人ヲ澤山出スコトデアリマスカラ、私はハーツノ前提デアリマスガ、斯様な金ヲ積立サセルト云フヤウナコトヲスルナラバ、他ニモット良イ方法ガナイカ、モット徹底的ニ勞働者ヲ保護サセル方法ガナカラウカ、是ハ私ノ一ツノ暗示デアリマシテ、後程關聯シテ申上ゲル積リデアリマスガ、寧ロ是ハ全然分離シテ事業主ガ使ヘナイヤウナ風ニシタ方ガ、勞働者ヲ救済スル所以ニナル、罪人ニスルヨリ寧ロ分離シタ方ガ宜イ、併シ分離シタダケ、ソレダケ此率ヲ少クスル必要ガアル、分離シテ死藏サセルダケ率ヲ少クスル、分離サセズニ利用サセルト仰シヤイマスケレドモ、銀行預金ト云ヒ、信託預金ト云ヒ、郵便貯金ト云ヒ、事業主カラ見レバ斯ウ云フ金ニ使ハセルコトハ禁物デス、モット儲カル利率ヲ考ヘテ居ル、郵便貯金ノ三分ノ利息トカ、銀行預金ノ二分一厘ノ利息トカ、信託預金ノ三分七厘、國債ノ三分五厘ト云フモノハ事業家ハ考ヘテ居リマセヌ、ソレニ關聯致シマス、二十一條ニ於キマシテ「事業主豫メ確實ナル方法」ト云フコトヲ

言ッテ居リマスガ、確實ナル方法ハ、寧ロ事業主ノ方ガ考ヘテ居ル、斯ウ云フコトデハ高イ利息ヲ借りテ、低利ニ投ゼサセルノデアリマスカラ、相當溜ッテカラ、其金ヲ使ッテシマフ、先程政府委員ニ御尋致シマシタ通り百分ノ二ト云フ金ハ最初ハ少イノデアリマスガ、段々積重ナッテ行クト大キナ金ニナル、其大キナ金ガ目ノ前ニブラ下ッテ居ル、其金ニ手ヲ付ケル、先程申シマシタル通り産業組合ハ検査ノ時ニ見セ金ヲ持ッテ來テ、内容ガ悪クテモサウ云フ金ヲ使フト云フコトガアル、銀行ノ検査デモヤハリ見セ金ヲスル、銀行ノ検査ト云フヤウナヤカマシイ業務スラ金ガ他ニ流用サレルノデアリマス、況ヤ中小工業者ノ餘リ資金ノナイ、資金ノ足りナイ、サウシテ斯ウ云フ方面ニ付テハ寧ロ亂暴ナ考ヲ持ッテ居ルサウ云フ人ニ、茲ニ法律ヲ制定スル場合ニ、斯ウ云フ金ヲ使フ虞ノアルヤウナ、猫ニ鯨節ヲ與ヘルコトハイカヌデヤナイカ、寧ロ之ヲ別ニ流用サセナイ方法コソ、却テ勞働者ヲ保護スル趣旨ニ適ヒヤシナイカ、ダカラ或ル方面ニ於テハ此法律ハ恰モ事業主ヲ犯罪ニ陷レル所ノ、善意ノ考デハアリマスケレドモ、此犯罪人製造法ダト云フヤウナ惡口ヲスル人ガアルノデアリマスカラ、此點ニ付テ私

ハ十分考ヘテ戴キタイト思フノデアリマス、ソレデ第二ノ問題ニナリマスガ、實ハ先程午前中加藤君カラモ詳細ニ御質問ニナッタヤウデアリマスガ、私共中小工業ノ此狀態ヲ見テ居リマスルト云フト、殊ニ個人ノ事業ヲ見テ居リマス、三十人前後ノ工場ニナリマスルト、自分ノ家ノ事業ノ利益ガ一體アルノカナイノカ、見當ガ付カヌ人多イノデアリマス、實際儲ケテ居ルノカ儲ケテナイノカ、サウ云フ帳簿ノ甚ダ不完全ナモノガ多イノデアリマス、ソコデ足利方面ニ於キマシテハ、自分デ勘定ガ出來ナイノデ、誰カ勘定ノ出來ル人ニ頼ンデ、サウシテ自分ノ家ノ利益ハ大體此位ノ程度ダト云フコトヲ人カラ教ヘラレテ、人ニ帳面ヲ付ケテ貰ッテ、サウシテ共同申請ト云フヤウナ事實ガアル、自分デ計算ガ出來ナイデアリマスルカラ、サウ云フ所ニ此細カシイ勘定ヲサセル、退職手當ノ、例ヘバ積立金ガ株式會社ニ於テハ配當率ノ百分ノ五以上トカ、ソレカラ個人ニ於テハ事業ノ出資ノ幾ラトカ、殊ニ百分ノ六十ガ五千圓以上ニ當ッタ場合ニハ、此積立金ノ割増ヲサセルト云フヤウナ、サウ云フ計算ガ細カニ今日ノ此工場者ニ、是ハ出來ルカドウカ、先程岡本

君ノ御質問ニ對シマシテハ、法律ノ施行ノ準備トシテ、一年位ノ大體準備ヲシテ、來年ノ五六月頃カラ實施スルト云フ御話デアリマスガ、ソレハ政府ノ準備ハ出來ルデアリマセウガ、併ナガラ此法律ニ應ヘル工場ノ主ガ、是ガ丁度當嵌マルヤウニ工場主ノ方ガ準備ガ出來ルカドウカ、此準備ニ外レバ直チニ三年以下ノ懲役或ハ千圓以下ノ罰金、三百圓以下ノ罰金、皆是ハ罰金ガ科サレテ居ル、サウシテ事業家ヲ教ヘナイデ、政府ノ方カラ高飛車ニ斯ウ云フ難解ナ法律ヲ出シテ、サウシテ茲ニ多數ノ罪人ヲ事業主ノ間ニ作ルト云フコトハ、是ハ餘程考フベキ事柄デヤナイカト云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマシテ、此點ニ付テ先ツ内務大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○潮國務大臣 御話ハ御尤ニ思ヘルノデアリマスガ、御趣意ハ、私共ノ肚モサウ變リハナイノデ、此金ヲ使ハレチャ困ルノデス、使ハレテハ其目的ヲ達シナイ、ソレデ分離ヲサセルガ宜イト云フ御話デアリマスガ、是ハ絶對ニ分離ガドウ云フ風ナ形デ出來マスカ、其考案ヲ一寸私ハ持チマセヌガ、(小山委員(其處ヲ考ヘテ戴キタイ)ト呼フ)其處ハ又御示ヲ願ッデ専門ノ者ニ研究サセルコトノ餘地ガアルト思フノデアリマス

レドモ、併シ其分離スルト云フコトノ御趣意ハ同ジデアリマス、分離シテ、而モ使ウテ貰ッテ困ル、斯ウ云フ風ニ、起案シマシタノハ、或ル程度ノ分離ヤル、分離ハ積立タモノヲ（小山委員「分離スルガ使ハルヤウニナッテ居ル」ト呼フ）ソレガ使ハレ

○熊谷委員長 相互ノ問答ハ禁ジマス

○潮國務大臣 ソレデ使フヤウニナルト云フ御話デアリマスガ、ソレガ使フヤウニナッテ困ル、使ハレテヤ目的ガ達セラレナイト云フコトニナルカラ、或ハ自己ノ財産ヲ望マシクハナイガ罰則デ抑ヘルト云フヨリ外ニハナイト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ小サイ工場ノ方ノ御話モ政府ノ準備モ左様デアリマスレドモ、來年一月頃カラ施行スルコトニナリマスレバ、事業家ノ方ニモ相當ノ準備ガ出來ヨウシ、色々ナ計算期ト云フヤウナモノモ、サウ毎月毎月、十二回モヤルト云フコトニセヌデモ宜シイノデアリマスカラ、一年ニ一回トカ二回トカ、適當ナ時期ヲ決メテヤレバ宜イノデアリマスカラ、サウ始終面倒モアルマイ、此程度ノコトナラバ、法文ヲチョット讀ンデ見レバ面倒デアリマスガ、能ク實際ニ當リマシテハ、三十人程度ノ人ヲ使ハレ

テ居ル所ナラバ、サマデヒドイ苦痛ヲセズニ實行出來ル、斯様 考ヘテ居リマス、細カイコトハ又政府委員カラ能ク申上ゲマスコトニナル、大臣ノオ居デノ内ニ御伺ヲ致シテ置キタイ點ガアリマス、先程モ他ノ委員ノ諸君カラ勞働爭議ヲ激發スルモノダト云フコトガ言ハレマシタガ、何セヨ此條文ノ各所ニ勞働者ガ許可ヲ受ケル場合モアルシ、勞働者ガ此事業ノ内容ニ介在スル箇所ガ非常ニ多イノデアリマスカラ、今日ハ御承知デモアリマセウガ、此色々ナ問題ニ付テ辯護士ガ、或ハ其外ノ團體ガ、會社ヘ色色相談シテ行クコトガアル、相當ナ會社デアリマスナラバ、辯護士ガ之ニ對抗シテ色々答ヘルヤウナ場合モアリ、或ハ小サイ事業家デアリマスルト、用心棒ナンカラ置イテ、サウシテ之ニ對抗サセテ居ルノモアル、此法案ヲ見マスルト、一體會社ニ於テハ超過配當ノ率ハ一體ドレダケデアルカト云フコトニ付テモ、勞働者ト資本家ノ間ニ議論ガ起ル、事業ニ於テハドノ程度ヲ以テ收益トスルカ、ドノ程度ヲ以テ儲タモノトスルカト云フヤウナ點ニ付テモ、多クノ議論ガ起ルノデアリマス、サウ云フ場合ニハ必ズ勞働者ガ誰カニ相談スルト云フコトニナル、茲ニ第三者ガ介入シテ勞資ノ間ノ

問題ヲ解決スルト云フ其機會ヲ與ヘル、而モ其機會ハ今マデハ直チニ之ヲ擊退スルコトガ出來タノデアリマスガ、今度ハ法律ノ根據ガアル、法律ノ後押シデ以テ斯ウ云フ第三者ノ介入ガ容易ニナルト云フコトニナルノデアリマスカラ、先程モ加藤君カラ御説ガアッタヤウニ伺ヒマシテ、洵ニ傾聴シテ居ッタノデアリマスガ、決シテ是ハ其間ニ餘裕ヲ置カナイ方ガ宜イ、餘リ親切過ギテ却テ茲ニ混雜ヲ起サセル、皆サン方ノ頭カラ御考ニナレバヤハリ利益ノアッタ時ハ澤山積マセタ方ガ宜イ、ソレハ尤モデス、併ナガラ利益ガアッタカナイカ、其利益ヲドノ基礎ニ於テ算定スルカト云フヤウナコト、ソレカラ此勞働者ニ對スル退職積立金ヲ拂戻ス場合ノ是ハ根據デアリマス、是ハドウシテモ爭ニナル、デアルカラ成ベクハ、マダ慣レナイ、而モ慣行々々ト申シマスガ、慣行ノ方ナラ、ヤッデモヤラナクテモ三年以下ノ懲役ニ付セラレナイ、サウ云フ刑罰ハ受ケナイ、三千圓以下ノ罰金ヲ受ケナイノデアリマス、ダカラ慣行ヲ尊重スルト云フコトハ宜イノデアリマス、成ベク犯罪者ヲ出サナイヤウニ組立テルコトガ必要デハナイカ、サウ云フ意味カラ申スナラバ、此割合ト云フモノモ動カナイ程度ニシタラ宜イデ

ハナイカト云フ考ヲ私ハ持ツノデアリマスコト、此點ニ付テ大臣ハドウ云フ風ニ御考ニナリマスガ

○潮國務大臣 此法律ノ中ニ勞働者ノ同意ヲ要スルト云フヤウナコトモ無論ゴザイマスガ、ソレハ勞働者ノ積立テ、居ルモノヲ運用シヨウト云フモノダカラ、勞働者ノ同意ヲ得ナケレバナラヌノデアリマス、其他ニ於キマシテ或ハ勞働紛爭ヲ起ス虞ガアルト云フ御話デアリマスガ、實ハ勞働ノ紛爭ヲ少クシヨウトシテ立案シテ居ルノデアリマス、是ハ配當金ノ如キモ、外ニ現レルモノデアリマスカラ、客觀的事實デ分リ易イ、或ハ神様ノ目カラ見レバ、モウ少シ利益ガドウスウト云フコトガ分リマセウガ、人目ヲ異ニスレバ意見モアルカモ知レマセヌ、ソコヘ行ケバ紛爭ヲ捲起シマスカラ、配當ナラ配當ト云フハッキリシタモノヲ抑ヘテ居ル、純益ノ計算ニ付テモ是ハ専ラ事業主ノ決定ニ依リタイ、併シソレガ著シク、不當ダト云フ場合ニハ更正ヲ命ジサセル、サウシテ其場合ニハ、或ハ營業收益稅ヲ納メテ居ルヤウナナラバ、營業收益稅ノ決定ニ從ッテ行ク、然ラザル場合ニ於テハ、之ニ準ジタ方法ニ依ッテ更正ヲ求メル、ソレガ爲ニ法ガ根據ヲ與ヘルノデアリマシテ、勞

働爭議ヲ援ケルト云フコトニハナラナイ、能ク其眞意ヲ徹底サセレバ労働者モサウ云フコトハ争ハナイ、又争ヘバ、ソレハ無理デアル、労働紛争ハ寧ロ止メタイノガ立法ノ趣旨デアリマス

○小山委員 昨日ノ大臣ノ本會議ニ於ケル御回答ニモ斯様ナ點ガアリマシテ、ソレハ勿論サウ云フ問題ヲ防グガ爲ニ出來タ立法デアリマスガ、此立法ノ内容ヲ見ルト、アナタ方ガサウ御考ニナッテモ實際問題トシテハサウ云フコトガ起リ得ル、起リ得ナイト云フコトハ、餘リサウ云フコトノ起ラナイ机ノ上デ、一室デ作ラレタ法律デアリマスカラ、サウ云フ問題ニハ御觸レニナラナイカラデアリマセウガ、實際問題トシテハ起リ得ルヤウニ私共ハ考ヘルガ、併シ此點ハ意見ノ相違デアルト言ヘバ、是ハ致シ方ナイコトデアリマス、又後ノ機會ニ讓ルコトニ致シマシテ、私ハ最後ニ大臣ニ御尋致シタイ一點ガアルノデアリマス、此法律ハ三十人以上トシテアリマスガ、三十人以下ハドウナサルノデアルカ、是ハ三十人以下ハ此法律ニ依ッテ積立金ヲ保護シナイト云フ意味ニナルノデアリマスガ、其立法ハ他日ニ御譲リニナルノカ、今回ハ此程度デ置クノカ、實ハ今日日本ノ工業ノ主ナルモノ

ハ中小工業デアリマシテ、其中小工業ノ工業物ハ十七億圓以上ニモ達スルト云フノデ、輸出品ノ殆ド中樞ヲ成シテ居ル、一方ハ大資本ノ壓迫ヲ受ケ、一方ハ又斯様な法律ノ壓迫ヲ受ケルト云フコトニナレバ、中小工業者ノ壓迫ト云フモノハ加重サル、コトニナルノデアリマス、ソコデ私ハ此退職手當ヲ保護スルト云フ層ハ、寧ロ三十人以上ノ小工場ニアリハシナイカ、三十人以下ノ小工場ニコソ此規則ガ必要デアル、然ルニ其方ノ規則ノ方ハ抛ッテ置イテ、サウシテ三十人以上ト云フモノダケ保護スルト云フノデアリマシテ、而モ此三十人以上デモ相當中小工業者ニハ打撃ガアルガ、事業家ニ對スル打撃ト云フモノハ、單ナル金錢ダケノ打撃デハアリマセヌ、政府カラ法律デ以テ壓迫サレルト、壓迫ガ非常ニ大キイノデアル、少シ他ニ外レマスガ、今日滿洲ニ於テ色々ナル法律ヲ作ッテ居ル、今マデハ支那人ハ子供ヲ産ンデ、此子供ヲ賣買スルコトハ當然ト考ヘテ居ル、然ルニ戶籍法ト云フモノガ出來テ、隅ッコマデ行ッテ名前ヲ書付ケル、又今マデハ自由自在ニ山デモ、石デモ掘レタガ、今度鑛業法ト云フモノガ出來テ之ヲ制限シタ、自由ニ掘レルカ掘レナイカハ別ト致シマシテ、兎ニ角法律デ壓迫サ

レテ、何デモ彼デモ日本ノ工場ニ基準ヲ與ヘテ、統制ヲ與ヘテ居ルト云フコトガ苦痛デアル、自分ノ從來ノ慣行ニ從ッテ相當ノ積立金ヲシテ、勞資ノ協調ヲ保ッテ行クト云フ慣行ガアッタラ、何等ノ壓迫ハ感ジマセヌガ、斯ウノダカラ之ヲ法律ニスルノダ、今マデヤッテ居ッタノヲ法律ニスルノダ、是ハ尤モカ知レマセヌガ、ソレヲ法律ニシタ爲ニ、今マデハ三年間ノ懲役ヲ受ケルコトガナカッタ、又例ヘバソレヲ使ヒマシテモ、三千圓以下ノ罰金ニ處セラレルコトガナカッタ、結果ハ同ジデ、而モ斯ウ云フコトヲ作リマシテモ、先程申シマシタヤウニ、從來流用シ勝チノ此積立金ト云フモノハ、猫ノ前ノ經節ノ如クデアアルノデアリマス、ソレヲ犯セバ犯罪ヲ構成スル、成程横領罪ノヤウナモノデアッテ、横領罪ヨリ輕イ罰金ヲ科スルノダカラ宜シイト、斯ウ言フノデスガ、サウ云フ法律ヲ作ラレルコトガ非常ニ迷惑デアリマス、却テソレニ壓迫ヲ感ズル、此壓迫ヲ防グガ爲ニ、從來ハ大幅帳ヲ使ッテ居ッタノガ、今度ハ最新式ノ帳簿ヲ使ハナケレバナラス、是ガ爲ニ高給ノ人ヲ又雇入レナケレバナラス、是ガ爲ニ警察ノ監督ヲ受ケル、或ハ是ガ爲ニ又府縣廳ノ工場課ノ人ノ來訪ヲ受ケテ、サウシテ煩瑣ナ報告ナ

リナンナリヲ作ラナケレバナラス、此煩瑣ガ非常ニ困難ヲ感ズルノデアリマス、此壓迫ノ中ニ、此壓迫ヲ刑罰ニ依ッテ具體化シタト云フコトガ、私ハ相當ノ打撃デアルト思フノデアリマス、而モ三十人以上ノ會社ニ於テハ慣行ニ從ッテ所謂積立金ヲ支拂ハセルト云フ、其實益ヲ舉ゲルト云フコトハ固ヨリデアリマスガ、此實益ヲ舉ゲル場合ニハ、寧ロ三十人以上居ル所ニナルト相當ノ帳簿モ揃ッテ居ルシ、相當ノ經驗モ積ンデ居リマセウ、寧ロ三十人以下ノ方ガ相當ノ労働者モ居ッテ、サウシテ積立金サヘ支拂ヘナイデ夜逃ラスル者モアル、材料ヲ買入レル金モナイ、或ハ賃銀ヲ拂フ金モナイ、手當モ呉レナイト云フヤウナモノハ寧ロ三十人以下ニ多イト私ハ思フノデアリマス、今度ノ法律ハ社會立法トハ申セ之ニハ觸レナイデ、三十人以上ニ觸レテ居ルノデアリマスカラ、私ハ此法律ハマダ熱シテ居ナイモノデアアル、社會ニ對シテハ大キナ波紋ヲ起シテ居ル所ノ立法デアリマスケレドモ、實際ニ於テハ労働者ノ保護ハマダ足りナイ、一方ニ於テハ非常ナ資金ヲ死藏サセルヤウニナッテ、商工金庫デハヤット中小商工業者ヲ保護スルト云フノデ、三百萬圓程度ノ資本金デ、是ハ政府ノ大キナ政策ノ如ク思ハ

レテ居リマスガ、或ル方面デ計算致シテ見マスルト、此積立金ハ實ニ二千萬圓ニ達スル、此二千萬圓ノ金ヲ工業ニ使ハセナイデ、銀行預金カ公債ニ使ハセテ、一方ニ於テハ中小工業者ノ興隆ヲ圖ルト云フ、一體事業ヲ保護スルノガ目的カ、労働者ヲ保護スルノガ目的カ、其點ニ付テハ私ハマダ内務大臣ト商工大臣ノ間ニ意見ノ一致ガシナイ點ガアルデアラウ、マダ議ノ熟セナイ點ガアラウト思ヒマスカラ、私ハ此點ニ付テ内務大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○潮國務大臣 重ネテノ御質問デゴザイマスガ、是ハ商工大臣ト私ト意見ハ能ク一致シテ居ルノデアリマス、端的ニ申上ゲレバソレハ直接ニ保護ヲスルノハ労働者デス、労働者ノ保護ヲスルト云フコトガ延テ又産業ノ發達ニ貢獻ヲスルノデアリマス、サウ云フ趣意ハ少シモ兩者ノ間ニ扞格ハナイト御承知願ヒタイ、ソレカラ三十人ト云フ人數ニ付キマシテノ御話デゴザイマスガ、是ハ寧ロ其御話ノ反對ニモ考ヘラレルノデアリマス、個々ノ労働者ノ立場カラ申シマスレバ、自分ガ三十人以上モ備ッテ居ル雇主ニ使ハレマセウトモ、サウデナクテモ、退職時ノ不安——生活ノ安定ヲ希望スルコトハ、是ハ個々ノ労働者カラ見レバ、寧ロ同

一デス、小サイ仕事ニ従事シテ居ッテモ、ヤハリ保護サルベキモノハ保護サレタイ、退職給與金ヲ貰ヒタイト云フノガ實情デヤナイカト思フ、其點カラ申セバ寧ロ三十人デヤイケナイト云フ御説、或ハ御趣意ガ違フカ知レマセヌガ三十人ハイカヌカラモット下ゲロト云フ論モ一應ハ成立ツト思フ、併ナガラ此法案ハ労働者バカリノ方ニ没頭スル譯ニ行カヌ、事業ノ發達ヲ阻碍スルコトハイケナイ、事業ノ發達ヲ阻碍シマスレバ、又是ガ延テ労働者全體カラ申セバ損害ニモナルノデアリマス、事業ノ發達ノコトモ考ヘ、労働者ノ立場カラモ考ヘテ、先ヅ三十人ト云フ所デ大體宜シカラウ、斯ウ考ヘルノデアリマス、若シ三十人以下ノ工場等ニ於テモ、親切ナル事業主デアリマシテ、何トカ労働者ノ爲ニ圖ッテヤリタイト云フコトデアリマスレハ、茲デ一律ニ強制ハ致シマセヌケレドモ、第三條ノ規定ヲ御覽下サイマスレバ、準備積立金ノ制度ヲ設ケテアル、此制度ニ向ッテ法律ハ保護ヲ加ヘ、隨テ又労働者ノ保護ニモ當ルト云フヤウナ仕組ニ致シテ居リマス、併シ御述ベノコトハ寧ロ三十人以下ノ工場ニ向ッテ、全體的ニ強制サセヨウト云フ御趣意デアリヤウニ伺ヒマシタケレドモ、ソレハドウモ先程申上ゲマ

スルヤウニ、餘リニ小サイ事業ニ難シイ拘束ヲ加ヘルト云フコトハ、事業ノ發達ヲ害シ、又延テハ労働者ノ爲ニモナラヌト云フコトデアアルノデアリマス、ソレカラ從來ノ慣行ナラバ慣行其儘デ宜シクハナイカト云フノガ今日迄ノ行キ方デアリマス、其慣行ガアルカラ、其儘置クト云フコトガ今日迄ノ行キ方デアアル、此立法ヲ致シマスノハ、慣行ダケデ放ッテ置クノモ一ツノ方法カモ知レマセヌケレドモ、ソレデハドウモ普及シナイ、一般ノ工場、鑛山ニモウ少シ普及シナケレバ、労働者保護ニ足リナイ、又實際ノ今日迄ノ慣行ノ中デモ、或ハ支給規定ヲ設ケテ居リマシテモ、色々ソレニ對スル判斷ナリ、支給ノ方法ト云フモノガ合理的ニ行ッテ居ラス、或ハ事業主ダケノ考デ行ク場合ガ多イ、而モ積立金ト云フ資金ヲ確保スル制度ガ立ッテ居リマセヌカラ、何分ニモ働ク者ノ上カラ言ヘバ、不安デ堪ラナイト云フコトガアリマスノデ、慣行ハアルケレドモ、其慣行ノ美點ヲ捨テズシテ、之ヲ普及サセ、サウシテ又積立金ノ制度ヲ設ケテ置イテ合理化ヲサセテ行クト云フコトニナリマシタノデ、慣行ノ儘デ置クト云フコトナラバ法律ノ問題ハ起ラスノデアリマス、ソレガドウモ困ルト云フコトデ法制化シタ

ト云フ次第デアリマス
○小山委員 私ハ内務大臣御議論ノ如ク、三十人以下ノ工場ニ之ヲ許シタ方ガ宜イト云フ意味デハナイノデアリマシテ、慣行ヲ其儘法律化スルノデアリマスカラ、寧ロ此慣行ハ三十人カ、或ハモットソレ以上ノ工場ニ其儘法律化スル方ガ、實際法律ノ簡條ヲ現ハスニハ便利デヤナイカト思フ、ソレデカラソレ以下ノモノハ寧ロ政府ハ指導獎勵スル意味デ、各小工場ニ於テ退職手當ノ内規ヲ作レ、其内規ヲ作レト云フコトヲ何年カ掛ッテ獎勵ヲシテ、サウシテソレヲ政府ニ届出サセル、サウシテ政府ガ其届出モ段段完備シテ來タ、段々此問題モ諒解シテ來タ、サウ云フ場合ニ於テ私ハ多少ソレヲ法制化スルト云フヤウナ準備ガ必要デヤナイカ、サウ云ツタ意味ヲ含ンデ居ルノデアリマス、三十人以下ノ方面ハ届出位ノ程度ニシテアルコトモ、或ハ其積立金ヲ相當確保スル手段デヤナイカト云フ風ニモ考ヘルノデアリマシテ、何ダカ此案ハ全體ヲ通ジテ不徹底デアリ、甚ダ杜撰デアリ、而モ此小事業者ニ對シテ甚ダ過當ヲ強ヒルモノダ、難シイ煩瑣ナ事實ヲ強ヒルモノダ、政府當局ノ方ハ簡單ニソレハ政府當局ガヤレト云フヤウナコトヲ仰シヤイマスケレドモ、政府

ノ監督ノ手ト云フモノハサウ伸ビルモノデ
ハナイ、指導ト云フモノハサウ伸ビルモノ
デヤナイ、政府ニモ其準備ガアル、民間ニ
於テモ其準備ガアル、而シテ直チニ斯様ナ
苛酷ラシイ法律ヲ強ヒルト云フコトハ、徒
ニ罪人ヲ製造シ財界ヲ攪亂シ、殊ニ中小工
業者——中小工業者ハ殆ド日本ノ中心ノ事
業トナツテ居ル、此中心ノ事業ノ發達ヲ期サ
ナケレバ輸出貿易ニモ影響スル、サウ云フ
時代ニ斯ノ如キ法律ヲ突如トシテ出シテ、
過當ヲ強ヒル結果ニナリハシナイカ、斯ウ
云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、其點
ニ付テ内務大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイノデア
リマス

○潮國務大臣 今ノ三十人以下ノ工場等ニ
付ニマシテノ御話ハ私モ大體サウダと思フ
ノデアリマス、三十人以下ノ工場ニ今法律
デ強制スルコトハ、是ハ難シイノデゴザイ
マスルカラ、篤志ナ事業家ガアツテ、第三條
ヲ利用シテ呉レラレテ、サウシテ労働者ノ
保護ノ爲ニ準備積立金ノ制度モシテ呉レ、
バ大變望マシイコトダと思フ、併シソレハ
法デ強制致シマセヌカラ、段々ト獎勵シタ
リ勸誘シタリシテ、サウシテ行ク、アナタノ
御話ハサウ云フ準備ガ出來タ曉ニ、初メテ
法律ヲ以テシタラ宜イデヤナイカト云フ御

結論ノヤウデアリマスケレドモ、ソレハ又
追々ニサウ云フコトニ漸進スルカモ知レマ
セスケレドモ、ソレノ出來ル迄三十人以上
ノ工場ノモノヲ捨テ、置ケト云フ、又反對
ノ結論ニハ直チニハ飛入レナイ、一應出來
ル見込ノアルモノヲヤリマシテ、他ノ方ハ
獎勵ナリ勸誘デ進シテ行ッテ、或ル時期マデ
行キマスレバ、又法律ヲ以テ規律スルト云
フコトモ起ルカト存ジマス

○小山委員 私ハマダ材料ヲ拜見シテ居リ
マセヌカラ、材料ヲ見テ又御質問申上ゲル
カモ知レマセヌガ、先ヅ私ハ是デ打切りマ
ス

○松村委員 議事進行ニ付テ一寸——只今
配付ヲ受ケマシタ此書類ニ付テ、議事ノ進
行上必要ト思ヒマスガ、此處ニ戒告件數ト
アリマスノハ、形式犯ヲ含シテ居リマスカ
ドウデスカ、政府委員ニ伺ヒマス——御調
ベデアリマシタナラバ私ノ方カラ御註文致
シマス、此戒告件數ト云フダケデハ一切分
リマセヌ、ソレ故ニ戒告件數、竝ニ處罰件
數ノ内譯ノ明細表ヲ、是ハ本案ヲ審議スル
上ニ於テ非常ニ重要ナコトデアリマスガ故
ニ、明朝迄ニ至急御提出ヲ煩ハシマス

○熊谷委員長 田尻君

○田尻委員 私ハ本案ノ取扱ニ付キマシテ

内務大臣ニ御伺致シタイと思ヒマス、失業
救済ノ爲ニ相當ノ退職金ヲ與ヘルト云フコ
トノ必要ハ申スマデモナイノデアリマシ
テ、我國ニ於キマシテハ是ガ從來事業上ノ
温情ノ下ニ慣行トシテ行ハレテ參ッタノデ
アリマス、是ハ我國獨特ノ美風ト言ハレテ

居リマスガ、併ナガラソレヲ法制化スルト
云フコトニ付キマシテハ、私ハ少シモ反對
ノ意見ヲ有シナイノデアリマス、唯併ナガ
ラ本案ノヤウナ仕組ニ於キマシテ、此法律
ノ適用ヲ受ケル者ハ事業主ト労働者デアリ
マス、労働者ト致シマシテハ是ハ殆ド無條
件ニ利益ヲ受ケマス、所ガ事業主側ニナリ
マス、經濟上ノ負擔、ソレハ或ハ從來ノ
慣行、又規程ニ依ッテ相當ノ負擔ハシテ居リ
マセウガ、之ヲ一般化スル場合ニ於テ、事
業主全體トシテハ經濟的ノ負擔ヲ加重サレ
ルコトハ申スマデモナイノデアリマス、ノ
ミナラズ從來温情主義ノ下ニ、労働者トノ
間ガ何トナク滑カニ行ッテ居ッタモノガ、法
制化致シマシタ關係上、權利義務ノ觀念デ
以テ接觸シナケレバナラスト云フコトニナ
リマスノト、其外色々是ガ法律デ縛ラレル
ト、何モ必シモ罰則ノ規定ト云フダケデハ
アリマセヌ、非常ニ從來ヨリ自由ヲ束縛サ
レル、ソレハ法制化サレルノデアルカラ、

當然デアリマスガ、其點デ私ハ事業主ハ相
當ニ苦痛ヲ覺エルト思ヒマス、ソレデアリ
マスカラ、此事業主側ニ對シテハ十分ノ理
解ト同情ヲ以テ立法スル必要ガアルト思ヒ
マス、併ナガラ事業主ト雖モ亦國家的見地

ニ立ッテ、單ニ是ハ労働者ダケノ利益デヤナ
イ、一般ノ社會平和ノ爲ニ、又健全ナル產
業發達ノ爲ニモ相當役立ツコトハ申スマデ
モナイノデアリマススケレドモ、差當リ目先
ノコトヲ言ヘバ、私先程申シタ通りデアル、
ソレデ本案ノ如キ社會立法ヲ爲サル場合ニ
於テハ、色々失業對策委員會トカ、或ハ參
與會議トカ云フモノガアリマセウケレド
モ、ソレ以外ニ於テ出來ルダケ——何モ秘
密ニスル必要ハナイト思ヒマスカラ、各方
面ノ意見ヲ徵シ、殊ニ事業主、使用者側ト
ハ圓滿ナル協調ヲ遂ゲテ、サウシテ立案サ
レテ之ヲ議會ニ御提出ニナルト云フコトニ
御運ビニナルノガ、私ハ一番穩當ナヤリ方
デハナイカト思ヒマス、本案ニ付キマシテ
ハ先達テカラ全產聯側ト社會局側ト、頻リ
ニ文書宣傳ヲヤッテ、一方ノ不信ヲ鳴ラシテ
居ラレルヤウデアリマシテ、是ハ洵ニ苦々
シキ沙汰ト言ハナケレバナラスト思フ、ド
チラガ果シテ是デアルカ、ドチラガ非デア
ルカハ知りマセヌケレドモ、少クトモ本案

ノ如キ社會立法ヲ爲スニ付テ、最モ必要ナ側ト、利害關係ヲ有スル側ト十分ノ協調ガ遂ゲラレズシテ提案サレタト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ存スルノデアリマス、又一方ニ於キマシテハ、勞働者側ニ於テモ不滿ヲ持ッテ居ル、現ニ昨日塚本君ガ本會議ニ於テ質問サレタ内容ヲ承ッテ見マシテモ、相當ニ不滿ノヤウデアリマス、而モ本案ノ要綱ニ付テハ内務省ノ參與會議ニ附議サレタト云フコトデアリマスルガ、此參與會議ニハ勞働者側ハ入ッテ居ナイト云フコトデアアル、勞働者ハ單純ナル受益者デアッテモ、ヤハリ相當ノ意見ヲ述ベサシテ、立案ニ參與サセルダケノ機會ヲ御與ヘニナルコトガ、相當ナコトデヤナカラウカ、サウ云フ意味カラ申シマシテ本案ノ如キ重大ナル、而モ今日此儘之ヲ成立セシメタ曉ニ於テハ、社會局ハ勞働者側ノ味方ダト見ラレテ居リマス、又其背後ニハ勞働組合モアル、斯ウ云フ風ニ言ハレテ居ル、全產聯側ハ事業主ヲ代表シテ居ル、資本家代表ノ機關デアルト言ハレテ居ル、此兩方ノ間ニ對立抗爭ノ事實ガアルト云フコトハ、勞資ノ間ニ對立抗爭ノ模範ヲ示スヤウナモノデアアル、之ニ拍車ヲ掛ケルヤウナコトニナリハシナイカ、勞働部長ハ、本案ノ制定ニ依ッテ恐ラク將來獨リ

退職手當ニ付テ爭議紛争ガ根絶スルノミナラズ、非常ニ勞資間ヲ滑カニスルデアラウト云フヤウナ趣意ノコトヲ御述ベニナッテ居リマスケレドモ、私ハ段々内容ヲ檢討シテ見マシテ、果シテサウ行クカドウカ頗ル疑ハシイ、デアリマスカラ本案ノ如キハ、先程申シマシタヤウナ趣意カラ言ヒマシテモ、又之ヲ適用スル所ノ利害關係ヲ有スル方面ニ對シテモ、十分ニ盡スダケノ手段ヲ盡シテナイ、サウ云フ意味ヲ以チマシテ本案ハ一應御撤回ニナリマシテ、之ヲ通常議會ニ提出スル、ソレマデニ十分ニ勞資双方ノ意見ヲ調和シテ、サウシテ本院ニ於テモ圓滿ニ、願ヘレバ無修正デ政府原案通りニ協賛ヲ得ラレマスルヤウニ私ハ希望致シマスルガ、サウ云フコトニ内務大臣ハ御考ニナラヌノデアリマセウカ、此點ヲ御伺致シマス

○潮國務大臣 今ノ法案ヲ今日出シマスル經過ニ付キマシテハ、度々繰返シテ御質問モアリ、私ノ考ヘモ御答ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯經過ノ中ニ於テ洵ニ遺憾ニ存ズル次第モ出來タト云フコトハ、吳々モ残念ニ存ジテ居リマスガ、併シ私共任官致ス前カラ、斯ウ云フモノハチラノ新聞紙上デハ拜見致シテ居ッタ、參與會議ニ掛ケタ案

デハ必シモ妥當デハアリマスマイガ、色々ナコトガ新聞ニ見エテ居ッタ、分ラヌナガラモ吾々モ、相當關心ヲ持ッテ居ッタノデアリマシテ、恐ラク其方面ノ方ハ、事業主ノ方モ、勞働者ノ方モ然ルベク研究ヲ爲サレテ居ッタノデハナカラウカ、又參與會議ニ出ルニ當ッテハ自然各方面ニ其内容モ知レマサルシ、ソレカラ進ンデ研究サレタ向モアリマセウシ、偶々參與會議ノ決定ト違ッタモノガ現ハレマシテモ、是ハ色々世間ノ批評モアルノデアリマスルカラ、其筋ニ於テハ相當ニ此詮議ハ進ンデ居ルモノデアルト、私ハ斯様ニ考ヘテ居リマス、併シ事態ハ甚ダ遺憾ニ考ヘテ居リマス、左様ナコトデアリマスルカラ、ドウカ私トシテハ此案ハ圓滿ナル進行ノ下ニ御協賛ヲ得ラレンコトヲ切望致シテ居リマス

○田尻委員 本案ヲ御撤回ニナル御意思ガナイトスレバ、其點ニ付テ幾ラ追窮シテ見テモ無益ダト思ヒマスルガ、唯一言既ニ昨年未ニ略々決定サレテ世間ニモチラホラ現レテ居ッタト云フコトデ、相當ニ利害關係ヲ持ッテ居ル方面トハ協調シテ、諒解ガ遂ゲラレテ居ルカノヤウナ御口吻デアリマシタケレドモ、サウデナイト云フコトハ既ニ先程カラ幾人カノ方カラ御指摘ニナッタ通りデアリマシテ、全產聯ハ現ニ先般示サレテ居ルモノニ、根本方針ニ付テ修正ヲ加ヘラレテ居ルト云フコトヲ言ッテ居ル位デアリマシテ、唯其根本方針ガ何物デアアルカト云フコトニ付テ、社會局ト見解ガ違ッテ居ルヤウデアリマス、ケレドモ是カラ内容ヲ檢討シテ參レバ分ル譯デアリマスガ、併ナガラ既ニ昨年末是ハ前内閣ノ下ニ於テ決定サレタモノデアルト思ヒマスルガ、其後社會情勢ガ急激ニ變化ヲ見マシテ、現ニ廣田内閣ハ庶政一新ト云フコトヲ標榜セラレテ居ル、國民生活ノ安定ヲ政綱ノ一ツトシテ強ク主張サレテ居ル今日ニ於キマシテハ、更ニ勞働者ノ方面ノ意氣モ十分ニ參酌サレテ、即チ其情勢變化以前ノコトニ付キマシテハ、或ハ多少御修正ニナッタ、其點ガ其社會情勢ノ變化ヲ見テ修正シタノダト仰シヤルカ、仰シヤラヌカ知レマセヌケレドモ、今申上ダケ趣旨デ更ニ再檢討シ、再熟議ヲセラレルト云フコトモ強チ無益ナコトデハナカラウ、サウシテ而モ今後經濟政策、財政方針モ幾ラカ修正サレマシテ、サウシテ此景氣ト云フモノガ急激ニ不況ニ陥ルト云フ譯デモアリマセヌヤウデアリマスルシ、失業者ガ俄ニ續出スルト云フ風ニモ思ハレナイノデアリマスカラ、之ヲ通常議會マデ慎重ニ御

練リニナッテモ、私ハ決シテ時期ヲ遅ラシタ
モノデハナイト思ヒマスルケレドモ、是ハ
マア仕方ガアリマセス、撤回ノ御意思ガナ
イト云フコトデアリマスルカラ、ソレダケ
意見ヲ附加ヘマシテ、次ニ質問ヲ進メタイ
ト思ヒマス、先程本案ノ内容ニ付テ社會局
長官自身ガ御指摘ニナリマシタヤウニ、第
一條是ガ問題デアル、當時三十人以上ノ勞
働者ヲ使用スル、此三十人ト云フコトノ標
準ヲ何ニ依ッテ御求メニナツカト云フコト
ハ、昨日ノ本會議ニ於テモ質問ガアリマシ
テ、内務大臣ガ御答辯ニナッテ居リマスル
ガ、三十人ガ果シテ宜イカ、或ハ八十人デモ
宜シイカ、或ハ五十人デモ宜イカト云フコ
トハ、私ハ甚ダ斷定ハムヅカシイト思ヒマ
ス、デアリマスルガ、先ヅソレノ此人數ノ
點ニ觸レル前ニ一應伺ッテ置キタイコトハ、
此第一條ノ第二項ニ「事業ノ種類又ハ規模
ヲ限リ本法ノ適用ヲ除外スルコトヲ得」ト
云フコトニナッテ居リマス、ソレデ如何ナル
事業、如何ナル規模ヲ有スル事業ガ本法ノ
適用ヲ除外サル、カト云フコトニ付キマシ
テハ、先程資料ヲ戴キマシタガ、是ノ内容
ニ付キマシテモ細カク御尋スレバ色々アリ
マスルケレドモ、此資料ニ依リマスルト、
是ハ省令案ニナッテ居リマスルガ、「工場法

ノ適用ヲ受クル工場ニシテ當時五十人未滿
ノ労働者ヲ使用スル左ノ事業、一製絲業、
織物業、紡績業、斯ウ云フモノニ限ッテハ五
十人未滿ト云フコトニサレテ、三十人以上
ノ例外ヲナシテ居ルノデアリマスルガ、是
ハ一體ドウ云フ理由ニ依ルノデアリマスル
カ、是ハ政府委員カラノ御答辯ヲ願ヒタイ
○赤松政府委員 只今第一條ノ第二項ヲ除
外シタラバト考ヘテ居ル例ヲ御示シ致シマ
シタガ、ソレニ付テドウ云フ譯デ斯ウ云フ
例ヲ選ブカト云フ御話デアリマスルガ、其
點ニ付キマシテハ、大體是等ノ事業ハ多ク
資力薄弱デアリマシテ、相當競争モ激甚デ
アルシ、殊ニ主トシテ女子ガ働イテ居リマ
スノデ、マア比較的ドチラカト申シマスル
ト云フト、勤務年限モ短期間デアリマスル
シ、退職手當支給ノ程度ガ稍劣ッテ居ルヤ
ウナ部類ニ屬シテ居リマス、サウ云フヤウ
ナコトヲ見マシテ、此事業ノ負擔能力竝ニ
一方ハ労働者保護ノ見地カラ見マシテモ、
コ、ラ邊ハ除イテモ已ムヲ得ナイノデハナ
イカト、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス
○田尻委員 茲ニ例示——例示デハアリマ
セヌガ、既ニ決定的デアリマセウガ、是ト
類似ノモノモ色々アルト思ヒマスルガ、ソ
レトノ比較研究ト云フヤウナコトハ此際省

キマシテ、此點ニ付テハ私ハ色々不審ヲ持ッ
テ居リマスガ、ソレハ先ヅ省令ト致シマシ
テ、サウスルト此五十人未滿ノ労働者ヲ使
用スル事業デ例外ヲ認メラレルモノ、サウ
云フ工場ガ一體全體ノ工場ノドノ位ノ割合
ニナッテ居リマスルカ、ソレハ御分リデアリ
マスカ
○赤松政府委員 只今御手許ニ差上ゲマシ
タノハ大體斯ウ云ウモノハドウカト、今考
慮中ノモノガ、最後の決定ト御承知ナキヤ
ウニ願ヒタイト思ヒマス、大體サウ云フ所
ニ參ラウカトハ思ヒマスガ、ソレモ全部ニ
付テハドウ云フコトニナリマスカ、多少數
ガ變ッテ參ルト思ヒマス、御手許ニ差上ゲマ
シタモノダケニ付テ申シマスレバ約六、七
萬位ノ労働者ノ數ニナリハセヌカト考ヘテ
居リマス、工場數ニ付キマシテハ織物、製
絲、紡績合セマシテ一千五百餘リノ事業數
デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス
○田尻委員 サウスルト今ノ除外例ヲ認メ
ラレル工場ノ數ト、原則的ノ適用ヲ受ケル
工場トノ割合ハ分リマセヌカ、ドチラカガ
全體ノ四割トカ、三割五分トカ云フヤウ
ナ……
○赤松政府委員 只今申シマシタ約千五百
ノ工場ト申シマスノハ、三十人以上ノ工場

ニ對シマシテ、約一割五分ニ當リマス
○田尻委員 私ハ一寸此場合工場法施行令
ノ第二十七條ノ四「當時五十人以上ノ職工
ヲ有スル工場ノ工業主ハ遲滞ナク就業規則
ヲ作成シ」云々トアリマスガ、工場法ノ適
用ニ於テ此就業規則ヲ作成シテ地方長官ニ
届出ヲ要スル、コ、デ五十人以上ト云フコ
トノ御制限ヲ御設ケニナッテ居ル趣旨ヲ承
リタイト思ヒマス
○赤松政府委員 御承知ノ通り工場法ハ集
團労働ニ對シマスル労働者保護ヲ主タル核
心ニ致シテ居ルノデアリマスルケレドモ、勿
論婦女ノ點ニ付キマシテハ、必シモ集團勞
働ト云フコトヲ目的ニ致シテ居リマセヌガ、
サウ云フ關係上、殊ニ就業規則ノ如キモノハ
其處ニ相當ノ數ガ集ッテ居ッテ、集團シテ勞
働シテ居ル所ニ規律ヲ與ヘマス必要上、設
ケマシタ關係上、先ヅ五十人位ガ適當デハ
ナイカト云フ見込デヤナイカト考ヘテ居リ
マス、ソレト本案ノ及ボシマス所ノ労働法
ノ目的ト、稍違ッテ立場ニ立ッテ居ルト云フ
コトヲ申上ゲテ置キマス
○田尻委員 今ノ御答辯ハ一言ニシテ言ヘ
バ、五十人以上デナケレバ殆ド工場ノ形態
ヲ備ヘテ居ナイト云フヤウナ意味デヤナイ
カト思ヒマスガ、其工場就業規則ニ於テ、

職工ノ雇入レトカ、或ハ解雇ニ關スル事項ヲチャント規定シテ旨ク決メテ居ル、ソレデ茲ニ本法案ノ適用ヲ受ケルモノガ三十人以上ノモノデナケレバナラヌカ、或ハ五十人以上ノモノガ適當デアルカ、或ハ八十人デモ結構デアルカ、色々意見ガアリマスルガ是ハ勞働者側カラ言ヘバ、先程モ大臣ガ御答辯ニナリマシヤウニ、十人ノ工場ニ使ハレテ居ル勞働者デモ、百人ノ工場ニ使ハレテ居ル勞働者デモ、勞働者側カラ言ヘバ、同ジク失業ノ場合ニ手當ヲ貰ハナケレバナラス、貰フ方ガ非常ニ有利デアルト云フコトハモウ同一デアルト思ヒマス、唯之ヲ法制化スル場合ニ於テドノ程度ガ適當デアルカト云フコトニナリマシテ、此場合中小工業者ノ經濟力ノ負擔ノ増加ト云フコトニ付テ顧慮サレル譯デアリマスルガ、是ハ社會局ニ於キマシテモ色々慎重ニ御研究ニナツタ結果、斯ウ云フ風ニ御決定ニナツタウデアリマス、又一方カラ言ヘバ十人ヲ使用シテ居ル工場主デモ、負擔ニ差支ナイト云フヤウナ意見ヲ述ベル方モアリマセウガ或ハ五十人以上デナケレバ殆ド工場法ノ適用ヲ受ケルモノニ付テモ工場ノ形態ヲ備ヘヌト云フヤウナコトカラシテ、五十人以上ガ此際適當デアル、經濟的ノ負擔ヲ考ヘテ

モ、其方ガ適當デアル、斯ウ云フ風ニ御考ニナル方モアラウト思ヒマス、私ハ是ハ實際實施ヲシテ見ナケレバ、ドチラガ本當ニ實情ニ適合シテ居ルカト云フコトハ分ラナイト思フ、是モ亦經濟界ノ情勢ノ變化ニ伴フテ、固ヨリ其經濟力ノ負擔、苦痛ノ程度ト云フモノハ違ヒマセウケレドモ、結局ハ實際施行シテ見ナケレバ分ラヌト思フ、分リマセヌトシマスレバ、ヤハリ一方ニ於テ本法案ハ産業ノ健全ナル發達ヲ遂ゲル爲ニ必要デアル、而モ直接犧牲ヲ拂フモノハ事業主デアリマスカラシテ、事業主ノ立場カラ負擔ヲ、苦痛ヲ成ベク輕カラシムルト云フ趣旨カラ、又中小工業ノ發展振興ヲ出來ルダケ本法案ニ依ッテ阻碍シナイト云フ、兩方ノ立前カラ致シマシテ、一應五十名以上ト云フヤウナコトデ原則ヲ御改メニナツタナラバドウカ、丁度此工場法ノ二十七條ノ四デ五十人ヲ標準ニシテアル譯デアリマシテ、大體此工場法ニ於キマシテモ五十人以上デナケレバ、工場ノ形態ヲ備ヘテ居ルモノデナイ、色々事務的ナ煩瑣ナコトヲ命ジテモ、實行上中々困難デアルト云フコトカラ來テ居ルト思ヒマスガ、三十人位使ッテ居ル工場デハ、此本案施行ノ爲ニドウシテモ少クトモ一人ハ特別ニ事務ニ通ジタ人

ヲ雇入レナケレバナラス、是モ相當ニ私ハ苦痛ダト思フ、デアリマスカラシテ、本當ニ勞資滑カニ本案ヲ施行シテ行ク、サウシテ中小工業ノ振興發展ヲ阻碍シナイト云フ、國家的見地カラモ考ヘマスナラバ、一應五十人ト云フコトニ原則ヲ御修正ニナツタナラバ、ドウカト思ヒマスガ、之ニ付テ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 第一條ノ三十人ノ問題デアリマスガ、是ハ昨日來屢、繰返サレタ所デアリマシテ、三十人ト決定致シマシタコトニ付キマシテハ、當局ト致シマシテ色々研究ヲ重ネタノデアリマス、勞働者ノ側カラモ見ナケレバナリマセヌシ、又産業ノ見地カラモ見ナケレバナリマセヌ、結局三十人ト云フ所ニ落付イテ決定致シタノデアリマス、デ尙ホ只今ノ御意見ノ如ク之ヲ五十人ニ引上ゲルト云フ修正ハドウカト云フ仰セデアリマスルガ、吾々ノ方デハ此三十人ヲ以テ原則ト致シマシテ、第二項ノ規定ニ依リマシテ、出來得ル限り堅實デナイ、資力ノ薄弱ナ工場ニ向ッテハ、之ヲ安排シテ行ク、サウシテ中小工業ノ壓迫ヲ輕カラシメル、斯ウ云フヤウニ致サウ、サウ云フ根本精神ノ下ニ本案ヲ作成致シタ譯デアリマス、サウ云フヤウナ事情ニナッテ居リマスルカラ、

三十人ヲ五十人ニ直スト云フコトハ、之ヲサウ云フ工合ニ修正スルト云フコトハ、私共ハ御同意申上ゲル譯ニハ參ラヌヤウニ思ヒマス

○田尻委員 只今ノ御答辯ニ依リマスルト、資力薄弱等ニ依ッテ、非常ナ苦痛ヲ感ズルヤウナモノニ付テハ除外例ヲ認メルト云フコトデアリマスガ、茲ニ第二項ニ依リマス、ト「事業ノ種類又ハ規模」トアリマスカラ、其規模ノ中ニ資力薄弱ナモノト云フノハ入ルカモ知レマセヌガ、サウシマス、是ハ個別的ニ一ツ／＼ノ工場ニ就テ其必要ガアルカナイカト云フコトヲ調査シナケレバナラス、是ハ私ハ實際問題トシテ非常ニソコニ不公平デアルト云フヤウナ非難モ出マセウシ、苦情モ出マセウシ、實際運用上ニ於テハ、相當ニ難問題ガ生ジヤセヌカト思ヒマス、サウデアリマスナラバ、何モ是ハ五十人ニ決定シタカラ、未來永劫五十人デナケレバナラヌト云フ譯デアリマセヌカラ、私ノ先程申シマシヤウナ趣旨デ、此際一應五十人ト云フコトニシテ、サウシテ此實施ノ經過ニ鑑ミテ、將來之ヲ三十人ナリ、或ハ八十人ナリニ低下スルト云フコトハ一向差支ナイノデヤナイカ、尙ホ此點ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイ

○廣瀨政府委員 只今御答シマシタ所ハ、

言葉が足りナクテ分ラナカッタ點ガアッタカ
ト思ヒマス、第一條第二項ノ個別的ニ事業
ヲ選ビマシテ、總括的ニドウ云フ種類ノ産
業、或ル程度ノ規模以下ノモノニ付テハ、

日本ノ實情カラ見テハ除外スルガ宜イト
云フ風ニ、産業別ニ考ヘテ參ルコトニナッ
テ居リマス、而シテ五十人ニ上ゲマスコト
付テ御意見ヲ拜聽致シマシタガ、是ハ只今
御答致シマシタ通り退職手當ノ保護ヲ與ヘ
マスル點カラ申シマスレバ、ヤハリ下ノ方
マデニ參リマスコトモ一理筋アリマスノ
デ、其邊ノ調和ヲ考ヘマシテ三十人程度ガ
兩者ノ調和點ト致シマシテ最モ妥當デアラ
ウト信ジテ居リマス次第アリマス、出來
ルダケ本案ニ御賛成アランコトヲ希望致シ
テ居ル次第ゴザイマス

○田尻委員 出來ルダケ本案ニハ協賛シテ

呉レト云フコトデアリマスカラ、質問應答
ノ結果、政府ノ御所信ガ適當デアルト思ヒ
マスナラバ協賛ノ任ヲ盡スニ咨デナイノデ
アリマス、サウスルト只今長官ノ仰セニナ
リマシタ資力云々ト云フヤウナコトハ、此
例外ノ中ニハ入ラナイト、斯ウ云フヤウニ
考ヘテ宜イノデアリマセウカ

○廣瀨政府委員 只今私ノ申上ゲタノハ誤

リデアリマスカラ、取消シマス

○田尻委員 ソレデハ次ニ第十一條ニ、是

ハ勞働者ノ賃金ノ中カラ事業主ガ差引イテ
積立テル百分ノ二デアリマスガ、是ハ先程
ノ政府委員ノ御説明ニ依リマスルト、強制
貯金デアルトカ云フコトデアリマス、從來
工場法ノ下ニ於キマシテモ強制規定ハナイ
ト思ヒマスガ、各工場ハ事業主ト従業員ト
ノ話合ノ結果、或ハサウデナクとも、強制
貯金ト云フノガ行ハレテ居ルト思ヒマス
ガ、茲ニ又退職ノ場合ニ備ヘル爲ニ退職積
立金ト云フモノヲ法律デ以テ義務付ケラレ
ルコトニナッタデアリマス、百分ノ二ト云
フモノハ一定不變ノ額トシテ、是レ以上本
人ノ希望ガアッテモ百分ノ三トカ、百分ノ四
トカスルコトハ出來ナイコトニナッテ居ル
ヤウデアリマスルガ、私ノ考ヘマスル所ニ
依リマスルト云フト、或ハ日給一圓トカ一
圓三十錢トカ、サウ云フ非常ナ少額賃銀勞
働者ハ固ヨリ餘裕ハ百分ノ二ト雖モ中々ナ
イト思ヒマス、併ナガラ中ニハ相當ニ或ハ
日ニ五圓モ八圓モニ相當スル勞働者モアル
ノデアリマス、サウ云フ者ニ對シテヤハリ
自分ガ任意ニ貯金シタモノハ引出シタクナ
ルカラ、何カ強制貯金ト云フコトデ義務的
ニ貯金ヲ命ゼラレルト云フコトニナルト、

ソレガ普段ニ使ヘナイ爲ニ退職ノ場合ニ非
常ニ役立ツト云フヤウナ、思慮深イ勞働者
ニ於キマシテハ、ソレ以上貯金シテ置キタ
イト云フ希望ハ私ハナイコトハナイト思ヒ
マス、相當ニアルト思ヒマス、殊ニ斯ウ云
フヤウニ景氣ガ好イ場合ニハ相當ニアルト
思ヒマスガ、之ヲ一定不變ニ百分ノ二ト御
決定ニナッタ御趣旨ヲ承リタイ

○赤松政府委員 是ハ一般ノ勞働者ニ個々

ノ事情ヲ考ヘマセヌデ一律ニ命ジマスノデ
アリマスカラ、餘リ高イモノヲ命ジマスコ
トモ困難デアルト思ヒマス、コ、ラ邊ガ好
イ適當ナ所デアルト認メマシテ、百分ノ二
ニ決定致シタクアウナ次第デアリマス、個々
ノ事情ニ依リマシテ、殊ニ尙ホ貯金致シタ
イ者ハ其以外ノ任意貯金ヲ以チマシテ、別
個ニソレヲ獎勵致シテ行キマスコトハ從來
ト變リナクヤッテ行キタイト思ッテ居リマス

○田尻委員 任意貯金ノコトハ是ハ別問題

デアリマシテ、私ハヤハリ茲ニ百分ノ二ト
カ、百分ノ三トカ、百分ノ四トカ云フヤウ
ナコトニ、勞働者ノ個別的ナ意見ニ依ラナ
イコトニ爲サツタト云フコトデアリマスル
ガ、是ハ先ニ第十六條ノ事業主ニ對シテハ
「少クトモ」ト云フ文字ヲ用ヒテ、少クトモ
百分ノ二ヲ積立テルコトモ宜イシ、百分ノ

三ヲ積立テルコトモ宜イト云フコトニ個別
的ニ本人ノ選定ニ御任セニナッテ居ルノデ
アリマスカラ、ヤハリ勞働者ニ對シテモ「少
クトモ」ト云フヤウナ文字ヲ以テソレ以上
ノ貯金ヲ義務トシテ、本人ノ元々希望ニ
依ッテ御命ジニナッテモ差支ナイノデヤナイ
カト思ハレマスガ、ドウデゴザイマスガ、
此點ハ意見ノ相違ダト思ヒマスケレドモ、
一寸御伺致シマス

○赤松政府委員 本法ニ依リマシテ積立テ

マス所ノ勞働者ノ貯金ハ不融通財産ニナッ
テ居リマスノデ、其額ヲ明言致シマセヌト、
個々ニ勝手ニ澤山不融通財産ヲ作ラセマス
コトモ穩當デゴザイマセヌ、ソレガ故ニ一
律ニ百分ノ二ト致シマシタ

○田尻委員 百分ノ二以上幾ラデモト云フ

ノデアリマセヌカラ、例ヘバ第八條ノ如ク
百分ノ七ト云フコトデ御決定ニナッテモ差
支ナイト思フ、デアリマスルガ、是ト關聯
致シマシテ、第十六條ニ、是ガ又先程御指
摘ノ問題ノ、職工ガ少クトモ百分ノ二ト云
フコトニナッテ居ル、是ハ從來ノ參與會等ニ
於テ御諮問ニナッタ案デハ、一律一體ニ百分
ノ二ト云フヤウニ決定シテアッタト云フコ
トデ、全產聯デ非常ニ非難シテ居ルノデアリ
マスガ、是ハ政府委員ノ御説明ニ依リマシ

テモ事業主が自發的ニ百分ノ二以上ヲ積立テ、置キタイト云フ意向ガアル場合ニ、之ヲ抑ヘル必要ハナイモノト思フト云フ、極メテ善意的ナ御解釋ノ下ニ立案サレタモノダト思ヒマス、又參與會ニ御諮問ニナツタ原案ヲ變更ニナツタモノト思ヒマスガ、此處ガ一ツノ問題ニナル、ト申シマスルノハ、少クトモ百分ノ二ト云フコトニナレバ、是ガ又第八條ト照應致シマスルコト云フト、是ハ一方十七條ハ百分ノ三ト云フコトニ限定サレテ居リマスルガ、百分ノ七カラ百分ノ三ヲ差引キマス、百分ノ四ニナリマス、サウスルト少クトモ百分ノ二ト云フコトハ四百分ノ四マデハ行ケル、百分ノ四マデハ事業主ハ自分ノ任意ニ積立テルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナルデアリマス、是ガ眞ニ事業主が自發的ニ、任意ニ積立テルノナラバ、政府委員ノ御説明ノ通り一向非難スベキ餘地ハナイト思ヒマスガ、茲ニ勞働者トノ間ニ紛争ノ種ガ播カレテハ居ナイカ、先ノ方デ第十七條ノ利益配當金ニ付テハドウカシタ場合ニハ地方長官デ是ガ更正ヲ命ズルコトガ出來ルト云フ勅令モ出ルヤヲデアリマスガ、其點グラウト思ヒマス、非常ニ全產聯方面、或ハ此法案ニ付テ内容ヲ少シク檢討シタ人ノ憂慮スルノハ其點デ

ヤナイカト思フ、「少クトモ」デアリマスカラ……併ナガラ單ニ勞働爭議ノ紛争ノ種ニナルカラト云ツテ「少クトモ」ト云フコトヲ、モト／＼一律一體ニ百分ノ二ニ限定シテシマヒナサイト云フコトノ要求ハモウ出來マセヌ、ト申シマスノハ、先程政府委員ノ御述べニナリマシタヤウニ、善意ノ事業主モアルデアリマスカラ、サウ云フ人ノ爲ニハヤハリ自發的ニ百分ノ二以上ヲ積立テルコトノ餘地ヲ存シテ置クコトモ必要ダト思フ、ソレデ一方ニ於テ理解ノアル事業主ノ自發的ニ出來ルダケ餘計ニ積立テ得ル餘地ヲ存スルト同時ニ、一面ニ於テ勞資ノ紛争ノ種ニナリナイヤウニスル一ツノ方便トシテ私ノ考ヘテ居リマス事ハ、此第十一條ノ勞働者自身ノ積立金、此百分ノ二ヲヤハリ「少クトモ」ト云フコトニ致シマシテ、十六條ノ事業主ノ積立テル積立金ト勞働者自身ノ積立金ヲ、先程私ハ是ハ勞働者ノ個々ノ希望ヲ云云ト云フヤウナコトヲ申シマシタケレドモ、今度申シマスル場合ニハ、ソレガイケナイトシマスレバ、個別的デナク、其事業ニ從事シテ居ル勞働者全體トシテ考ヘテ無論差支ナイデアリマスガ、事業主ガ百分ノ三積立テル時ニハ、勞働者自身モ百分ノ

三積立テルト云フコトニシテ調和ガ取レナイモノデアリマセウカ、サウ云フコトニシマスレバ、善意ノ事業主ノ此自發的ノ積立ニ對シテ邪魔ニナリナイコトニモナルシ、又一方ニ於テ勞働爭議ノ種ニモナラナイト云フコトデ、一舉兩得ノヤウニモ考ヘマスルガ、其點私ノ非常ナ確信ヲ持ッテ居ル點デモアリマセヌガ、今急ニ申上デマシテモ直グ御答出來ルカドウカ存ジマセヌガ、政府ノ方デハサウ云フ點ニ付テドウ御考ヘニナリマスカ、一應伺ッテ見タイト思ヒマス、此立案ノ趣意カラ致シマシテ、私モマダ隨分不分リノ點ガアルデアリマスカラ、御伺致シマス、是ハ御答辯ニナツタ飽マデソレニ喰下ッテ行カウト云フノデアアリマセヌ

○赤松政府委員 「少クトモ」ト十一條ニ入レマスレバ、何カ最高限度ニ別ニ定メマス必要ハ、自然出テ參リマセヌ、是ハ不融通財産ノ限度ヲ決メマス必要上、今ノ御議論ノ如ク致シマスコトモ一方法カトモ思ヒマスガ、御説ノ如ク實ハ不意ニ伺ヒマシテ、マダ十分研究シテ居リマセヌノデ、能ク考慮シテカラニシテ戴キタイト思ヒマス

○田尻委員 ソレデハ今ノ問題ニ付テハ、唯私ノ私案デゴザイマシテ、十分御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ官營事業、

政府事業ノ事デゴザイマスガ、是ハ先程加藤君其他カラモ御質問ガアリマシテ、大體御答辯ヲ得テ居ルデアリマスガ、先程戴イタ表ニ依リマス、大キナ官營事業デハ相當ニ實際ノ福利施設、其他モ完備シテ居リマスガ、小サイ工場アタリデハ甚ダ不完全デアリマス、官營事業デアルカラ、何モカモ立派ニ行ッテ居ルト云フノデアアリマセヌ、此處デ一寸見マシテモ、陸軍省ノ所管デアリマスルガ共濟組合ト云フモノガアル、サウシテ別ニ職工規則ニ依リマシテ、自己ノ都合ニ依ッテ退職シタ場合デモ普通ノ退職金ノ三分ノ一ハ給與サレルコトニナッテ居ル、此陸軍職工規則ト云フモノハ、陸軍省所管ノ小サイ工場——十人以上三十人未満ノ工場ガ十二アリマス、三十人以上五十人未満ノ工場法適用ノ工場ガ二十アリマス、三十二ト云フモノハ五十人未満ノ工場デアル、サウ云フ工場ニモ陸軍省所管ニ於テハ退職手當ヲ貰フ、共濟組合ノ一時脫退金ノ外ニ特別ノ退職手當モ貰ヘル、然ルニ先程ノ御説明ニ依リマシテモ、内務省土木局トカ、或ハ内閣ノ印刷局ノ如キハ是ガ貰ヘナイ、極メテ不公平ナコトニナッテ居ルヤウニ思ヒマスガ、是ハ斯ウ云フ機會ニ於キマシテ一ツ出來ルダケ官業ハ統一シテ、

サウシテ民間ノ工場ニ對シテ斯ウ云フ負擔ヲ強要サレル場合デアリマスカラ、之ニ對シテ模範ヲ示ス意味ニ於キマシテモ、官營工場ノ此手當ノ統一ヲスルト云フヤウナコトヲ御考ヘニナルノガ相當デアラウト存ジマスガ、此點如何ニ御考ヘニナッテ居リマスカ、御伺致シタイと思ヒマス

○赤松政府委員 官業ニ付キマシテハ御手許ニ差上ゲマシタ資料ニ依リマシテモ、大體ト致シマシテハ本案ニ要求致シテ居リマスルヨリハ、良イ待遇ヲ與ヘテ居ルコトハ御承知ヲ願ヘルト思フデアリマス、唯御説ノ如ク極ク少數ノ一部ニ於キマシテ規則ノ不備ガアリ、或ハ事實上ニ於テ多少本案ノ要求致シマスヨリモ劣シタ所ガナイデモナイカト考ヘマスガ、サウ云フモノニ付キマシテハ、本法ノ待遇ニ相應ジマスルヤウニ、相當ニ待遇ヲ改善致シマスコトニ付テハ考慮致シマスル用意ガアルコトニナッテ居リマス、左様御承知置ヲ願ヒマス

○田尻委員 ソレデハ第十七條ニ入リマシテ、是ハ退職手當積立金ノ外ニ特別積立金ト云フノデアリマスガ、是ハ勅令決定メルコトニナッテ居リマス、此勅令案ヲ只今御示シヲ戴キマシタガ、ソレニ依リマス、事業主ガ法人ナル場合ニ於テ其利益配當金ノ

計算ガ著シク不當ト認ムルトキハ、行政官廳ハ其更正ヲ命ズルコトヲ得ト云フコトニナッテ居リマスガ、個人ノ場合モ同様デアリマス、是ハ單純ニ行政官廳ガ此事業ノ内容ニ立入ッテ——最モ外形ガ甚シク不當ト思ハレルヤウナ時デナクテハ、内容ノ御調査ハナイ筈デアリマスガ、是モ運用ハ人ニアルノデアリマスカラ、其人次第デハドウ云フ不合理ナ、不穩當ナ、不當ナコトガ行ハレナイトモ限ラナイ、是デ以テ事業ノ内容ニ立入ッテ行政官廳ガ綿密ニ御調べニナリ、サウシテ是ガ一方ニ於テ従業員側ノ此事業ニ對スル内容ニ立入リタイト云フ心理狀態ト一緒ニ働キマシテ、事業經營者ニ取ッテ非常ナ迷惑ナコトヲ生ジハシナイカト云フコトヲ懸念サレルノデアリマスガ、此點ハ如何ナモノデアリマセウカ、恐ラクサウ云フコトハナイト云フ御答辯カモ知レマセヌガ、私ハ十分ニ其處ハアルト思ヒマス、何カソレニ付キマシテサウ云フ處ノナイ具體的ノ御考ガアルデアリマセウカ

○赤松政府委員 事業主ノ利益配當金若クハ純益金ノ調査ハ、稅務署ノ決定ニ俟ツコトニ致ス積リデアリマス、地方官廳自身ガ其内容ノ調査ヲ致スコトハ嚴ニ慎ンデ參ル豫定デ居ルノデアリマシテ、隨ヒマシテ只

今御疑念ノ如キ事業ノ内容ニ付キマシテ利益ノ有無ヲ地方官廳ガ取扱ヒマスヤウナ場合ハ殆ドナイモノト存ズル次第デアリマス

○田尻委員 サウシマス、勅令デ掲ゲテアリマス行政官廳ト云フノハ、稅務署ノ意味ト解シテ宜シウゴザイマスカ

○赤松政府委員 此行政官廳ハ地方官廳デアリマスガ、行政官廳ガ計算ガ著シク不當ナリト認ムル根本ハ、稅務署ノ調べタ營業收益稅ノ決定額ト比較致シマシテ甚ダシイ違ヒガアル、是ハ稅務署ノ決定スルヨリ前ニ、自己ノ計算デ以テ届ケテ參ルノデアリマスカラ、ソコニ甚シイ故意ガ認メラレナイヤウナモノナラ、サウ細カク更正ヲ命ズルヤウナコトハナイト思ヒマス

○田尻委員 イヤ私ガ一寸勘違シテ居リマシタ、更正ヲ命ズルノハ行政官廳、調査ヲスルノハ稅務署デアアル、唯稅務署ノ調査デ満足スレバ宜イガ、ソレデ満足シナイ場合ニ更ニ稅務署ノ協力ヲ求メテ調査ヲスルカ、或ハ稅務署ノ調査ニ對シテモ不滿ナリトシテ、更ニ自ラ調査スル場合ガ絕對ニナイカト云フト中々是ハ保證出來ナイト思フ、サウ云フ場合ノ懸念ガアルトシテ十分御考慮ヲ願ヒタイ、次ニ第四十三條、附則デスガ、「本法ノ適用ヲ受クル事業ニ於ケル本法適

用前ノ退職手當規程ハ本法ノ適用ニ依リ廢止又ハ變更セラル、コトナシ」是ハ從來或ル會社工場ニ於テ福利施設トシテ手當金規程ヲ設ケテ、之ヲ實施致シテ居ッタ、サウ云フモノニ對シマシテ、本法施行ノ場合ニ、之ヲ其儘存置セヨト云フコトヲ強制スル意味ノヤウニ此四十三條ハ解釋サレルノデアリマスガ、サウデアリマセウカ

○赤松政府委員 四十三條前段ノ「廢止又ハ變更セラル、コトナシ」ト云フコトハ單ナル宣言規定デアリマシテ、本法ノ施行ニ依リマシテ從前アリマスル所ノ退職手當規程ガ自然ニ消滅シテシマフノダト云フ意味デハナイ、又從前ニ出來テ居ル所ノ退職手當ノ規程ノ内容ガ本法ニ依ッテ本法通りニ自然ニ變テシマフコトハナイノダト云フコトヲ申シテ居ルダケデアリマス、隨テ從前ノ規程ヲ廢止變更スルコトニ付テハソレゾレノ契約ニナッテ居リマス、ドウ云フコトニナッテ居ルカ、ソレノ事情ニ依ッテ事業主ノ任意ニ、相當ノ手續ヲ經テ從前通り行フコトガ出來ル譯デアアルノデアリマス

○田尻委員 マダ色々伺ヒタイコトモアリマスガ、少シマダ私自身トシテ考ヘテ見ナケレバナラスコトモアリマス、資料ヲ戴キマシタ上デ、更ニ機會ガアリマシタナ

ラバ御伺スルコトニシテ保留致シマス、只今ハ之ヲ以テ打切りマス

○熊谷委員長 藏原サン、アナタ何カ發言ヲ求メテ居フレルガ、ドウ云フコトデスカ

○藏原委員 此法案ノ適用ヲ受クル工場ノコトヲ聽キタイト思ヒマスガ……

○熊谷委員長 其資料ニ關聯シテ居ルノデスカ——簡單ナラバ許シマス

○藏原委員 工場數ノ調査表ガアリマスガ、此三十人以上、五十人以上ト云フ二ツアルガ、各別ノ現在退職積立金ノ制度ノアル工場數、ソレカラ其積立金制度ガアリ、其適用ヲ受ケテ居ル勞働者ノ數ヲ伺ヒタイ

○赤松政府委員 只今藏原サンカラ御尋ノ點ハ御手許ニ差上ゲタ資料ノ中ニ相當詳細ニ載ッテ居リマス、ソレヲ一ツ御覽ヲ願ヒタイ

○岡本委員 今ノ適用ノ工場數ノコトデスカ、先刻私ガ大臣ニ御尋シタ時ニ、政務次官ノ答辯デ適用工場數ガ三十人以上五十人以上未滿ガ四千九百九、五十人以上ハ六千三十三、合セテ一萬九百四十二、斯ウ云フヤウニ承ッタノデアリマス、所ガ先刻戴キマシタ表ヲ見マス、合計ガ一萬三千三百二十一トナッテ居ル、即チ職工五十人以上ノ工場ノ合計ガ六千九百二十七、三十人以上五十人

未滿ハ六千三百九十四、其合計ガ一萬三千三百二十一、大分數ガ違ヒマス、何カ私ノ聽キ違ヒデアリマシタカ、誤解デアリマスカ、ソレニ依ッテ更ニ御尋シタイコトガアリマス

○赤松政府委員 多分ソレハ試掘鑛山ノ入ッタノ御手許ニ差上ゲタノカト思ヒマス、尙ホ能ク調査致シマシテ間違ノナイ所ヲ御知ラセ致シマス

○岡本委員 一條ノ二項ニ依ッテ適用ヲ除外シタ工場ガ千五百程デアル、職工數ハ六、七萬人デアル、斯ウ云フヤウニ承ッタノデアリマス、所デヤハリ戴キマシタ參考表デ第一條ノ二項ニ依ッテ除外スル事業ノ種類及規模ハ左ノ如シトアリマス、製糸業、織物業、紡績業、陶磁器工場、琺瑯鐵器、燃寸工場、麻真田、護謄製品、電球、セルロイド、加工品、和紙ノ製造工業マデガヤハリ除外サレテ居ッタヤウデアリマス、之ヲ除外スルト除外工場ガ千五百バカリデハアリマス、マ

イ、サウ云フ懸念ヲ有ッテ居ル、ト云フノハ現ニ私ノ愛知縣デスカ、豐橋ノ附近ニハ俗ニ言フ達磨製糸ト云フ工場ガ四千カ五千方ル、岡崎市ニハ

〔委員長退席、齋藤委員長代理著席〕

「ガラ」紡ト云フノガ七八百アリマス、勿論

是ハ三十人未滿ト云フノガ入ッテ居ルガ、此中半數以上ハ私ノ直觀デアリマスガ、此適用ニ入ルノデハナイカト思ヒマス、尙ホ之ニ織物工場ト云フノガアリマス、愛知縣ナドモ尾西地方、知多郡ニモ隨分澤山アリマスガ、此製絲、織物、紡績、陶磁器、是等ヲ除外シマスレバ、千五百バカリデハアル

マイ、愛知縣ダケデモサウダト云フコトガ直覺的ニ分リマスガ、何カ誤解ガアリマスカ、一應御答辯ヲ願ヒタイ

○赤松政府委員 御手許ニ差上ゲマシタノハ工場法適用工場中、三十人以上五十人未滿ノモノヲ各業種別ニシテ、斯ウ云フモノニ付テ今除外ノ取扱ヲシタラ如何カト考慮シテ居ルモノヲ御示シ致シタノデアリマス、此數字ハ相當ニ根據アル數字デ、大ナル間違ハナイト確信シテ居リマス、御説ノ如ク當該地方ニハ多數ノモノガゴザイマスガ、主トシテ三十人以下ノモノガ多イノデアリマスカラ、左様御承知願ヒマス

○岡本委員 陶磁器工場ガアリマシテ、是ト頗ル類似シタ硝子工場ガ之ニナイヤウデアリマス、硝子工場モ陶磁器工場ト同ジニ御認メナルカドウカ、今一ツ琺瑯鐵器、是ハ窯業ノ陶磁器工場ノ中ニ入ルノデセウカ、之ヲ見マス、鐵工業ト云フモノガナイ、一

一細カイコトハ面倒デスカ、硝子工場ヤ鐵工業ノナイノハドウ云フ譯デスカ、陶磁器ガアッテ、琺瑯鐵器ガ之ニ入ッテ居ラスト云フコトニ疑ガ起リマシタカラ、一寸伺ヒマス

○赤松政府委員 重ネテ御答致シテ居リマスヤウニ只今御手許ニ差上ゲマシタノハ、御要求ガゴザイマシタノデ取敢ヘズ氣ノ付キマシタ點ヲ、コンナ所ヲ一ツ考ヘテ見ヨウト云フ、ホンノ腹案ヲ申上ゲタニ過ギマセヌ、隨テ之ニ似タヤウナモノ、又其他ノモノモ脱ケテ居リマセウシ、中ニハ又是ハ要ラナイデヤナイカト云フ御議論モ、或ハ出テ來ルカモ知レマセヌガ、ソレ等ニ付テハ尙ホ十分ニ商工當局トモ御相談シテ確定案ヲ御知ラセシタイト考ヘマス、只今ノ所斯ウ云フ種類ノモノモ亦之ニ類似ノモノモ自然ニ入ッテ來ルノデハナイカト云フヤウニ御承知願ヒタイノデアリマス

○岡本委員 サウシマス、又疑問ガ出テ來タノデアリマス、先刻私ガ大臣ニ御尋シタ時ニハ、除外工場ノ方ハ商工當局トモ打合セテ能ク調査シテ答ヘルト云フコトデアリマシタガ、田尻君ニ御答シタ時ニハ、一時間カ二時間後ニ、千五百ト云フコトヲ仰シヤッテ居ル、今千五百ト言ハレタ時ニハ、

○赤松政府委員 重ネテ御答致シテ居リマスヤウニ只今御手許ニ差上ゲマシタノハ、御要求ガゴザイマシタノデ取敢ヘズ氣ノ付キマシタ點ヲ、コンナ所ヲ一ツ考ヘテ見ヨウト云フ、ホンノ腹案ヲ申上ゲタニ過ギマセヌ、隨テ之ニ似タヤウナモノ、又其他ノモノモ脱ケテ居リマセウシ、中ニハ又是ハ要ラナイデヤナイカト云フ御議論モ、或ハ出テ來ルカモ知レマセヌガ、ソレ等ニ付テハ尙ホ十分ニ商工當局トモ御相談シテ確定案ヲ御知ラセシタイト考ヘマス、只今ノ所斯ウ云フ種類ノモノモ亦之ニ類似ノモノモ自然ニ入ッテ來ルノデハナイカト云フヤウニ御承知願ヒタイノデアリマス

○岡本委員 サウシマス、又疑問ガ出テ來タノデアリマス、先刻私ガ大臣ニ御尋シタ時ニハ、除外工場ノ方ハ商工當局トモ打合セテ能ク調査シテ答ヘルト云フコトデアリマシタガ、田尻君ニ御答シタ時ニハ、一時間カ二時間後ニ、千五百ト云フコトヲ仰シヤッテ居ル、今千五百ト言ハレタ時ニハ、

○赤松政府委員 重ネテ御答致シテ居リマスヤウニ只今御手許ニ差上ゲマシタノハ、御要求ガゴザイマシタノデ取敢ヘズ氣ノ付キマシタ點ヲ、コンナ所ヲ一ツ考ヘテ見ヨウト云フ、ホンノ腹案ヲ申上ゲタニ過ギマセヌ、隨テ之ニ似タヤウナモノ、又其他ノモノモ脱ケテ居リマセウシ、中ニハ又是ハ要ラナイデヤナイカト云フ御議論モ、或ハ出テ來ルカモ知レマセヌガ、ソレ等ニ付テハ尙ホ十分ニ商工當局トモ御相談シテ確定案ヲ御知ラセシタイト考ヘマス、只今ノ所斯ウ云フ種類ノモノモ亦之ニ類似ノモノモ自然ニ入ッテ來ルノデハナイカト云フヤウニ御承知願ヒタイノデアリマス

○岡本委員 サウシマス、又疑問ガ出テ來タノデアリマス、先刻私ガ大臣ニ御尋シタ時ニハ、除外工場ノ方ハ商工當局トモ打合セテ能ク調査シテ答ヘルト云フコトデアリマシタガ、田尻君ニ御答シタ時ニハ、一時間カ二時間後ニ、千五百ト云フコトヲ仰シヤッテ居ル、今千五百ト言ハレタ時ニハ、

○赤松政府委員 重ネテ御答致シテ居リマスヤウニ只今御手許ニ差上ゲマシタノハ、御要求ガゴザイマシタノデ取敢ヘズ氣ノ付キマシタ點ヲ、コンナ所ヲ一ツ考ヘテ見ヨウト云フ、ホンノ腹案ヲ申上ゲタニ過ギマセヌ、隨テ之ニ似タヤウナモノ、又其他ノモノモ脱ケテ居リマセウシ、中ニハ又是ハ要ラナイデヤナイカト云フ御議論モ、或ハ出テ來ルカモ知レマセヌガ、ソレ等ニ付テハ尙ホ十分ニ商工當局トモ御相談シテ確定案ヲ御知ラセシタイト考ヘマス、只今ノ所斯ウ云フ種類ノモノモ亦之ニ類似ノモノモ自然ニ入ッテ來ルノデハナイカト云フヤウニ御承知願ヒタイノデアリマス

○岡本委員 サウシマス、又疑問ガ出テ來タノデアリマス、先刻私ガ大臣ニ御尋シタ時ニハ、除外工場ノ方ハ商工當局トモ打合セテ能ク調査シテ答ヘルト云フコトデアリマシタガ、田尻君ニ御答シタ時ニハ、一時間カ二時間後ニ、千五百ト云フコトヲ仰シヤッテ居ル、今千五百ト言ハレタ時ニハ、

相當根據アルカラ正確ダト言ッタニモ拘ラズ、其除外トシテ明ニ出シタモノハ思ヒ付イタモノヲ一寸書イタノデカラ、篤ト調べレバ他ニモアルカモ知レナイト云フノデハ、答辯ガ前後矛盾シテハ居リマセヌカ

○赤松政府委員 私ノ言葉ガ足ラヌカモ知レマセヌガ、只今ノ所斯ウ云フモノハ除外ノ中ニ入レテ然ルベキモノデハナイカト云フノデ參ッテ居ルノデアリマス、尙ホ之ニ類似ノモノガアッテ、必要ナモノハ追加致スヤウナ場合ガ生ジテ來ルカモ知レマセヌガ、目下ノ所考ヘテ居リマスノハ、其位ノ所デアルト云フ風ニ御承知置願ヒタイ、斯ウ申上ゲタノデアリマス、是等全部合セテ御手許ニアリマスノハ、石炭ヲ入レルト千九百三十二事業數ニ相成ルヤウニ出テ居リマス、左様御承知願ヒマス

○岡本委員 サウシマスト今千五百ハ正確ダト言ハレタノガ又動キマスネ

○赤松政府委員 千五百ト申シマスノハ、先刻田尻サンノ御質問ニ對シテ其時ハ製絲、織物、紡績ノコトヲ言ッテ居ラレタ、ソレヲ合計致シマスト約千五百ニナル、此點ヲ申上ゲマシタノデスガ、今其外ニ石炭迄入レマスト、合計千九百三十二ト云フ數字ニナルノデアリマス

○岡本委員 其御調ノ御序ノ節ニ千九百三十二工場ノ中、五十人以上ノ工場デ除外工場ガドレダケニナルカト云フコトモ分リマシタラ、後デモ宜シウゴザイマスカラ、御調ヲ願ヒタイ

○廣瀨政府委員 五十人以上ハ之ヲ除外スルト云フ考ヘヲ持ッテ居リマセヌノデ、ソレハ此數ノ中ニ入ッテ居ラヌノデアリマス

○岡本委員 サウ致シマスト、第一條ノ二項ヲ見マスト、「主務大臣ハ事業ノ種類又ハ規模ヲ限リ」トアリマスガ、此法案ノ文字ヲ見レバ五十人以上居レバイカナイダラウガ、兎ニ角三十人以上ノモノハ皆入ルヤウニ解釋スルガ、五十人以上ニ限ッテ此事業ノ種類又ハ規模ヲ限ッテモ、本法ノ適用ヲ除外スルモノハ一ツモナイト云フノハドウ云フ所ニ本ガアリマスカ

○廣瀨政府委員 ソレハ文字デハ幾ラデモ上ニ行ケルコトニナッテ居リマスガ、取扱方針ト致シマシテハ、五十人ヲ限リマシテ、五十人以下ト云フコトニヤル積リデ居リマス

〔齋藤委員長代理退席、委員長著席〕

○岡本委員 サウ致シマスト、是ハ田尻君カラ大分御質問ガアリマシタガ、法案ノ第一條一項ニ三十人トアル、併シ除外スルモ

ノデハ三十人以上五十人未滿ト云フモノガ大部分除外サレルノデアアル、斯ウ云フコトニナリマシテ、茲ニ五十人ト云フ一ツノ目安ガアルコトハアルヤウニ承ハルノデアリマス、殊ニ工場法ノ二十七條ノ四ニモ先刻出マシタ通り五十人ト云フ形態ヲ備ヘタ工場ニ付ノ規定ガアル、サウスレバ茲ニ三十人ヲ五十人ニ御引上ゲニナルト云フノカ、五十人ヲ三十人ニ御引下ゲニナルト云フノカドチラカ知リマセヌガ、是ハ相當ナ根據ガ出テ來ル、サウシマスレバ當局デ五十人ト御認メニナッテモ差支ナイト思ヒマスガ、先刻ノ御答辯デハ其點ハ讓歩ガ出來ナイト云フ御答辯ガアッタト思ヒマスガ、今一應御答辯ヲ願ヒマス

○廣瀨政府委員 先程田尻君ニ答辯ヲ致シマシタヤウニ、第一條ノ三十人ト云フノハ、ヤハリ三十人デ何處迄モ行キタイト思ッテ居リマス

○熊谷委員長 次ハ堀内君デスガ、堀内君ノ御質問ハ長イデスカ

〔長ケレバ明日ニシタラ〕ト呼フ者アリ

○塚本委員 一寸議事進行ニ付テ申上ゲマス、今長ケレバ明日ニト云フヤウナ御意見モアルヤウデアリマスガ、遅クナッテモ成

ベク議事ヲ進メラレルヤウニ希望致シマス

○堀内委員 赤松政府委員ニ御尋致シマスガ、赤松サンノ御書キニナッタモノデ、茲ニ「退職積立金法案ノ意義トソノ内容」ト云フ本ガアリマスガ、之ヲ拜見シマス、斯ウ云フコトガ書イテアル「元來日本ノ現段階ニ於ケル勞働組合ノ内情カラ致シマスレバ、解雇手當ノ要求ハ、日常闘争及組合ノ勢力擴張ノ有力ナ手段デアリマスカラ、之ガ法制化サレ標準化サレルト云フ事ニナリマス、勞働組合ノ日常闘争ノ重要手段ヲ失フ譯デアリ、之ガ爲ニ幹部ハ一大打撃ヲ蒙ル譯デアリマス」斯ウ云フコトガ書イテアル、無論御書キニナッタコトデアリマスルカラ、左様ニ御信ジニナルデアラウト思ヒマスガ、一應念ヲ押シテ置キマス、是ハ間違ナイデスカ

○赤松政府委員 大分前ニ餘所デ喋リマシタコトデアリマスルガ、確ニサウ云フ風ニ考ヘマス、但シソレカラ後少シ御讀ミ下サッテ載キタイノデアリマスガ、勞働組合モ近來サウ云フ態度ヨリハ、寧ロ産業協力ノ態度ニ進ンデ來タカラト云フコトモ書イテアリマス、御讀ミニナッテ私ノ眞意ノアル所ヲ御諒察願ヒタイト思ヒマス

○堀内委員 他ヲ讀ミマスト、中々大變ナ

モノデスカラ、其點ダケデ宜シウゴザイマス、古ク御話ニナツト云フコトデアリマスガ、是ハ本年三月新シイ今度ノ法案ニ關聯シテノ御議論ト拜承致シマス、然ラバ御同致シマスルガ、此今回ノ退職積立金法案ガ實施サレルコトニナリマスルト、勞働組合ノ日常闘争ノ重要手段ヲ失フ、マア幹部ガ一大打撃ヲ蒙ルカドウカ、ソレハ分リマセヌガ、是ガ日常闘争及ビ勢力擴張ノ有力ナ手段デアッタ、斯ウナッテ居ルノデアリマスルガ、私ハ此法案ガ通過スレバ却テ赤松部長ノ仰シヤルヨリカモ反對ノ結果ヲ齎スノデハナイカト思フノデアリマス、ソレハドウ云フコトヲ申シマスカタ言ヒマス、昨日社會局ノ勞働部カラ頂戴致シタ書類ノ中ニ、此八十八頁ノ、大正十二年カラ昭和九年マデノ間ノ同盟罷業工場閉鎖要求事項別件數表ト云フモノガアル、是デ見マス「ストライキ」ノ總件數ハ、昭和五年、六年、七年ガ多クヤウデアリマスルガ、段々減ジテ來テ、昭和九年ニナッテ總件數ガ六百二十六件トナッテ居リマス、此六百二十六件トナッテ居ル中ニ、解雇退職手當ノ確立又ハ増額ト云フコトヲ原因トシテ「ストライキ」ガ起ツタト云フコトハ、タツタ二十七件シカナイ、賃銀ノ増額ト云フヤウナモノガ二百

九十五件ト云フヤウナ大キニ達シテ居ル、是ハ解雇手當ノ問題デヤナイノデス、其外マア色々此處ニ他ノモノモアリマスルガ、兎ニ角六百二十六件ト云フ總同盟罷業ノ中デ解雇退職手當ノ確立又ハ増額ヲ理由トシタモノハ僅ニ二十七件デアリマス、此問題ノ爲ニ果シテ勞働争議ガ少クナルコトニナルデアラウカ、私ハサウ考ヘマセヌガ、其點ヲ御同致シテ置キマス

○赤松政府委員 私ハ大分少クナルト思フ、ソレニ少クモ此退職手當ニ關シマスル限りニ於キマシテハ、ソレダケ少クナルト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ此處ニゴザイマスノハ罷業ニナリマシタヤウナモノダケヲ舉ゲテ居リマスルガ、多少マダ此外ニモ紛議ガ之ニ伴ッテ起ルダラウト思ヒマスルガ、サウ云フコトモナクナルヤウニ致シテ行キタイシ、又事實減ルダラウト考ヘマステ來テ居ル六百二十六件ノ罷業ノ中二十七件減ルト思ヒマスカ、其點ヲ御同致シマス、二十七件ダケハ減ルカモ知レマセヌガ、サウ云フ御考デゴザイマスカ

○赤松政府委員 争議ノコトデアリマスカラ、數字デ以テ申上ゲル譯ニモ行キマセヌシ、其時ノ狀況ニ依リマスガ、減ル傾向ニ

アルト云フコトハ申上ゲルコトガ出來ルト思ヒマス

○堀内委員 甚ダドウモ曖昧ナ御答辯デ私ハ満足致シマセヌ、ソレハ減ッテ居リマス、争議ハ此本ヲ拜見シマス、昭和五年ニハ九百七件、其次ノ年ニ九百九十八件、七年ニハ八百九十三件、昭和八年ニハ六百十件トナッテ、昭和九年ガ六百二十六件ト、成程減ッテ居リマス、減ッテ居リマスガ、減ッテ割合ニヤハリ退職手當ノ争議モ減ッテ居ル、デスカラ減ルニハ減ルデアリマセウケレドモ、ヤハリ割合カラ行クト斯ウ云フコトニナッテ居ル、表ニ書ケバサウダケレドモ、色事情モアルト云ッタヤウナ、ソレデハ一向此記録ハ當テニナラナイノデアリマスカラ、此御記録ハ全部左様ニ解釋致シテ宜シイノデゴザイマセウカ、此表ニハサウ書イテモ事情ガ異ル點ガアルカラ、ソレハハッキリ當テニナラヌ、斯ウ信ジテ宜シウゴザイマセウカ、其點ヲ御同致シタイ

○赤松政府委員 昭和八年頃ハ段々景氣モ一般ニ好クナッテ參ッテ居リマシテ、大量解雇等ノ行ハレマスコトガ比較的少イ時代ニナッテ居リマス、隨ヒマシテ此解雇手當ニ關シマスル争議ハ幸ニシテ減少ノ傾向ヲ示シテ居リマス、ソレト反對ニ景氣ノ上昇ニ

伴ヒマス賃銀増額ヲ基ニ致シマスル所ノ争議ハ、御覽ノ如クニ増加致シテ居リマス、是ガ不景氣ニナリマスルト、寧ロ逆ニナリマシテ、解雇手當ノ争議ガ殖エルノデアリマシテ、賃銀増額ノ争議ノ方ガ是ハ事實ニ於テ減ッテ參ル、斯ウ云フノガ今マデノ勞働界ノ實際ノ狀況デアアルノデアリマス、隨ヒマシテ、此不況時ニ於キマスル對策トシテ、今日カラ解雇手當ノコトヲ考ヘテ參リマスルナラバ、將來ニ於テ起リ得ベキ所ノ解雇手當ヲ因ト致シタ所ノ紛争ヲ減ル傾向ガアルト云フコトハ、言得ルコトダト私ハ信ジテ居ルノデアリマス

○堀内委員 ドウモ私ノ頭ヘビント來マセヌガ、私ハ斯ウ言フンデス、此「パンフレット」デ退職積立金法案ト云フモノヲ非常ナル大宣傳ヲナスッ、是ガ爲ニ勞働組合ノ幹部ニ大打撃ヲ與ヘルトカ、日常闘争、勢力擴張ノ有力ナ手段ニ使ッテ居ルトカ、是ガ法制化サルレバ、マアサウ云フコトガナクナルト云ッタヤウナ、非常ニ大キク宣傳ナスッテ居ラレマスルカラ、私ハ此處ガ問題ダト思フ、然ラバ他ニ「ストライキ」ト云フモノガナイノカト聽イテ居ルノデアリマス、所ガアル、澤山アル、ソレハ景氣ノ好イ時ト好クナイ時ニ依ッテハ「ストライキ」ト云フ

モノハ、多クナツタリ少クナツタリスル情勢ノアルコトハ、是ハモウ子供デモ知ッテ居ル、デアリマスガ、此退職積立金法案ト云フモノガ出来タ爲ニソシナニ「ストライキ」ト云フモノガ多ク減ルカドウカデア、現ニ此表デ見マス、昭和九年六百二十六件ノ中、僅ニ二十七件シカナ、デアリマスカラ、二十七件ハナクナルカモ知レマセヌガ、他ノ賃銀増額トカ、賃銀ノ減額反對トカ云フヤウナ問題ハ治マラナイノデア、ソレハソレデヤハリ相變ラズ爭議ノ種ニナルノデハナイカ、デア、ルカラ私ノ考トシテハ、此法ノ施行ノ結果ハ、其弊ヲ却テ多クスルノデハアルマイカ、其結果ヲ齎スノデハアルマイカ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ルノデア、其點ヲドウ云フ御見込ヲ持ッテ居ルカ伺ヒタイ、他ノ「ストライキ」ガ多クナルカ、少クナルカト云フコトノ御見込ヲ御伺シタイ

○赤松政府委員 私ノ喋リマシタコトガ或ハ言葉ガ不十分デアツタカモ知レマセヌガ、眞意ハ要スルニ解雇手當ニ關スル限りニ於テト云フ、前提ノアリマス云フコトハ御承知置キヲ願ヒタイノデアリマス、別段解雇手當規程ヲ作りマシタカラト云フテ、爭議全體ガ無クナルト云フコトハ毛頭考ヘテ居リマセヌ、又御質問ノ方モサウ云フ意味デ

ハナカッタと思ヒマスガ、念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス、此解雇手當ニ關シマスル爭議ガ減リマシタカラ、他ノガ必然的ニ減ルトモ申上ゲルコトハ出来ナイと思ヒマス、又殖エルトモ申上ゲラレナイ、ソレハ其時ノ狀況ニ依リマシテ、他ノ原因ガアリマスレバ、殖エモ致シマセウシ、減リモ致シヤシナカト思フノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○堀内委員 労働部長ハ労働爭議ガ減ルト仰ッシャル、私ハ殖エルト考ヘテ居リマス、何故殖エルカト云フコトヲ申上ゲテ見マセウカ、一體労働爭議ガ起ルト云フヤウナコトハ、一方ニソレダケノ主張ノ出来ル理窟ヲ茲ニ殘シテ置クカラ、餘計サウナル、今度ノ法案ヲ見マスルト云フト、此積立金ヲスル根據ハ何ニア、配當ト云フモノヲ基礎トシテ居ル譯デアリマスカラ、無論無配當ト云フヤウナ不成績ノ場合ニハ積立テルト云フモノガ生レテ來ル原因ヲ能ク御考ニナラナケレバイケマセヌ、是ハ申ス迄モナク事業ヲ經營シテ、收入カラ營業費ヲ引イテ、殘ッタクソレガ配當ノ率トナル、其配當ノ率ノ中カラ積立金等ヲ控除シテ、サウシテ株主ニ配當スルト云フ結果ニナル、所ガ配

當ガ少シ少ナカッタト云フコトニナルト、此積立金モ少ナイト云フコトニナル、サウスルト労働者ニ直接ナ影響ヲ生ズル、ドウモ今年ハ配當ガ少ナイケレドモ、之ハ重役トカ、其他ノ直接經營ニ從事シテ居ルモノガ、ヤリ方ガ悪いノダ、第一ドウモ重役ノ報酬ガ高イトカ、之ヲ減ラセトカ、又何カ品物ヲ買入レテ、何ハ幾ラデ、何ハ幾ラ掛ツタカ示セ、何ハ安ク買ヘルモノヲ安ク買ハヌカラ、サウ云フコトニナルト云フ風ニ、仕事ノ内容ニ十分容喙シ得ルコトニナル、私ハサウ云フコトハ出来ルト思フ、配當ト云フコトニ對シテ、自分ガ受取ル所ノ金ノ多イ、少イト云フコトハ直チニ決ッテ來ル問題デアリマスカラ、其金ガ多クテ、コンナニ澤山貰ッテハ多過ギルト云フ風ニ、金ヲヤル場合ナラソレハ黙ッテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、其配當ガ少ク、或ハ配當ガナイト云フヤウナコトニナルト、此積立金ノ恩典ニ浴スル所ノ労働者ガ其内容ヲ檢討シヨウトカ、ソレニ對シテ容喙ヲシテ來ルニ相違ナイ、ソレガ即チ一ツノ爭議トナル、態々爭議ヲ持ッテ來イ、斯ウ示シテ置クト同ジコトナノデア、又會社ト云フモノモソレハ公平ニ色々ノ仕事モシ、秘密ト云フヤウナコトモアツテハナラヌノデアリマスガ、

併シ場合ニ依ッテ物ヲ買ツタリ、色々ノコトヲスルト云フ場合ニハ、決シテ重役ハ悪いコトヲスル爲ニ、秘密ヲスルト云フノデハナイ、十分商賣ノ上カラ秘密ヲ守ッテ、安イ物ガ買ヘルト云フコトモアル、一々ソコニ開ッ放シシテ皆ニ見サセルト云フコトハ出来ナイ、ケレドモ斯ウ云フヤウニナッテ居レバ、其内容ヲ示セト云フコトノ要求ガ出來ルノデアリマス、サウ云フヤウナコトニナレバ、結局其爲ニ爭議ガ起ル、丁度株主ガ二重ニ出來タヤウナモノデア、併シ株主ハ一旦選舉シテ信賴シテ重役ヲ出シタ以上ハ、ソレニ委セテ、穩ニヤッテ居ルノデアリマセウガ、労働者ノソレニ從事シテ居ルト云フヤウナ人ハ、ソシナコトハ考ヘマセヌ、重役ノヤリ方ノ宜シクナイト云フコトヲ必ズ言ヒ出スニ相違ナイ、是ハ配當金ヲ基礎トシテ、ソレカラ積立金ヲ出シテ來ルト云フ立前デアリマスカラ、サウ云フ爭議ノ起ルヤウナ竝ニ膳立ラシテヤッテ居ルヤウナモノデア、モウ一ツ申シマセウ、此處ニ少クトモ百分ノ二以上ノ積立金ヲシト云フ「少クトモ」ト云フ文字ガ書イテアル、是ハ先刻來御説明ヲ伺ヒマス、百分ノ二ト限定セズニ、篤志ノ事業家ガアツテ、ソレ以上積立テタイト云フ人ガアレバ、ソレ以上

積マセルト云フ餘裕ヲ殘シテ置クンダト云フヤウナ洵ニ穩カナヤウナ、有益ノヤウナ御説明ガゾツタノデアリマスガ、私ハ此事ヲ逆ニ言ッテ見タイ、百分ノ二ヲ積立テマシタ時ニ、勞働者ノ方ノ側カラ、百分ノ二ト云フモノハ少クトモ一番最低限度デアル、最低限度百分ノ二ト云フノデアルカラ、モウ少し上ヲ積マナケレバイケナイノデハナイカ、斯ウ云フ問題ガ起ッテ來ル、其時ニ何ト

コトハ、是ハ正當ノ主張デアル、事業主ガ之ヲ拒ムコトガ出來マセウカ、サウ云フコトヲ事業主ガ拒ムコトガ出來ナイト云フコトデアレバ、ヤハリ當然其主張ヲ出シテ來ル、出シテ來レバソレガ爭議ノ原因トナッテ、其二ツノ問題ニ付テ爭議ガ非常ニ私ハ殖エテ來ルト思フ、此點ヲ勞働部長何ト御考ニナリマスカ、御意見ヲ伺ヒタイと思ヒマス

アリマス、尙ホ少クトモ百分ノ二ト云フ點ニ付キマシテハ、他ノ政府委員ヨリモ屢、御説明申上ゲマシタ通りデアリマシテ、別段其百分ノ二以上ヲ以テ法律上ノ義務トシテ居ル譯デハナク、百分ノ二ガ法律ノ義務デアルト云フコトハ、法律解釋上ハ略、明瞭ダと思ヒマス、殊ニ一方ニ利益ガアリ、或ル程度ノ負擔能力ガアリマシタ場合ニ於テハ、尙ホ百分ノ三ヲ積ンデ合セテ百分ノ五ダト云フコトハ屢、申シテ居ルノデアリマス、利益ノナイ場合ニ百分ノ二以上積ムト云フコトハ、ソコカラ出テ來ルコトハナイノデハナイイカト考ヘマス、又サウ云フコトノナイヤウニ十分ニ指導モ致シテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、是デ御承知ヲ願ヒマス

ハッキリトシテ置ケバ問題ガ起ラナイカモ知レヌ、ハッキリシナイ、問題ヲ起スヤウナ文句ヲ其處ニ入レテ置イテ、問題ノ起ラナイヤウニ指導シマセウナント云フコトハ、私ハソナナコトハ實行出來ナイと思フ、私共モ不肖ナガラ少しハ會社經營モシ、爭議ニモ携ハツタコトモアル、アリマスルガ、ドウモ實際上サウ云フコトハ出來マイと思フ、テ今色々申上ゲテ居ルノデアリマスガ、又愈、實行上ニサウ云フコトノナイヤウニ指導スルナドト仰シヤッテモ、ソレハ一時逃レノ御話デアル、ゾンナコトデ今日ノ世ノ中ハ行ケルモノデヤナイ、併シ是レ以上申シマシテモ據ドコロナイデアリマセウカラ、ソレハ其程度ニ止メテ置キマスガ、甚ダ私ハ不満足ナ御答辯ダト云フコトヲ此處デ言明致シテ置キマス

言ッテ答辯シマセウカ、百分ノ二ナラ百分ノ二ト斯ウハッキリ決ッテ居レバ、百分ノ二デ宜シイ、少クトモ百分ノ二ト云フヤウナコトヲ書イテ置クト、ソレ以上積マナケレバナラスト云フコトハ分リ切ツタ話デアル、之ヲ見テ勞働者ノ方ガ默デ居ル筈ハナイ、少クモ百分ノ二、是ハ最低限度デアル、サウ云フ限度ニ置ク譯ハナイデハナイイカト云フコトハ、是ハ言ハレル、サウ云フコトヲ言ハレルト云フヤウナコトヲ法文ニ書イテ置ク、ソレガ即チ爭議ノ原因トナルノデアリマス、何モ理由ノナイコトデ爭議ヲ起ス譯ハナイ、幾ラ勞働者ト致シマシテモ、理窟ノナイコトニ問題ヲ起スベキ筈ハナイ、又是ハ言フコトガ當然ノ權利デアル、法文ニ於テソレダケノコトハ吾々ハ認メラレテ居ル、何故ソレダケノコトヲシナイイカト云フ

○赤松政府委員 配當ノ多寡ニ付キマシテ勞働者ガ云々スルト云フコトハ、私ハ事實問題トシテサウアリ得ベキ問題デハナイモノト考ヘルノデアリマス、勞資兩者協力シテ、其事業ノ發展ヲ圖ルト云フコトニ中心ヲ置イテ力強ク進ミマスナラバ、サウ云フコトモアリ得ナイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、現ニ今マデハ勿論普通ノ場合ニ於キマシテ、餘程特殊ノ場合デアリマスルナラバ如何ナコト、普通ノ場合ニ於テサウ云フ所マデ踏ミ入ルベキ筋合ノ事實ハ餘リ起ッテ居ナイヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、又政府ト致シマシテモ、サウ云フ趣意デアッテ居ルノデハナイノデアリマスカラ、サウ云フ點ニ付キマシテハ、力強ク正シク進ミマスヤウニ、指導致シテ行カナケレバ相成ラナイト考ヘテ居ル次第デ

○堀内委員 甚ダ失禮ナ申分デアリマ스가、ドウモ日本ノ内務省ニ於ケル所ノ勞働部長、吾々ノ總テノ勞働者及ビ事業主等ヲ指導スル所ノ勞働部長ノ認識ノ甚ダ薄イコトニ私ハ驚キマシタ(笑聲)一體何ヲ仰シヤルノデスカ、能ク指導シテ行クトカ、ソレハ儲カッタ時ノコトダトカ、ソレナラバ何モ少クトモト云フ文字ヲ入レズニ、チャント百分ノ二ナラ百分ノ二、百分ノ三ナラ百分ノ三トハッキリトシテ置イタラ宜イデセウ、

ソレカラモウ一ツ伺ッテ見タイノハ、斯ウ云フ缺陷ガ出テ來ルノデヤナイカ、ドウモ今日マデ色々法文化シナクテモ、退職積立金ヲ相當ニ拂ッタ、拂ッテ居リマスル爲ニ先刻申上ゲタヤウニ、茲ニ勞働爭議ノ原因ニナツタ解雇退職手當ト云フモノ、件數ガ極メテ少イ、昨年ノ數ヲ見マスルト、三十人未滿ノ工場デ此問題ノ爲ニ、解雇退職手當ノ爲ニ「ストライキ」ヲ起シタノハタツタ

十六シカナイ、五十人未滿ノモノニ七件、百人未滿ノモノハ一件、百人以上ノモノニ三件、合計二十七件、斯ウ云フ内譯ニナッテ居リマス、デアリマスルガ、今ハ斯ノ如ク殆ド不滿意有シテ居ル者ハ實際ニ於テナイト云フマデニナッテ居リマスルガ、之ヲ立法化シテ積立金ヲサセルト云フコトニナルト、ドウ云フ結果ニナリマスカ、私ハ勢ヒ給料ナドヲ増サナイヤウナコトニナルノデヤナイカ、サウ云フ不心得ノ事業主ハナイカモ知レヌ、ケレドモ又アルカモ知レヌ、兎ニ角退職手當ヲ澤山ニ積マセラレルト云フヤウナコトニナルカラ、何カデ其苦ミヲ埋メ返サウトスル、ソコデ給料ヲ増スト云フヤウナコトモセズ、ソレカラ盆暮二期ニ給與スル所ノ賞與金ト云フヤウナモノモ、是ハ何モ此法文中ニハ制限ハナイノデアリマスカラ、幾ラヤルカト云フコトハ會社ノ隨意デアル、サウスルト其一方ノ退職手當ノ爲ニ餘分ナ積立金ヲサセラレルト云フヤウナ考ヲ以テ、サウシテ日常ノ、退職スル迄ニ從事シテ居ル間ノ給料ヲ増給モセズ、減ラスト云フコトハ致スマイケレドモ、増給ヲシナイヤウナ結果ニナルノデヤナイカ、又増給ヲシテモ手心ヲシテ少ク増給スルト云フヤウナ結果が出テ來ルノデハナイ

カト思ッテ居ル、又決算期ノ末、暮ニ呉レル所ノ賞與金ノヤウナモノニシテモ、ヤハリ幾分手心ヲシテ少クスルト云フヤウナ結果ヲ齎スノデヤナイカト思フノデアリマス、サウ云フコトニナリマス云フト、労働者ハドウ云フ苦痛ヲ感ズルカ、是ハサウ云フコトデアルト必ズ不平ヲ言ヒマス、又ソレガ爭議ノ原因トモナッテ參リマス、會社ガ相當ノ成績ヲ舉ゲタニモ拘ラズ、去年ハ賞與金ヲ幾ラ呉レタ、所ガ今年ハ幾ラシカ呉レナイト云フコトニナルト、又ソレガ一ツノ爭議ノ本トナル、ソコデ今度退職手當ト云フモノハ、退職シナケレバ貰ヘナイモノデアアル、昔カラ能ク末ノ百ヨリ今五十ト云フヤウナコトモ言ヒマスルガ、先ノ退職スル時ニ、成程老後ノ爲ニ澤山ノ金ヲ貰フト云フコトニ依ッテ、洵ニ人生生活ノ不安ヲ感じナイト云フコトハ喜ブベキコトデアアルノデアリマスルガ、然ラバ退職手當ノ先ノコトバカリ考ヘテ、退職スル迄ノ間ノコトハドウスルカ、退職スル迄ニ若シサウ云フ意地ノ悪い事業家ガアッテ、サウシテサウ言ッタヤウナ手心ヲスル者が出テ來タラドウスルカ、此退職手當ノ立法ニ付テ先刻モ大臣ニ質問シタノデアリマスルガ、色々ナ罰則ガ十何條トアッテ、此罰則ニ違反スルコトハモ

ヤルト、懲役ニナルト云フヤウナヤカマシイコトガアルカラ、是ハ實行モ出來ルダラウ、懲役ニ入ルノハ困ルカラヤラナイカモ知レナイ、ケレドモ普段ノコトハドウナッテ居ルカ、普段ノコトニ付テハ別ニ罰則モ何モナイノデアリマスルカラ、ヤハリ斯ウ云フコトハ法文デ束縛スルト云フヤウナコトデナク、勞資協調ノ趣旨デ、平和ノ間ニ取扱ッテ、温情主義ヲ導イテ行クト云フコトガ宜イコトデアルト云フコトハ、其處カラ出テ來タ體驗デアリマス、體驗デアリマスケレドモ、今ハ時勢ガ中々サウ云フ譯デナイ、皆ドウモ法制化シナケレバ満足セナイト云フヤウナ空氣モ相當漲ッテ居リマスカラ、ソレハヤルベキモノハ法律化シテヤルノモ宜イデセウ、ソレニ異論ヲ申ス者デアリマセヌガ、内容斯ノ如キモノヲ以テ之ヲ實行致シマシタナラバ、私ハ大變ナコトニナルト思フ、爭議ハドン／＼殖エテ行ク、ソレカラモウ重役ハ半ニ入ル(笑聲)労働者ハ手ヲ叩イテ見テ居ル、労働者ニハ何モ制裁ハナイ、産業ヲ振興スルト云フヤウナコトハドウ云フ風ニ振興スルノデアアルガ、労働部長サンニ同ジャウナコトヲ御尋致シマシガ、其今ノ結果ガ平素ノ給料ノ點、賞與金ノ點ト云フヤウナモノニ若シ手心ヲシテ、

之ヲ抑ヘルヤウナ問題ガ起ッタ時ニハ、之ニ對シテドウ云フ御方法ヲ御執リニナルカ、御腹案ガアッタナラバ御示シヲ願ヒタイ

○赤松政府委員　サウ云フコトノ起リマセヌヤウニ希望致スト云フヨリ外致シ方ガナイ譯デアリマス、其外ニ別ニ盡スベキ手段モゴザイマセヌカラ、成ベク事業主諸君ノ勞資協調ノ精神ニ懇ヘマシテ、サウ云フコトノ起リマセヌヤウニ切望スルノミデアリマス

○堀内委員　洵ニ結構ナ御答辯デ初メテ私ハ満足致シマシタ、サウ云フ問題ノ起ラヌヤウニ勞資協調ノ趣旨ヲ以テお互ニ協方シテヤル、洵ニ結構デス、サウ云フ風ニヤルナラバ、コンナ何モ監獄ヘ打込ムヤウナ法律ヲ拵ヘル必要ハナイデヤアリマセヌカ、ソコデ今ノヤウナ方針デ行クナラバ、斯ウ云フ法案ヲ拵ヘテ、内部デ混雜ヲ起ス必要ハナイ、併シ法案ヲ拵ヘナケレバナラヌ時ハ來タノデゴザイマセウ、ダカラ法案ヲ拵ヘルト云フコトニ反對スルノデアアリマセヌガ、併シサウ云フヤウナコト迄モ廣ク御心配下サッテ、一方ダケハ嚴ニシテ、一方ハ寛ニスルト云フコトデハ、一向此法案ヲ作ル趣旨ハ貫徹シナイノデス、殊ニ今マデノ慣習ニ依ッテ出タ所ノ方法ヲ法案化ス

ルノデアル、別ニ變タモノヲ出ス譯デヤナイ、今マデノ日本ニ於テ行ハレテ居タ所ノ所謂良風美俗トモ言ヒマスカ、慣習カラ出テ來タ所ノ、實行シテ居ル所ノ此退職手當ヲ法案化スルノダト、斯ウ大臣モ局長モ仰シヤッタ、ソレナラバ、斯ウ云ッタヤウナ退職手當ヲ吳レテ居ルト云フ所ガ何處ニカアリマセウカ、此間一冊本ヲ載キマシテ調ベテ見タ所ガ、何處ノ會社デモ今度ノヤウナヤ、コシイ、斯ウ云フヤウナ方法ニ依ッテ退職資金ヲ吳レルナドト云フヤウナ所ハ、私ハ見當ラナイ、ソレヨリモモットハッキリシタ、例ヘバ月給ノ百分ノ二ナラ二、三ナラ三、ソレダケノ率ヲ必ズ積立テル、配當ナドハドウアラウトモ、積立テルダケハ積立テルト云フヤウナコトヲハッキリ決メテ置イタ方ガ宜イノデヤナйкаト思フ、從來ヤリ來ッタ所ノ方法ヲ法文化スルノダト言フガ、サウデヤナイ、從來ヤリ來ッタモノハ一切此處デ捨テサシテシマフ、今マデ多年苦シデ、大會社モ小會社モ、又個人トシテモ色々殆ド長年經驗ヲシテ、サウシテ其經驗ノ結果ニ依ッテ適當ナル方法ヲ考ヘテ、サウシテ勞働者ニ於テモ不服ノナイヤウニ、今日マデヤリ來ッタ所ノ方法ト云フモノハ一切捨テシマフ、一切捨テ、

シマフト云フコトハ、斯ウ云フヤウナ方法ヲヤッテ居ル所ハナイノダカラ、捨テタト同ジコトダ、捨テサシテシマッテ、サウシテ斯ウ云フ法案ニ導イテ、之ヲ新シク實行サシテ行ク、斯ウ云フコトニナリマス、サウシマス、大臣及政府委員ノ御答辯ニナリマシタ所ノ、今マデノ方法ヲ法文化スルノダト云フコトハ、皆嘘ニナッテ來ル、此點ヲ一寸伺ッテ置キマス

○赤松政府委員 從來ノ慣行ヲ此爲ニ全然捨テ、シマフ虞ガアリハシナйкаト云フ御質問デアリマスルガ、其點ニ付キマシテハ十分ニ考慮致シテ居リマシテ、從來行ッテ居リマシタ所ノ退職手當ノ制度ノ内容ハ、多クハ本案ノ要求致シマスルヨリハ良イ所ノ規程ヲ以ッテヤッテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテソレハ第三十條ニ依リマシテ、退職時ノ賃金ノ一年ニ付テ何日分ヲヤルト云フ規程ヲ作リマスレバ、ソレニ依リマシテ從來通リノ規程ヲ活用致スコトガ出來マス途ガ開イテアリマスノデ、従前ノ規程ハ法律第三十條ニ依ッテ生キテ行クコトガ出來ルト思ッテ居リマス、又サウ云フ風ニ致シテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、原則ニ依リマシテ百分ノ二ヲ積ンデ居リマスノハ、多クハ今日マデサウ云フ規程ノマダナ

イ、比較的の利益ノナイヤウナ會社ニ於テ行ハレルヤウニナルノデハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○堀内委員 モウ少しアリマスガ餘リ長クナリマスカラ此點デ今日ノ質問ヲ止メマシテ、アトモウ少し保留サシテ戴キタイト思ヒマス、内務省カラ提出スル、先刻皆様カラ御要求ニナッタ材料ヲ手ニ入レマシテ、後ニモウ少し述べサシテ戴キタイト思ヒマス

○熊谷委員長 御諮リ致シマスガ、小柳牧衛君ガ委員ヲ辭任サレマシタ、小柳君ハ當委員會ノ理事デアリマス、仍テ之ヲ補フ爲ニ選舉ヲ行ハナケレバナラヌノデアリマス、是ハ如何取計ヒマスカ

○川崎委員 委員長ノ指名ニ御願致シマス

○熊谷委員長 ソレニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○熊谷委員長 御異議ナイモノト認メマス、ソレデハ小山倉之助君ヲ理事ニ推薦致シマス、今日ハ參考書類ヲ貰ヒマシテ、十分皆サンモ御讀ミニナル所ノ時間モナカッタノデアリマシテ、又内務大臣ハ貴族院ノ方ニ行カレタノデ、内務大臣ニ對シテ質問セラレル方ガ澤山居ラレマスルガ、是ダケハ一寸出來ヌヤウデアリマスカラ、今日ハ

此程度ニ於テ散會致シマス（「贊成」「贊成」反對）「モウ宣告セラレタ」ト呼フ者アリ）明日ハ午前九時半ヨリ開會致シマス
午後五時三十分散會

出席政府委員（追加）左ノ如シ

社會局長官 廣瀬 久忠君